

## 年報2018の発行にあたって

博物館法第二条において、「『博物館』とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。」と定められています。

当館は、自然の成り立ちや仕組み、自然界の構造、生命の進化について、展示や観察会等の教育普及活動、調査・研究を行っています。そして、「人々が集い、学び、人間と自然が共存できる調和した未来を追求し、心豊かな暮らしを人々が協働で創造していく」「人々の、人々による、人々のための開かれた博物館」を目標に、自然史博物館の理念（ビジョン）を「生きた自然史を探究・継承し、伝え、人を育てる」としました。

平成30年度は、4つの企画展と1つの特別展を開催しました。前年度3月17日から5月13日まで開催した第56回企画展「利根川の旅」では身近な自然であり、最も親しみのある川、利根川をテーマとして、様々な角度から利根川とそれに関連した自然を紹介しました。

平成30年7月14日から9月2日まで第57回企画展「化石動物園」を開催しました。この企画展では、自然史に関する新しい知見が発表され、新聞等をはじめとする様々なメディアで話題となりました。その一つに哺乳類の進化に注目し、今生きている哺乳類のDNAに基づいて系統関係が詳しく調べられ、私たちヒトなどの哺乳類を含む系統は3億年前までさかのぼり爬虫類とは当初から別々の道を歩んできたことなどを紹介しました。

平成30年10月6日から12月2日まで開催した、第58回企画展「人類進化700万年」では、21世紀に入り最古の人類化石の年代は一気に300万年く遡り、約700万年前のサヘラントロpus・チャデンシスとなり、人類700万年の足跡をたどることで未来に向けて解決しなければならない諸課題について紹介しました。

平成31年1月19日から2月24日にかけて特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」を開催し、これまで県内で自然保護などの活動に携わってきた団体等の成果を広く紹介しました。

平成31年3月23日から開催した第59回企画展「谷川連峰（～5月19日）」では、谷川岳をはじめとする平標山・朝日岳など、絶景と命が織りなすエコパークの山をテーマとし、谷川連峰はどこにある・谷川連峰のおいたち・谷川連峰のいきものたち・豊かな谷川連峰の生態系・いつまでも美しく豊かな谷川連峰であるためなどのテーマについて紹介しました。

調査研究分野では、平成29年度から学術調査地域をみなかみ町及び周辺地域に設定し、5年間をかけて学術調査を実施しています。また、論文15編からなる群馬県立自然史博物館研究報告第23号を発行しました。

教育普及事業では、毎週土曜日に開催する「サイエンス・サタデー」をはじめ、ファミリー自然観察会、講演会、各種ツアーやビデオ上映会などの他、次世代の育成として、小中学生を対象にした「ミュージアムスクール」や高校生を対象とした「高校生学芸員」等を実施しています。さらに学校団体向けに展示解説員による随時解説や定時解説の実施、並びに館内授業や出前授業等を通じて平成30年度は延べ64,715名が教育普及事業に参加しました。

博物館活動の評価では、平成30年12月に自己評価結果を公開後、博物館専門委員3名による外部評価結果を平成31年3月に公開しました。

博物館の活動では80名の博物館ボランティアをはじめ、県内外の研究者、自治体関係者など、多数の皆様の御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申しあげます。

この度、平成30年度の事業概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願いいたします、御挨拶とさせていただきます。

令和元年11月

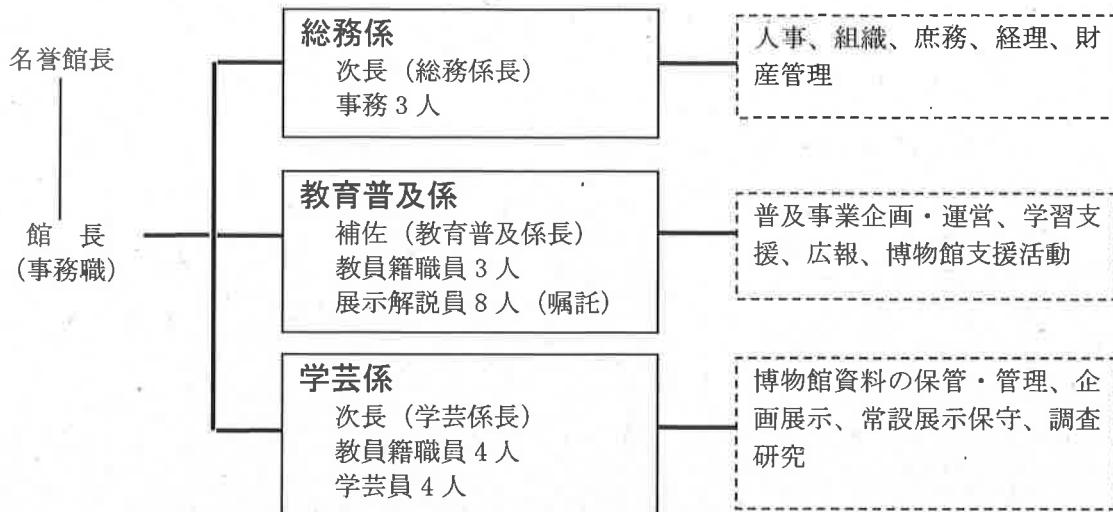
群馬県立自然史博物館  
名誉館長 長谷川 善和

## I 管理

### 1 沿革

- 群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。
- 昭和 32 年 3 月 12 日 「群馬県立博物館」として開館(群馬県富岡市一ノ宮 1353)
- 昭和 54 年 10 月 17 日 「群馬県立博物館」を廃止、「群馬県立歴史博物館」開館
- 昭和 57 年 7 月 16 日 「旧県立博物館」を改修し、「群馬県立自然科学資料館」として開館
- 昭和 63 年 12 月 1 日 「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置(学識経験者 10 名、行政職 6 名)
- 平成元年 4 月 1 日 群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
- 平成 4 年 2 月 3 日 建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
- 平成 4 年 3 月 31 日 建築基本設計終了
- 平成 5 年 1 月 28 日 (株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結
- (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
- 建設準備室を設置
- 建設実施設計終了
- 展示実施設計終了
- 建築工事等着工
- 長谷川善和氏(理学博士・横浜国立大学名誉教授)が参与に就任
- 建築工事等竣工
- 「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
- 「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ併せて群馬県立歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
- 「群馬県立自然史博物館」発足(事務局:前橋市大友町庁舎 3 階)
- 職員 18 名(副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名)
- 非常勤嘱託 5 名
- 長谷川善和氏(理学博士・横浜国立大学名誉教授)が初代館長に就任
- 付帯ホール(愛称「かぶら文化ホール」)の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
- 事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
- 財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
- 展示工事竣工(株)丹青社)
- 開館記念式典
- 「群馬県立自然史博物館」開館(一般公開)
- 第1回開館記念展「アルゼンチンの恐竜たち」開催
- 開館 5 周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催(1月 4 日~2月 17 日)
- 開館 5 周年記念講演会「ヒトと森と一森がヒトをはぐくむ」開催(26 日)
- 入館者 100 万人達成
- 開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア ~ふしぎな動物たちの世界~」開催
- 開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
- 入館者 200 万人達成
- 正面玄関プロムナード路面改修
- 尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
- 開館 15 周年記念展「よみがえる!謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催(7 月 16 日~11 月 20 日)
- 入館者 250 万人達成
- 平成 23 年度博物館活動の評価(内部評価)結果公表
- 平成 24 年度博物館活動の評価(内部評価)に対する外部委員意見公表
- 自然史博物館 E S C O 改修工事竣工
- 自然史博物館 E S C O サービス開始
- 入館者 300 万人達成
- 開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 T. rex」開催
- 開館 20 周年記念式典開催
- 開館 20 周年記念企画「自然史博物館 20 年のあゆみ」開催
- 入館者 350 万人達成

## 2 組織



## 3 事業体系

管理運営	展示	人事、組織	総務係
		予算、経理	
		施設管理	
		庶務	
		常設展示保守、改修 企画展示	
事業	教育普及事業	展示解説 ビデオ上映会 スポット解説（一般、学校向け） 紙芝居 ファミリー観察会 天体観望会 自然史講座 企画展講演会 企画展自然教室 学芸員解説ツアー 出張展示 サイエンス・サタデー <sup>1</sup> ミュージアム・ナイト・ツアー <sup>2</sup> バックヤード・ツアー <sup>3</sup>	教育普及係
		成人対象 大人の自然史俱楽部	
		高校生対象 高校生学芸員	
		小中学生対象 ミュージアム・スクール	
		小学生対象 自然史博物館探検隊	

事業	学校教育支援	館内授業・出前授業	教育普及係
		職場体験	
		教育用資料貸出	
		博物館実習・大学生インターン	学芸係
	調査研究	奥多野及び周辺地域学術調査	学芸係
		分野別調査研究	
		外部研究機関との連携調査研究	
		研究報告出版	
	情報システム	全体	
	資料収集・保存・管理	採集	学芸係
		製作委託・購入	
		寄贈・寄託・移管	
		貸出・借用管理	
		文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報	ボランティア	教育普及係
		友の会	
		視察受入	
		広報	
		相談指導	
	自治体等との連携	調査	全体
		相談指導	

## 4 管理運営業務

### (1) 観覧者数の状況

平成 30 年度の観覧者数は 220,039 人（前年比 105.21%）で、前年度に比べ 10,903 人増加した。これは、開館以来の年間観覧者数でみると、過去最高の観覧者数であった。

企画展ごとの状況をみると、平成 30 年 3 月から 5 月に開催した「利根川の旅」が 36,372 人、7 月から 9 月に開催した「化石動物園」が 67,509 人、10 月から 12 月に開催した「人類進化 700 万年」が 38,208 人、平成 31 年 3 月から開催の「谷川連峰」は 3 月末までの観覧者数が 7,393 人であった。特に「化石動物園」哺乳類の系統関係が詳しく調べられ、私たちヒトなど哺乳類を含む系統が約 3 億年前までさかのぼり、爬虫類とは出現の当初から別々の道を歩んできたことを紹介した。展示においては子供たちの関心をよせる骨格標本の展示も多数展示した。また、企画展をより深く理解してもらうため企画展講演会「妖怪古生物学への誘い」を実施した。「人類進化 700 万年」は以前に当館で実施した企画展「ネアンデルタール人の謎」の開催から 20 年が経ち、その間に明らかになった最新の情報をもとに、人類進化の 700 万年を紹介しました。また「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」においては、平成 29 年度から始まった学術調査の対象であるみなかみ町及びその周辺地域について調査の途中経過などを含め企画展を開催した。1～2 月に開催した特別展「ぐんまの自然の『いま』」を伝えるでは、地域に根ざした団体等の研究活動成果の発表を行い、来館者に好評を博した。期間中、1 日平均 436 人の観覧者があり、学校団体等の減少する冬場の誘客にも貢献したといえる。

今後も魅力的な企画展示は引き続き行うとともに、工夫を凝らした教育普及事業や解説員によるわかりやすい展示解説など、平素の活動にも一層力点を置く。

なお、開館以来の累計の来館者数は、3,922,063 人となり。1 日平均の来館者数は 595 人である。また、年度別の来館者数の推移は、次のとおりである。

細は 126 ページ参照)

#### 観覧者の推移

年度	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
観覧者数	120,712	207,688	165,071	150,211	156,633	159,416	166,989	171,697
1 日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
観覧者数	160,456	153,613	166,629	161,626	146,170	162,760	148,697	177,698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	累計
開館日数	290	288	289	290	289	287	290	6,595
観覧者数	182,038	166,533	167,549	188,680	212,022	209,136	220,039	3,922,063
一日平均	628	578	580	651	734	728	981	595

\* 観覧者数は実観覧者数であり、教育普及事業等の参加人員は含みません。

## (2) 岁入歳出決算の状況

歳入

単位（千円）

区分	金額	内容
博物館入館料	58,304	観覧料
施設使用料	488	ミュージアムショップ他
財産収入	514	自動販売機設置収入
雜入	5,102	船の科学館助成金3,000千円含む
計	64,408	

歳出

事業名	金額	内容
館運営	168,668	館の維持管理、事業運営等
博物展示	64,454	常設展示メンテナンス、企画展
教育普及活動	5,845	観察会等教育普及事業
調査研究	9,512	フィールド調査、学会参加
計	248,479	

## (3) 博物館評価の実施

平成28年度に引き続き平成29年度の博物館活動の自己評価を行い、平成30年12月15日から博物館ホームページで公開した。この後、3名の博物館専門委員を委嘱し、自己評価に対する意見聴取を行った。意見聴取の結果についても平成31年3月1日付けで博物館ホームページで公開した。

群馬県立自然史博物館専門委員（平成30年度）

- ・株式会社丹青研究所文化空間情報部部長 石川貴敏
- ・埼玉県立自然の博物館主任専門員兼学芸員 中村修美
- ・上毛新聞社役員室長兼経営企画委員会事務局次長 清水直樹

平成29年度の自己評価結果及びそれに対する専門委員の意見は次のとおり。

### 平成29年度 自然史博物館活動の評価結果

平成30年12月25日

群馬県立自然史博物館

#### 1 はじめに

本評価は、平成29年度に策定した「活動目標の評価指標表（評価指標）」を用いた内部評価であり、平成29年9月13日に公表した平成28年度の博物館活動の評価に統いて7回目となるものである。平成28年度同様、本評価結果を今後の博物館活動の改善と充実につなげていきたい。

#### 2 評価方法等について

##### (1) 評価指標

今回の評価に当たっては、平成28年度末までに、平成28年度の評価結果を踏まえ、平成29年度目標値の設定を行った。

##### (2) 評価作業

評価作業は職員9名による内部評価WGが中心となって進め、素案作成後、職員

全員で決定するという方法によった。

### (3) 結果の公表

評価結果については、全職員にフィードバックし、個々の業務改善につなげるほか、HPにて公表し、県有施設としての説明責任を果たすために役立てたい。

※ 博物館活動の評価に至る経緯、自然史博物館の使命と事業方針等は、平成23年度の評価結果を参照してください。

## 3 外部評価

平成22年度の「魅力ある博物館を語る会」で示された外部評価については、平成24年度の評価から導入した。異なる分野から博物館活動に造詣の深い3名の外部有識者を専門委員に委嘱し、博物館活動に対する意見をいただき、平成29年12月20日に公表した。今年度も同様に外部評価を行う予定である。

## 4 自己評価結果

### (1) 群馬県立自然史博物館に求められる機能

#### ① 継続する機能・博物館活動の基盤となる機能・博物館に求められる機能と場

調査研究機能については、自然史調査の調査回数は平成28年度が36回、平成29年度が23回である。回数が減ったのは平成28年度が奥多野地域の最終年で本格的な調査を行ったのに対して、平成29年度はみなかみ地域の調査の予備調査であったからである。次年度の回数は増えていくことは確実である。企画展・特別展の展示資料自給率は年度の中でも企画展によってばらつきがあり、参考値として捉えた。教育普及事業参加者数は目標達成。HPアップ数、Facebook発信件数はいずれも前年を上回っている。

資料収集保管機能については、資料収集では、委託制作等の件数や図書資料の件数が増加している。これは、企画展等でのテーマの理解と展示物の充実が理由である。寄贈資料については、点数で見ると、平成28年度は7,206点で平成29年度が763点と減っているが、これは平成28年度に昆虫などの小さな生き物の標本がたくさん寄贈されたためである。件数で見ると、19件から23件に増加しており、また、図書の寄贈も増加している。これは博物館が資料を収集・保管する施設であると、広く知られているためである。資料登録では、収集した資料が例年6,500点程登録されている。今年は画像登録も大幅に増加したので、これらの資料の公開件数をさらに増やし活用できるようにしていきたい。また、収集した資料を教育用資料としても活用できるようにしていきたい。

管理運営機能については、博物館の管理運営予算の確保は、年々難しくなる状況が続いている。設備の更新、修繕は来館者の利便性、快適性を最優先に、限られた予算の中で箇所を絞って進めているが、施設、案内表示等のユニバーサルデザインへの改善は予算及び施設の構造的な制約もあり、進んでいない状況である。人員の確保が厳しい中で、職員を対象に内部研修を年2回、解説員が対象の解説研修も年2回実施し、意識改革と資質向上に努め、職員の接遇研修を年2回実施し、来館者対応の質的向上を図っている。危機管理マニュアルを6月に更新し、年2回の防災訓練を実施して、危機対応意識の向上と危機管理体制の強化を進めている。平成29年度は公益財団法人からの助成を活用し、学習教材の製作等を行っている。予算確保が難しい状況が続くため、今後も積極的に外部資金の導入を進めていきたい。博物館の管理運営のため職員等の質的向上への努力は行っているが、開館から20年余りが経過した施設は老朽化も進み、改修、修繕のために必要な予算の確保が今後の課題となっている。

#### ② 強化・充実・発展機能

シンクタンク的機能については、平成29年度のレファレンス対応は212件で、平成28年度に続いて200件を上回った。このうち最も多かった対応は専門的な内容の

教示で、90 件（全体の 43%）を占めた。また資料同定件数は年間 42 件で、平成 28 年（49 件）同様 レファレンス全体の 20%を占めている。平成 28 年度に比べてレファレンス件数は 16 件減少したが、これは単純な問い合わせが減少したことによるもので、専門的な内容を必要とする教示や資料同定の件数は一定水準を維持していると言える。また、問い合わせのうち、マスコミからの問い合わせも平成 29 年度は 17 件あり、こちらも毎年 15 件前後で推移している。これらのことから、当館におけるレファレンス活動は、職員の専門性に裏付けられた教示や資料同定が高い比率を示し、維持されていると言える。専門的なレファレンスや資料同定に耐えうるには高い専門性と情報収集が必須である。平成 29 年度は、のべ 11 人の職員が学会等の役員に委嘱され、3 名の職員が博物館施設の委員に委嘱された。この数は学芸係職員を上回る数である。さらに、のべ 32 人が自治体及び各種機関の委員に委嘱されている。群馬県において、専門性が高い人材として群馬県立自然史博物館の職員が必要とされている実情があると考えられる。これらの委員は平均すると学芸係職員が平均 3 つ以上の委員委嘱を受けていることになり、高度な知識を有する人材を必要とする行政及び各種機関に比べ、当館職員の職員の数は少ないと言わざるをえない。

自然史学習支援機能については、平成 29 年度は、平成 28 年度に開発された「体験型アウトドア補助教材一磯の生きものプロトタイプトランクキット」について、実践を通して学習プログラムの開発・改良を行った。実践は、盲学校、視覚特別支援学校、特別支援学校、特別支援学級等で 6 件行った。このトランクキットは、だれもが、どこでも、「海を感じる」ことができるよう、五感のうち「触覚」「嗅覚」「聴覚」を主とした触れる体験型教材のため、各実践において大きな成果をあげた。一方、実践を進める過程で凍結乾燥標本の強度や標本の質感等多くの課題も確認できたので、今後は普通学級での使用や貸出資料への活用に向けて更なる改良を行う必要がある。

次世代育成機能については、平成 29 年度から調査研究活動の充実を図るために、特別研究員の登録制度を設けた。初年度は、菌類、蘚苔・地衣類、鳥類の分野で 3 名が登録された。平成 30 年度に向けて、特別研究員申請を希望する方が増えてきている。また、教育普及事業に係る次世代育成プログラムについては、更なる充実を図るために、幼児を対象とした展示解説プログラムの更新や高齢者を対象とした地域回想法プログラム作成に向けての企画立案を図った。

### ③新規追加機能

参画型調査研究機能については、県民の身近な自然や環境に対する興味関心を高めるため、県民参画型調査として「ツバメ調査」を行った。この調査は、平成 28 年度から行っていて今年度が 2 年目となる。2 年目も、ツバメの初見日に限らず、巣の様子についても調査することとし、調査用紙を変更した。このことにより、ツバメであることを断定しやすくなるとともに、定点観察の可能性が高まった。しかしながら、情報提供数が、16 市町村 69 件で（平成 28 年度は、20 市町村 57 件）で、まだ十分な情報提供数とは言えない。平成 30 年度に向けて、今年度情報提供のなかった 19 市町村の公民館や教育委員会に情報提供を呼びかけ、次年度調査の準備を行った。

県民活動、連携協働拠点機能については、特別展「ぐんまの自然のいまを伝える」に平成 29 年度は 42 団体（平成 28 年度は 46 団体）が参加し、自然調査研究や、自然保護・保全に関する基調講演と、県内の自然保護や保全に携わる団体、学校等の行っている調査研究や活動事例に関する口頭発表、展示会場におけるポスター・セッションを行った。参加団体数は年々増加傾向にある。口頭発表では、基調講演を含む 6 団体の発表があったが、特に高校生の熱意ある発表は、参加者からの評価も高かった。今後も若い世代の育成に力を注いでいく必要がある。次年度に向けては、ポスター発表においてコアタイムを 2 部制にし、発表場所を工夫しながら運営していくことを確認した。

### (2) これからの事業活動方針と展開方向

資料の活用については、職員の資料収集活動を推進している。平成 29 年度末の当館の登録資料数は 181,649 点であり、平成 28 年度末より 6,657 件増加している。当館の登録資料は、標本採取や寄贈・移管によりコンスタントに毎年 6,500 件増加しており、4 年後には 200,000 件を超える見込みである。中でも生物（古生物を含む）命名の根拠になるタイプ標本（基準標本）は 78 点にのぼる。また天然記念物の標本も 25 点保有しており、これらの劣化や消耗が許されない標本の保存環境を維持し続けることが重要である。これらの資料は、県民ひいては人類共有の貴重な文化財産として保存されるとともに、研究、教育のために活用されることが求められる。平成 29 年度の研究目的の特別観覧は 13 件であり、平成 28 年度を 5 件上回った。また、教育普及や展示資料作成などの研究目的以外の特別観覧も 24 件あり、平成 28 年度の 26 件に引き続き高い水準にあった。同様に展示などを目的とした教育普及的な意味を持つ資料貸し出しも 24 件あった。当館の資料は 4 年後には 20 万点に達すると見込まれ、今後その収蔵場所の確保と、保存に適した収蔵環境の維持が大きな課題と言える。また、研究目的の特別観覧は増加傾向にあり、教育普及などを目的とした特別観覧や資料貸し出しも年間 20 件以上で推移している。当館の資料は、研究者の研究活動に資するとともに、館外における教育普及活動にも高く寄与していると言える。

研究の推進については、自然史科学的調査研究では、論文などが 21 件、学会発表が 11 件、学術刊行物などが 11 件、博物館学的調査研究では、論文などが 1 件、学会発表が 1 件、学術刊行物などが 1 件であり、例年通りの成果を報告することができた。また、協働的調査研究は 3 件、外部組織や団体、研究機関との総合研究や共同研究も 42 件と活発に行い、資料提供数も 35 件と、各種団体への協力もできている。外部資金の獲得数は 18 件(前 年度 14 件)と獲得件数は増加した。

情報発信や創造的な活動の場づくり、担い手育成などについては、自由に学べる場をつくるために、企画展でのパネル・ラベルの英字表記を行い、多くの利用者が展示を楽しめるように工夫をした。また、自然史セミナーや蘚苔類学会等を誘致し、積極的に開催することで、人と人とのつながりや交流が生まれる機会を提供することができた。特別研究員及び資料整理ボランティアをいかし、「ファミリー自然観察会」を実施することで、担い手とフィールドをつなぐ博物館の役割を果たすことができた。また、県民からの問い合わせに対応する件数は、前年度より 17 件減少しているが、200 件以上あり、博物館が頼れる相談の場として機能している。アウトリーチについても積極的に取り組んでおり、出前授業等も増えている。教職員研修会の実施では、国立科学博物館等と連携し、提供するプログラムを充実させたことで、数多くの教職員を博物館に呼び込むことに成功した。

### (3) 施設計画

知的好奇心を刺激する展示ゾーンについては、施設や展示物の老朽化が進む中、全職員で展示物を保守するために、「調整中ゼロ」を目指して協力して取り組んできた。解説員や案内員による毎日の展示室内点検、職員による毎月の展示室内点検・清掃を継続してきた。解説員からの故障箇所の連絡体制を徹底し、速やかに修繕・補修・調整作業を行い、展示資料の保守ができた。故障カード、職員の点検表は、記録保存している。修繕・更新の主なものとしては、導入（タイムトンネル入口）の 6 面マルチの 6 面モニター出力機器の故障が長年続いていたことから、6 面マルチの改築工事を行った。6 面マルチを廃し、70 インチのハイビジョンモニターを導入し、仮のプロモーション動画を入れて更新対応を行った。A コーナーは、顕微鏡のアクリルカバーケースを更新した。度重なる鏡筒部破損の主な原因是、顕微鏡の鏡筒部を握り、強く引っ張りながら接眼レンズをのぞき込むことであったため、A コーナーのうち最も破損報告の多い 2ヶ所について手すりを設置した。B コーナーでも顕微鏡の破損が続いていたため、顕微鏡と顕微鏡のアクリルカバーを新

規更新した。ホタルの発光のしくみが見えにくいことから、システムとグラフィックを更新した。茂林寺沼・雑木林については照明のLED化を行った。Dコーナーの「靈長類の分類」、「靈長類の進化」、「人類の進化」、「ドメスティケーションのはじまり」、「人類の拡散」の5カ所について、京都大学靈長類研究所、国立科学博物館人類研究部指導の下、更新を行った。来年度は、Bコーナーの展示更新を予定している。

担い手活動ゾーンについては、自然史・自然環境活動を担う人材・次世代の育成をはかったり、自然史科学をテーマに専門的な器具や装置を活用できたりできる空間であるが、予算上の都合もあり、県民交流・学習機会の拡大は、ハード・ソフトの両面でなかなか改善・更新が進んでいない。冬の特別展時には、企画展示室を使っての担い手活動の支援は順調であり、今後も継続していきたい。

憩いのゾーンについては、中庭を活かした癒しのある博物館空間作りを進めている。来館者の快適な休憩場所を提供するために、中庭のベンチ3組を新規に製作、また、休憩室のトイレの手荷物台の新規設置を行った。博物館入り口には、博物館内で来館者が快適に過ごしていただけように、ピクトグラムによる看板を新規に製作し掲示した。オリジナルグッズはショップ店員や職員の意見を取り入れて、一筆箋、メモ付箋、一筆箋 封筒、ポーチ、ランチバッグを製作し、充実させた。一筆箋については4種類目となり、来年度には当館の常設展示の5コーナーをテーマにした全てが完成する予定である。

調査研究ゾーンについては、職員が調査研究を行う空間であり、最先端の研究情報を探求するための調査・研究機材、専門的な器具・装置等の更新や確保を目指している。調査研究機材については更新希望を集約し、優先順位を決めて39件を要求したが、更新には至らなかった。

収蔵ゾーンについては、適切な保管環境を維持することや収蔵庫増設のための準備として、各分野の担当者で整理・配架を進めてきた。収蔵方針については、改めて学芸係で検討して項目を各分野で統一したものを作成して確認した。収蔵庫の整理・配架については、職員全員での作業日を決め、各収蔵庫内にある収蔵資料以外の資料の移動や整理を行った。収蔵品以外の資料については、館外の収蔵スペースに保管した。引き続き、平成30年度も収蔵資料の整理・配架を進めていく。収蔵庫の管理については、利用状況を把握するための収蔵庫管理簿を更新して利用件数を評価指標に入れた。また、各収蔵庫を職員が毎日、自ら点検する体制を構築し、危機管理対策を行い、点検結果は各収蔵庫点検簿に記入するようにした。資料燻蒸や文化財害虫対策は例年通り行っている。文化財害虫対策については、平成30年度に職員を派遣し、平成31年度にはモニタリングを含めたトラップ調査を行う予定である。

#### (4) 運営方式

博物館運営委員会を設置して、博物館の運営について毎月1回検討した。基本構想の体制図内に位置づけられ、博物館の運営方針、事業展開、博物館が直面する様々な課題や改善策、博物館に寄せられる多様な意見や要望について、定期的に課題解決のための協議を行い、博物館運営に反映させ、自己変革する博物館を目指すこととしている。平成29年度は年間10回開催した。毎回、各担当者から様々な報告・連絡事項（例：企画展 準備状況、コーナー更新状況、収蔵庫整理の進捗状況、教育普及事業の進捗状況、庶務 関連等）があり、館内の情報共有、今後の方針等について意思疎通を図っている。また、協議事項では、より具体的な事業内容について協議し、今後の事業展開や様々な課題の改善策について方針を定めた。博物館内部評価委員会を設置して、職員9名による内部評価WGが中心となって、博物館評価項目に基づく内部評価を行った。評価結果については、全職員にフィードバックし、個々の業務改善につなげるほか、HPにて公表し、県有施設としての説明責任を果たした。

博物館外部評価委員会は平成24年度の評価から導入・開始した。異なる分野から博物館活動に造詣の深い3名の外部有識者を専門委員に委嘱し、博物館活動に対する意見をいただき、平成29年12月20日に公表した。主な意見としては、「収蔵スペースの確保、研修会・学会への参加、基本構想の推進、知名度の向上とチラシの配布、病害虫の駆除対策、外国人対策、伝える機能強化」などがあった。それぞれの意見を真摯に受け止め、ひとつひとつ対応を検討し、今後の博物館運営に役立てるものとする。

## 平成29年度自然史博物館活動の評価に対する意見

### □平成29年度群馬県立自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員 石川貴敏

評価委員会で、博物館職員の方々から平成29年度の事業報告と新たな評価指標に基づいた内部評価結果の報告を受けました。開館以来2番目に高い数値を記録した年間入館者数（実観覧者数）をはじめ、いずれの事業においても高い成果をおさめていることがわかりました。教育普及事業は、幼児、小・中学生、高校生、大人、高齢者、学校、ファミリーなど、対象を定めた活動も多彩であり、企画展や特別展事業は毎回、限られた予算の中、自然史に関心が高くない方々も楽しめるよう、企画や展示の各所に工夫が見られ、魅力的なものとなっています。評価委員会当日に拝見させていただいた特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」は、長年にわたり地域に根ざした自然史調査や、保護・保全活動に携わってきた40以上の団体との連携・協力による展覧会でしたが、その内容は発見に満ちあふれており、多様なテーマやアプローチで群馬県の自然や博物館活動などを見つめることができ、「県民活動、連携協働拠点」としての同館の価値を明確に認識することができました。また、資料の収集保管活動や調査研究活動もコンスタンタンに行われており、シンクタンク的機能として取り組まれているレファレンス活動や、自治体及び各種機関における委員としての取組は、同館職員の専門性の高さを十分に証明しています。

一方、今回の報告では、前年度の評価結果をもとに取り組んだ成果とともに、幾つかの課題が挙げられていました。必要な予算の確保（平成29年度は前年度より削減）や施設・設備の不足や老朽化、同館の果たしている機能や活動に比して職員数が少ないことなどです。

そこで、今後に向けた提案として以下の3点を記します。1点目は、県民に対する「事業活動報告会」の開催です。私は、平成27年度以降、同館の活動報告を受けてきましたが、その活動内容は、国内の他の自然系博物館と比べても全く遜色ないばかりか、限られた予算や人員体制を念頭に置くと、毎年、その質の高さに感心しています。海外の博物館や、国内で会員制度を設けている美術館などでは、事業活動報告会を行う事例を目にしますが、発行物で伝えるだけでなく、実際に語り合う機会を設けてはいかがでしょうか。他県に誇れる自然史博物館が群馬県にあることを、もっと多くの県民の方々に知っていただきたいのです。

2点目は、「県立博物館・美術館のための共同収蔵センターの検討」です。内部評価結果にも「劣化や消耗が許されない標本の保存環境を維持し続けることが重要である」「当館の資料は4年後には20万点に達すると見込まれ、今後その収蔵場所の確保と、保存に適した収蔵環境の維持が大きな課題と言える」と記載されています。毎年、収蔵スペースの確保に向けて職員の方々があらゆる観点から取り組んで

いる報告を聞いていますが、未だ解決の目途は立っていないようです。同館に限らず、収蔵スペースの不足は、博物館・美術館の多くが抱えている課題です。群馬県の県立博物館・美術館でも同様に課題としてあげられているのではないかでしょうか。そこで、「収蔵ゾーン」「調査研究ゾーン」「担い手活動ゾーン」「(一部)展示ゾーン」を兼ね備えた群馬県のリソースセンターを、県立博物館・美術館の方々でプロジェクトチームを組織して、検討してはいかがでしょうか。

3点目は、「博物館の持続可能な運営に向けた検討」です。文化行政の基盤や、博物館の整備・運営の在り方が急速に変化しようとしています。人口減少社会を背景に、様々な行政改革が行われるのではないかと懸念しています。既に内部評価結果に報告されているように、施設・職員・予算の不足が挙げられています。ICOM京都大会(2019年9月開催)では、博物館の定義の改訂も予定されていると報じられています。今後起こりえることの想定や、日々の活動を通じて感じている課題や問題意識をもとに、これから博物館の持続可能な運営に関する懸念事項を挙げて、今後に向けて博物館職員自らが協議した結果をもとに、対応策(ロードマップや取組、バックデータとなる資料の用意など)を事前に検討することは、現在の博物館において必要ではないかと考えます。課題に直面する前に方策を検討しておくことが肝要です。

自然と共生することが求められる私たちにとって、地域の自然史博物館が果たす役割はますます大きなものになるとを考えます。昆虫数の減少や、基礎科学の必要性、バイオミメティクスなど、自然史博物館のテーマになりそうな話題をよく耳にします。職員の方々の日々の尽力によって、高い実績を残している国内を代表する自然史博物館がこれからも長く充実した活動を展開できることを切に願っています。

#### □平成29年度群馬県立自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員 中村修美

博物館の機能として「調査研究」「資料収集・保管」「教育普及」「展示」がありますが、それぞれの分野において各種事業をよく実施していると思います。

評価となるとどうしても目標として数値が思い浮かびますが、博物館活動では数値化できない項目が多くあります。また、右肩上がりの数値を目標としてしまいがちですが、施設や職員などの博物館としてのキャパシティーを考えると、すべての項目を前年比増で実施するのは困難です。たとえ1年という期間で実施できたとしても、継続するのは困難でしょう。資料収集や保管、調査研究、データベースの構築・公開などの基礎的な活動は1年で解決できるものではなく、継続的に進めていかなくてはなりません。群馬県立自然史博物館では博物館基本構想が策定されていますので、その実現に向けて事業を進めていただき、年によっては実施項目に強弱をつける必要があると考えます。

現在では博物館には生涯学習の中での参加・表現する「場」としての機能が求められています。今回の特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」やそれに関連しての報告会はそのような場を提供しています。また、継続して実施されている県民参画型調査も重要な活動です。この機能・活動はぜひ拡大・進展させてください。

以下の内容は、群馬県立自然史博物館ということでなく、自然系博物館に関わる問題で気になっていることです。平成30年10月1日より、「博物館に関する事務」を文化庁が一括して所管することになりました。社会教育施設としての博物館という扱いですが、これまで文化庁は文化財、あるいは美術品を扱ってきていて、自然系資料を扱ってはいませんでした。また、自然系博物館も文化庁との関連は薄い状況でした。自然系博物館の扱いは文部科学省と文化庁の間で曖昧な状況にありましたが、今回の変更は自然

系博物館にとって良い機会かもしれません。博物館への要望は多様になっています。博物館の状況が変わろうとしている今、「博物館とは何か」「自然史系博物館の役割」といったことから考える必要があるのかかもしれません。日本を代表する自然系博物館の一つとして、先頭に立って進んでくださるよう期待します。

#### □平成29年度群馬県立自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員 清水 直樹

専門性の高い県有施設であり、「県民から頼りにされる博物館」「県民の相談相手となる博物館」が望ましい姿だと思っています。その点で相談、問い合わせ件数が前年度より17件減少し、212件となったのはやや期待はずれと言えます。一般69件、研究者42件、マスコミ36件、公共団体30件で、小中高生（5件）や大学生・院生（3件）はわずか。素朴な疑問や自由研究の際に児童、生徒が気軽に自然史博物館に相談できるよう、学校や大学への周知を図ってもらいたい。「最初の相談窓口」として認知されれば、来館者増にもつながっていくと考えます。

特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」は年々参加団体が増え、29年度は県内の自然調査、保全保護に取り組む42団体が、野生生物の現状や保護活動をポスターで紹介したほか、口頭発表もありました。県内の高校や団体が多く、その地元でも特別展を開催することを検討してもらいたい。多様な自然保全保護活動の取り組みを報告しており、その地域住民、子供たちにとっても興味深い内容だと思います。その場で高校生に発表してもらえば、さらに関心が高まるのではないかでしょうか。参加団体とは、広報活動などさまざまな面で協力関係を築いてほしいと思います。

入館者数は20万9136人と前年度を下回ったものの、20万人を超える、一日平均は728人と高水準を維持しました。多種多様な企画展に加え、県内全小学校の児童にチラシを配布した効果も大きいと思います。予算の関係もありますが、中学、高校での配布も効果が見込めるのではないでしょうか。開館から20年が経過しましたが、まだ、来館したことのない生徒が多いのは確かです。

現在、地域回想法を生かした高齢者向けプログラムの開発に取り組んでいるという。触れるはく製標本を製作するなど、自然史博物館におけるプログラムの構築を目指しており、今後の取り組みに期待したい。

## 5 ESCO事業

平成26年度から開始されたESCOサービスは、前年度の反省点を踏まえつつ、博物館と受託業者が連携して取り組んだ結果、平成30年度も削減保証額を上回る75,777千円のエネルギーコスト削減となった。

※ 変更契約締結後のベースライン	106,029千円(補正後)
〃 削減保証額	60,686千円

なお、削減実績の検証を行うために、博物館、受託業者、県関係課から構成される「自然史博物館ESCOサービス検証ワーク」を7月、11月及び3月に開催した。

## 6 防災訓練・危機管理

地震や火災などの発生に備えるため、かぶら文化ホールと連携して2回の防災訓練を行った。

- ・平成30年9月19日（水） 地震避難訓練
- ・平成30年3月6日（水） 消防訓練（消防署立ち会い）

## 7 施設修繕・機器更新

### (1)施設修繕

エントランス土間や自動火災報知設備、給水加圧ポンプ、学習室ドアクローザー、来館者用トイレのウォシュレット交換、自動水栓修繕等を行った。

・修繕件数 20件

### (2)機器更新

真空凍結乾燥機の更新を行った。

館内非常用誘導灯の更新（LED化）を行った。

## II 事業の概要

### 1 展示

#### (1) 常設展示

県民が自然の生い立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、展示に際して、①資料についてはできる限り実物を揃える ②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらう ③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、以上の3点に配意している。

常設展示は、下記の5つのコーナーに区分されている。展示の保持にあたっては、平成30年度も各コーナーの担当者が少なくとも毎月1回エリア内の状況を確認した（清掃、修繕を含む）。日々の動作確認については展示解説員が実施している。

#### ① 地球の時代（Aコーナー）

誕生から46億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本の規模で展示している。現在のヒトから宇宙の誕生までを一気に遡って紹介する導入部のタイムトンネルを抜けたところからはじまり、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生ならびに先カンブリア時代の発展を紹介する「A-1 水の惑星と生命の誕生」、「A-2 生命を育てた太古の海」（古生代）、「A-3 恐竜の時代」（中生代）、「A-4 哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「A-5 人類の時代」（新生代第四紀）の5つに分けられる。

A-1「水の惑星と生命の誕生」では、大型拡散霧箱の保守点検を2回実施した。また、模型の劣化に伴う破損により、生命の起源の展示におけるDNA模型1点をバックヤードに下げた。

A-3「恐竜の時代」では、動刻（*T.rex*、ガリミムス）、プレートテクトニクスについて、保守点検を年4回実施した。A-3で追加・交換した標本は、以下のとおりである；①学校法人成城学園が所蔵するスピノサウルスの実物化石2点（頭骨、脊椎）を借用し、8月5日から展示に追加した。ただし頭骨については、当館所蔵の頭骨レプリカとの交換である。②3月からは群馬県産スピノサウルス類歯化石の第2標本のレプリカ（神流町恐竜センター提供）1点を追加した。

A-4「哺乳類の時代」では、従来展示していた「イルカ」頭骨標本を研究のために展示からはずし、代替標本として原市層産ケントリオドン類頭骨標本を展示した。このケントリオドン類頭骨標本は、その後にこれを新種とする記載論文が公表された「ケントリオドン・ナカジマイ」の完模式標本であり、論文公表後に概要をまとめた簡易パネルを設置した。その他に、群馬県産標本では沢渡層産のウガノモク属（褐藻類）化石1点を常設展示に追加した。また、原始的な食肉類であるミアキスの産状レプリカ1点を食肉類の進化の展示に追加した。

（展示資料数1,208点、追加・更新展示資料 計6点）

#### ② 群馬の自然と環境（Bコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソーオオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の

植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。さらに平成22年度より近年生物多様性の保全上問題になる外来種の展示を加えた。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年23回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている。

本年度の更新内容は以下の通りである。1) 特定外来生物の展示を「群馬の自然環境」のコーナーに設定し、資料の移動・新規設置を行った。2) 利根川コーナー水槽の機器更新及び説明パネルの更新を行った。3) 特定外来種の植物資料移動に伴い、絶滅危惧種の展示パネルと写真を移動・集約した。4) 及び菌類関係のラベル、パネルの科名の変更を行った。5) 老朽化した尾瀬の花ごよみのパネル更新を行った。6) 尾瀬の年表パネルの更新を行った。

(展示資料数1,354点、新規資料1点、移設資料7点、廃止資料3点、更新資料4点、

新規パネル2枚、更新パネル10枚、廃止パネル5枚、更新ラベル72枚)

### ③ ダーウィンの部屋（Cコーナー）

博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。動刻（ロボット博士チャーリー）については、保守点検を年4回実施した。展示では、「わたしがみつけた自然」の写真3点を更新し、6月の燻蒸休館中、倉庫部分の剥製を燻蒸した。

(展示資料数546点、更新展示資料3点)

### ④ 自然界におけるヒト（Dコーナー）



このコーナーの名称は、ダーウィンの進化論を擁護したトマス・ハックスリーの本の題名「自然界における人の位置」にもとづいている。コーナーの展示は以下の3つから成っている。

1 動物としてのヒト：ここではヒトが脊椎動物や哺乳類などの特徴をもつかを展示しておりヒトがいかに動物であるかが実感できる。哺乳類は世界中に約4,500種いる。哺乳類には、授乳

により子どもを育てる、胎生、恒温生、2心房2心室、大脑の発達、7個の頸椎、異形歯性、二生歯性などの特徴がある。ヒトはオランウータン、ゴリラ、チンパンジーなどの霊長類のなかまで、霊長類には拇指対向性、平爪をもつ、指紋がある、立体視ができ色覚があるなどの特徴が見られる。

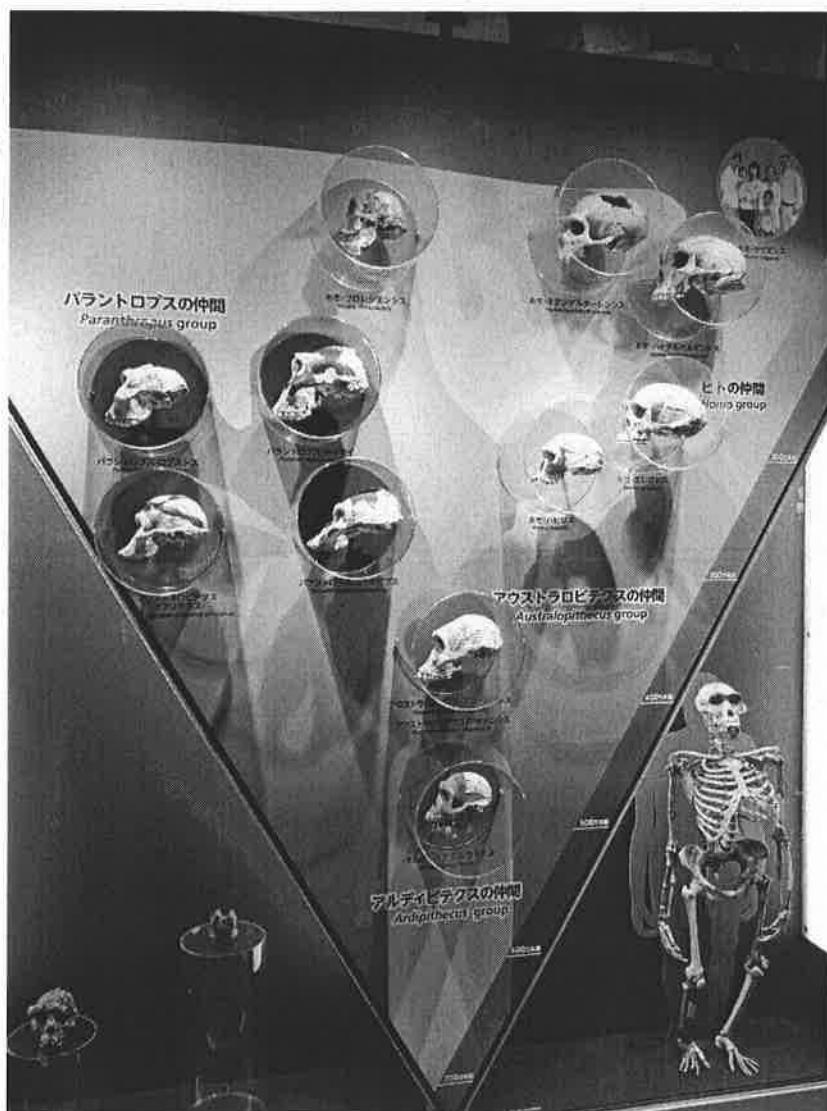
2 ヒトの進化と起源：ヒトという種が複雑な進化の段階を経てきたことを当時の研究成果にもとづいて展示している。ヒトはチンパンジーとの共通祖先から別れた後、ヒトは独自の進化をとげてきた。現代人はホモ・ハイデルベルゲンシス（50万年前）からホモ・サピエンス（20万年前）と進化し現在にいたっている。

他の動物ではなくヒトだけがもつ特徴がいつどこで始まったのかを、欧米の芸術家の手による精巧な等身大人形や科学的復元図で展示している。

3 ヒトの特徴：ヒトの身体には、ほかの霊長類には見られない様々な特徴がある。この特徴は、そのほとんどが直立二足歩行を始めたために起きたと考えられている。頭蓋骨では脊髄が出る大後頭孔は真下にあり、頭をささえる項筋が付着する部分は小さくなっています。胸郭は内臓が下がらないようすぼまつていて背骨は足から伝わるショックをやわらげるためにS字状になっている。また骨盤は内臓をささえるためにゆりかごのような形をしている。さらに脚にある大腿骨は斜めについており、歩く際にチンパンジーのように左右に揺れることなく歩行することができる。足の骨はアーチ状になって土踏まずができる、体重が一点に集中しないようになっている。

直立二足歩行、脳の発達が道具の製作と使用、死者の埋葬、火の使用、芸術と象徴、農耕と牧畜、文明などを生み出すことになった。これを実物標本や模型・複製等で再現している。

(展示資料数364点、更新展示資料35点)



## ⑤ かけがえのない地球（Eコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展示である。エコボール、ドードーやトキなどの絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。

（展示資料数29点、更新展示資料なし）

## ⑥ 常設展メンテナンス

ESCO 事業以外の照明等で LED 化未対応の部分について、電球交換を実施した。また、ジオラマのメンテナンス、清掃を行った。メディアプレーヤー、展示機器等のメンテナンスを行った。誘導サインのデザイン等を見直し、更新した。

### ・導入

平成 30 年度は、導入部分の映像を更新した。また、タイムトンネルにおける模型及び回転模型の清掃と修繕を行った。

### ・Aコーナー

ミラーの実験装置の動作確認、メンテナンス作業を行った。ガラスケース内のライトを LED 化したことから、点検を行った。大型拡散霧箱の定期メンテナンスを例年通り 2 回行った。

顕微鏡のアクリルカバーケースを更新した。度重なる鏡筒部破損の主な原因是、顕微鏡の鏡筒部を握り、強く引っ張りながら接眼レンズをのぞき込むことであったため、A コーナーのうち最も破損報告の多い A-4 の 2ヶ所について手すりを設置した。

例年どおり動刻 2 点（ティランノサウルス、ガリミムス）とプレートテクトニクスのメンテナンスを行った（年 4 回）。なお 4 回のうち 1 回については、エアコンプレッサー 2 基のメンテナンスも実施した。

### ・Bコーナー

尾瀬ジオラマ、ブナ林ジオラマ、丘陵地ジオラマ、茂林寺ジオラマ、シラビソジオラマのクリーニングを実施した。

顕微鏡の破損が続いていたため、顕微鏡と顕微鏡のアクリルカバーを更新した。A コーナーと同様に、顕微鏡前に手すりを設置した。茂林寺沼、雑木林について、照明の LED 化を行った。

剥製のクリーニングを行った。一部、支持具を更新した。

### ・Cコーナー

ガイガーカウンターのメンテナンスを行った。

例年どおりロボット「チャーリー」のメンテナンスを行った（年 4 回）。

### ・Dコーナー

ターンテーブル上の類人猿のクリーニングを行った。

## ⑦ 常設展更新事業

B コーナーの、1) 特定外来生物の展示を「群馬の自然環境」のコーナーに設定し、資料の移動・新規設置を行った。2) 利根川コーナー水槽の機器更新及び説明パネルの更新を行った。3) 特定外来種の植物資料移動に伴い、絶滅危惧種の展示パネルと写真を移動・集約した。4) 及び菌類関係のラベル、パネルの科名の変更を行った。5) 老朽化した尾瀬の花ごよ

みのパネル更新を行った。6) 尾瀬の年表パネルの更新を行った。

## (2) 企画展示

### ① 第56回企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」

#### A 趣旨

首都圏を潤し、日本における流域面積1位の川「利根川」は県民にとっては「身近な自然の1つ」であり「ふるさと」といった存在である。本館では常設展示として群馬県内の利根川を扱った展示はあるが、今回、県外の流域情報や人とのつながりなどについての展示も扱い、利根川と利根川流域に生きる生物とその現状を知ってもらうとともに、生物との関わり方も知ってもらうことを目的とした企画展を行った。また、山、森、里、川、海などの自然や環境を大切にしようとする心を県民に広く育むことも、もう1つの目的としている。さらに、利根川の過去と現状を知ることで、河川災害や火山災害などに対して私たちが知っておくべき基礎的な情報の公開も目的の1つとした。



#### B 開催期間

2018年4月1日（日）～5月13日（日）（開催日数38日）

#### C 展示構成

##### a) 導入展示・エントランス展示

エントランス展示は食材としてなじみ深く、しかし、世界的な絶滅危惧種であるウナギを展示した。ここには水槽を用意し、ウナギの生態展示を行った。また、4月28日～30日までの3日間は同所にてウナギのタッチプールを開催した。

企画展示室導入部(回廊)では、子供向けな導入として巨大アオウオの剥製(背比べができる、写真スポット場所)や利根川の源となる水滴を体験できる展示物、ぐんまちゃんが映る動画、ダムカレー食品サンプルなどを展示した。また、大人向けな展示として、前橋と利根川の歴史的な関係や利根川に架かるすべての橋などの紹介、群馬県内の利根川流域すべてのダムマップなどを紹介する展示をした。

##### b) 利根川を河口より遡る展示

太平洋から遡る展示(銚子方面)では、汽水域に見られる魚の剥製展示のほか、ボラの幼魚、スズキの幼魚、クサフグ、アカエイの生体展示を行った。また、その上流域に相当するエリアではカメの

剥製展示のほか、ニホンイシガメの生体展示を行った。さらに、利根川の中流域に相当するエリアでは魚の標本展示のほか、コイ、ニホンナマズ、ニホンスッポンの生体展示をした。

東京湾から遡る展示(江戸川)では、東京湾の深海ザメの剥製展示や三番瀬の干潟の生きものを標本による展示を行った。また、災害対策として通称地下神殿といわれる首都圏外郭放水路や堤防工事などを紹介するとともに、江戸時代の河川の付け替え工事や利根川を用いた水運を模型などで紹介することにより利根川と人の暮らしについての結びつきを伝える展示をした。

企画展示室内では、群馬の絶滅魚、サケの遡上、生息域を広げる国内外来種のヌマガエル、近年の科学的分析により明らかになったサクラマス、利根川源流部の奥利根地域や大水上山などを剥製、液浸、映像、音声など多様な方法で紹介するとともに、沼田段丘はアルミの切削模型を作成し、さわって認識できる展示物を用意した。

c) ニホンカワウソに関わる展示

日本では絶滅種となったニホンカワウソについて、明治時代の前橋市で捕獲・保存され、現在知られる中で国内唯一の液浸標本を期日と時間限定で特別公開できた。また、利根川支流に当たる大谷川産のニホンカワウソの剥製、同じく桐生川沿いの洞窟で発見された頭骨の一部も展示できた。

d) 利根川と私たちの生活の視点での展示

利根川の洪水災害では、群馬県内各市町村の作るハザードマップの確認を促す展示をし、火山災害では、地質図を基に過去の災害を知ることから、今後の災害に備える展示をした。

また、河川の汚染具合を調べる方法として、河川に棲む動物を活用する方法の紹介や、家庭で使用した水をきれいにしてから川に返すことを促す展示をした。

e) テーマのまとめとしての展示

今回の企画展は自然への入り口であるととらえ、本当の自然はそれぞれの場所にあるため、現地を訪れたくなるような展示物を複数用意した。この1つとして乗船体験のできるラフティングボートを展示した。また、ラフティングボートの背景に、利根川でラフティングを楽しむ人たちが映る画像を使うことで、来館記念になるような写真スポットを用意した。

今回の企画展はぐんまちゃんとコラボを行うことで、利根川流域各地の紹介やそれぞれの資料紹介はぐんまちゃんとを通して伝えるスタイルを選択した。また、子供向けの展示のまとめとして、ぬりえの原画にぐんまちゃんを採用し、ぬりえの余白に「ぐんまちゃんのお願い」として企画展のメッセージを書き込み、子どもたちにの目にとまりやすくする工夫を施した。

D 展示点数：535点(ただし、生体展示のボラの幼魚は除く) (内当館収蔵資料数 264点)

E 関連事業

a) 観察旅行 「春の江戸川(利根川分岐点)バスツアー」

講師：千葉県立関宿城博物館案内：尾崎 見、榎 美香、他の場所：茂木 誠

日時：2019年4月4日(水) 7:15～17:50

場所：首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市上金崎 国土交通省江戸川河川事務所)

千葉県立関宿城博物館(千葉県野田市関宿)

道の駅「さかい」(茨城県猿島郡境町)

参加者：16名

b) 講演会「利根川に影響を与えた火山噴火の歴史」

講師：群馬大学教育学部教授 早川 由紀夫

日時：2018年4月15日(日) 13:30～15:30

場所：当館学習室

参加人数：89名

c) ワークショップ「大水上山の魅力を語る—利根川最初の一滴を体験—」

講師：菅原 久誠、茂木 誠、群馬大学ワンダーフォーグル部

実施日：5月3日(木) 10時00分、11時45分、12時45分、14時45分～各回30分程度

場所：当館学習室

参加人数：63名

d) 特別展示

「群馬県初公開！おかえり前橋産カワウソ」

実施日：4月1日（日）、5月5日（土） 13時45分～16時45分

企画展示室内の所定場所で展示し、あわせて茂木 誠がギャラリートーク（14時～、15時～、16時～の45分間）を実施。

e) 特別展示「ウナギのタッチプール」

実施日：4月28日（土）～30日（月）

エントランスで実施したため、参加者数はカウントしていない。

f) イベント

「ぐんまちゃんに会える@利根川の企画展」

実施日：企画展会期中の毎週土曜日（4月7日、14日、21日、28日、5月5日12日） 9時30分～10時00分、10時30分～11時00分

エントランスや企画展入口周辺で実施。来館者のお出迎えのため参加者数はカウントしていない。

F 後援

群馬テレビ株式会社、上毛新聞社、株式会社エフエム群馬、株式会社ラジオ高崎

G 協力団体(順不同)

福島大学、群馬大学、国立科学博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、栃木県立博物館、群馬県立歴史博物館、埼玉県立川の博物館、千葉県立関宿城博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、富山市科学博物館、アクアマリンふくしま、国土交通省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所、独立行政法人水資源機構沼田総合管理所矢木沢ダム管理所、独立行政法人水資源機構利根水総合事業所、みなかみ町役場、前橋市役所危機管理室、前橋市教育委員会文化財保護課、前橋市立図書館、伊勢崎市役所、千代田町役場、玉村町役場、埼玉県久喜市役所栗橋総合支所、茨城県取手市、東京電力ホールディングス株式会社リニューアブルパワー・カンパニー奥利根事業所、群馬大学ワンドーフォーゲル部、群馬県山林種苗緑化協同組合、社団法人日本下水道協会、公益社団法人日本水環境学会、和亀保護の会、佐野子町カッパの手保存会、奥入瀬川鮭鱒増殖漁業協同組合、（一社）中之条町観光協会、みなかみ町観光協会、日本養鰻漁業協同組合連合会、武尊山観光開発株式会社水上宝台樹スキー場、株式会社鈴木商会奥利根スノーパーク、東洋プロセス、カッパCLUB、上州おにし道の駅（味楽）、道の駅八ヶ場ふるさと館、むさしの自然史研究会、有限会社佐藤製作所、国陽工芸株式会社、内外地図株式会社、群馬愛石会（秋山 一成、新井 茂、飯島 忠、石井 郁雄、上原 一雄、小沢 繁夫、佐藤 栄一、下出 英明、関 定明、福島 光男、藤巻 和良、吉田 元之）、秩父石酔会（高橋稔）、ニッポンダム協会ダムマイスターおかん部会（NOW2000、夕顔）、群馬県広報課、群馬県河川課、群馬県下水環境課、群馬県内水面漁場管理委員会、群馬県下水道総合事務所、群馬県水産試験場、群馬県水産試験場川場養魚センター、群馬県林業試験場、群馬県館林土木事務所、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

H 協力者(50音順)

新井 雅之、安藤 元一、飯野 耕治、井上 素子、岩田 雅光、潮田 好弘、小賀野 大一、加倉田 学、河野 重範、菊地 如子、北爪 二郎、桐林 生武、久下 敏宏、久保 誠二、斎藤 裕也、佐野 誠、重田 英男、四十万 智博、篠原 現人、関根 和伯、高橋 雅紀、田中 智大、田中 英樹、樽 創、千明 靖久、土屋 勝、寺岡 誠二、寺本 萌華、中島 啓治、中村 庄八、西堀 智子、榆井 尊、早川 由紀夫、林 光武、藤井 智子、藤田 宏之、松岡 栄一、松崎 令、松原 利光、丸山 正樹、水澤 玲子、宮崎 重雄、森口 一、矢口 裕之、山崎 陽平、横田 雅博、吉川

和男、渡邊 駿介

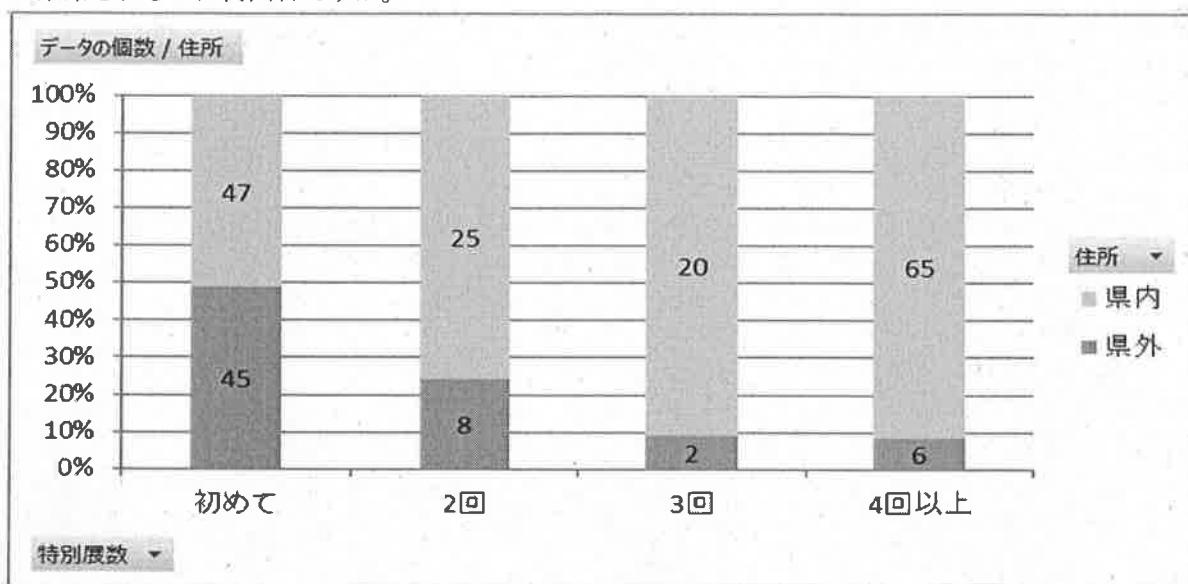
(以上、敬称略)

### I 観覧者数

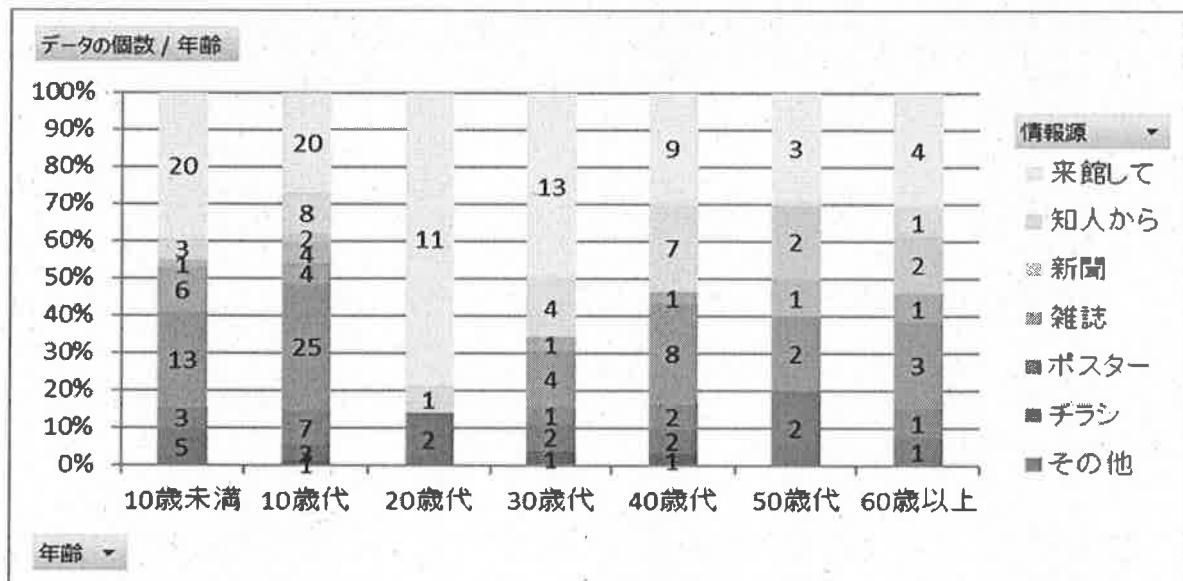
36,372人（うち平成29年4月1日から会期終了までの入館者数27,893人）

### J アンケート結果

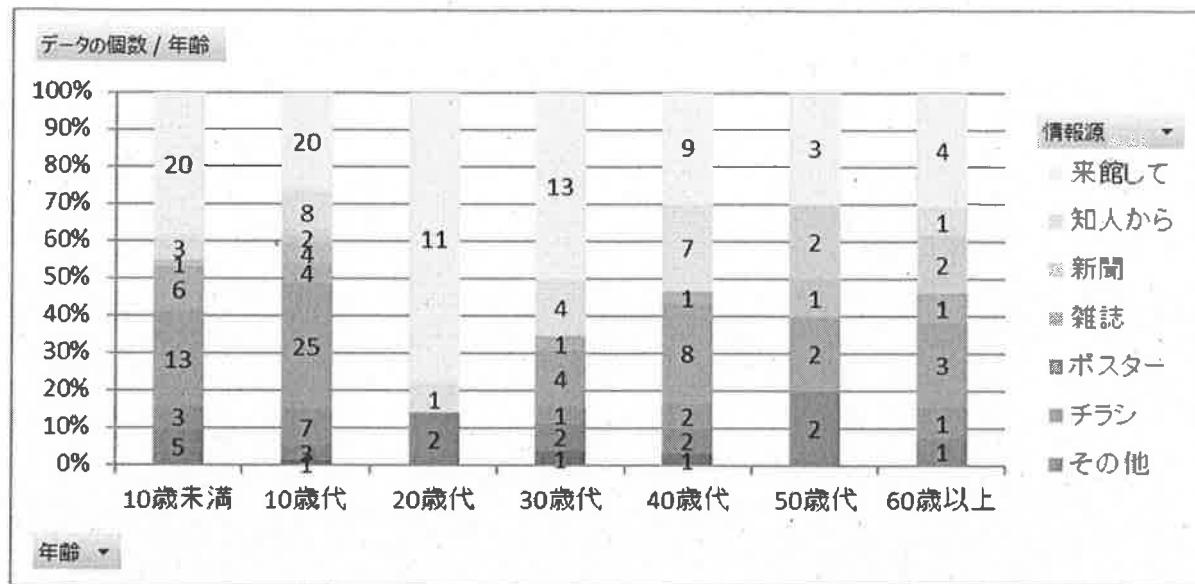
1 来館されるのは何回目ですか。



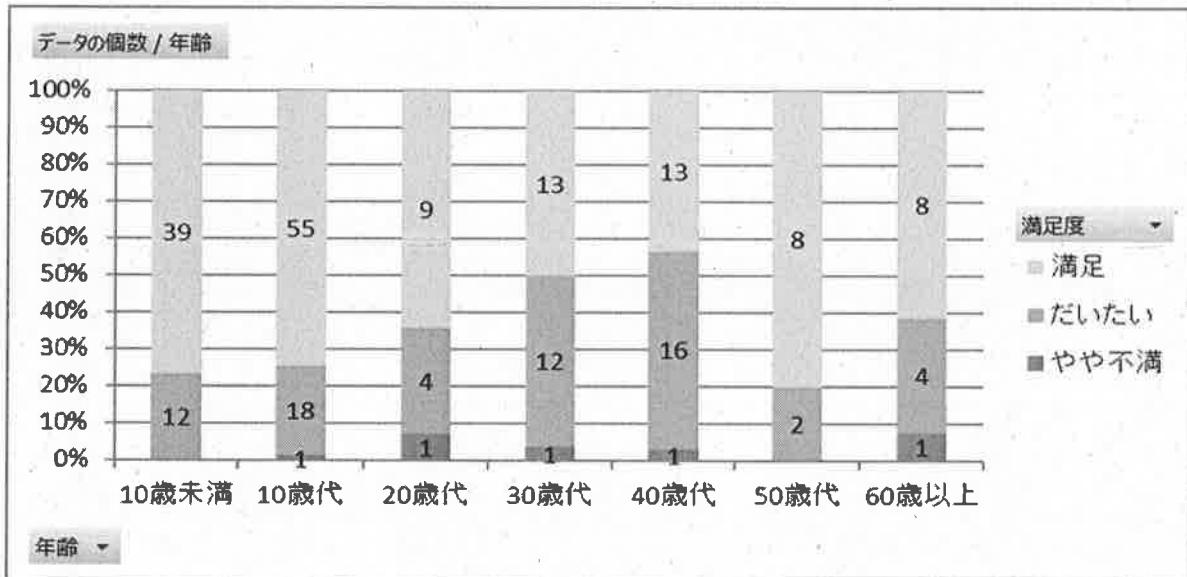
2 来館された理由を教えてください。



3 企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」を何でお知りになりましたか。



4 企画展の内容はいかがでしたか。



② 第57回企画展「化石動物園～哺乳類3億年の歴史」



A 趣旨

近年、化石やDNAの研究により、哺乳類とその祖先を含む単弓類という脊椎動物の一グループが約3億年前の古生代石炭紀に他の初期「爬虫類」と袂を分かち、恐竜などとは異なる独自の発展・進化をしてきたことがわかつてき。一方、私たちヒトを含む現生哺乳類の系統関係についてもDNAの研究で解明され、中でも真獣類に大きなグループが3つないしは4つあって、それらのグループの形成と大陸分裂との間に関係があることもわかつてき。さらに化石からは、現生哺乳類と同じ様な多様化が中生代の後半（ジュラ紀～白亜紀）に存在した初期哺乳類の中でも起こつていて、様々な場所へその生活圏を広げていたことなどがわかつてき。企画展「化石動物園」では、哺乳類型爬虫類とも呼ばれる初期の単弓類やその子孫である中生代以降の哺乳類の化石標本を展示し、ヒトを含む哺乳類がたどつてきた約3億年の間に起つた発展（進化や放散など）の歴史を国内の博物館が所蔵する様々な単弓類・哺乳類の化石標本によつて概観し、哺乳類がたどつてきた歴史とそれに関する近年の新しい科学的知見を来館者に紹介した。

展示では、前年度に新種とする記載論文が公表されたアキシマクジラの骨格化石を群馬で初公開したほか、国内では当館のみが所蔵するウインタテリウムの実物全身骨格化石をはじめ、リストロサウルスの実物頭骨化石、ドイツ・メッセル産哺乳類化石（実物・レプリカ）、アメリカ・ホワイトリバ一産哺乳類化石（実物・レプリカ）、史上最大の肉食哺乳類の一つと言われるアンドリューサルクスの頭骨レプリカ、代表的な単弓類の全身骨格（ディメトロドン、コティロリンクス、リストロサウルス）、ザンゲオテリウムなど中生代哺乳類などを展示した。それらに加え、埼玉県産サイ類化石をはじめとする国内産哺乳類化石も多数展示した。化石標本の他には、ディメトロドンやパラミロドン（オオナマケモノ）、ニッポンサイ、スマロドンなどの絶滅単弓類・哺乳類の実物大生体復元模型を多数列品すると共に、当館が監修した書籍（生命史図譜：技術評論社発行）に掲載された絶滅古生物のイラスト、館製作の分類群を示すサインパネルなどを用いて、今は生きていない古生物の姿を来館者がイメージしやすいように配慮した。また、ツチブタ、ヒヨケザル、ツパイなど化石記録の少ない分類群のうち現生種がいるものについては、現生種の剥製の展示を、また、その他の分類群について

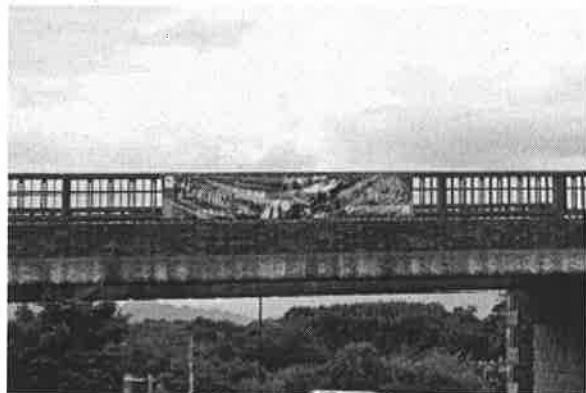
も生体の動画（撮影協力：群馬サファリパーク）をできるだけ展示して、哺乳類の多様性の一端を示した。

B 開催期間

平成 30 年 7 月 14 日（土）～9 月 2 日（日）（48 日間）

C 展示構成

- (1) プロローグ（導入展示：エントランス・常設展示出口）
- (2) 単弓類～けものたちの歴史のはじまり～



館外バナー①（公園陸橋南側）



館外バナー②（公園陸橋北側）



館外バナー③（館西側）



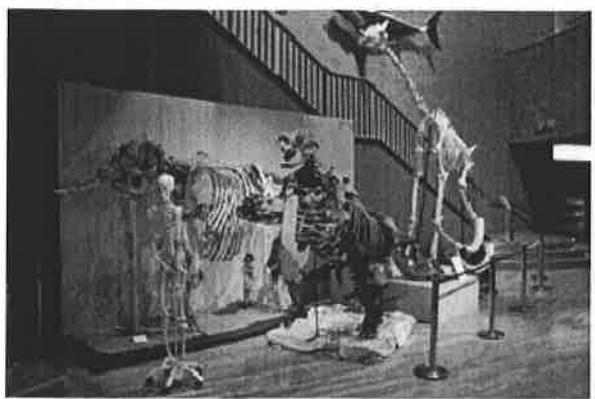
館外バナー④（館入口）



エントランスの導入展示



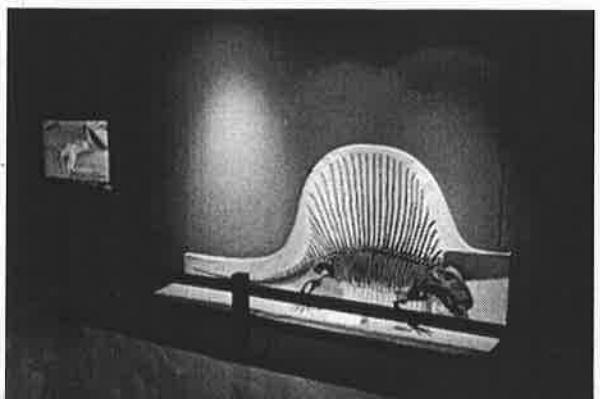
展示室入口のゲート



常設展示出口の導入展示



単弓類～けものたちの歴史のはじまり～



単弓類～けものたちの歴史のはじまり～



単弓類～けものたちの歴史のはじまり～

(3) 中生代の哺乳類～恐竜の陰で多様化へトライ！～



中生代の哺乳類～恐竜の陰で多様化へトライ！～

(4) 恐竜絶滅！進化爆発！真獣類



中生代の哺乳類～恐竜の陰で多様化へトライ！～

(5) アフリカがふるさと！アフリカ獣類



恐竜絶滅！進化爆発！真獣類



アフリカがふるさと！アフリカ獣類

(6) 北半球がふるさと！北方真獣類



北半球がふるさと！北方真獣類（真主齧類）



北半球がふるさと！北方真獣類（真主齧類+ペガサス獣類）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類[食肉類+奇蹄類]）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類[奇蹄類]）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類[恐角類]）



北半球がふるさと！北方真獣類（ペガサス獣類[鯨偶蹄類]）

(7) 南アメリカがふるさと！異節類



南アメリカがふるさと！異節類



南アメリカがふるさと！異節類

(8) 水中のくらしにもどる！水生哺乳類



水生哺乳類の展示（鰐脚類）



水生哺乳類の展示（カイギュウ類）



水生哺乳類の展示（束柱類）



水生哺乳類の展示（クジラ類）

D 展示点数 223 点（うち当館所蔵標本 100 点）

E 期間中観覧者数 67,509 人

F 関連事業

a)企画展ワークショップ「古生物の復元に挑戦しよう！」

実施日：7月 15 日（日）10:30～11:30

講 師：荻野 慎諧（丹波竜化石工房）

場 所：当館実験室

参加人数：19人

b)企画展講演会「妖怪古生物学への誘い」

実施日：7月15日（日）13:30～15:30

講 師：荻野 慎諧（丹波竜化石工房）

場 所：当館学習室

参加人数：70人

c)長谷川名誉館長のスペシャルトーク「哺乳類の歴史と多様性の一端をみる」

実施日：8月11日（土・祝）15:00～16:00

講 師：長谷川 善和（当館名誉館長）

場 所：当館学習室

参加人数：42人

d)企画展講演会「人体にみられる進化のあと」

実施日：8月19日（日）13:30～15:30

講 師：犬塚 則久（古脊椎動物研究所）

場 所：当館学習室

参加人数：37人

#### G FlowSign Light

会場内で、富士通が開発した FlowSign Light の実証実験を実施した。これにより来場者が所有するスマートフォンで、館作成のフレームを使った記念写真の撮影をすることができた。



FlowSign Light の紹介パネル



ぬりえコーナー（左側壁面が FlowSign Light 撮影用背景）

#### H 後援

日本古生物学会、化石研究会

#### I 協力

a)個人：池上直樹、池田忠広、伊左治鎮司、えるしまさく、大倉誠二、大島光春、大塚健斗、奥村よほ子、加藤太一、加藤久佳、川上茂久、河野重範、北川博道、木村由莉、楠橋直、甲能直樹、三枝春生、篠田健二、鈴木久仁博、高安雄一、田村 博、樽 創、土屋 健、鍔本武久、十津守宏、成田 健、畠山幸司、松岡廣繁、丸山啓志、宮田和周、山崎祐介、山下浩之、吉田健一、

Dr. Christian de Muizon and Dr. Zhe-xi Luo

b)研究機関：昭島市教育委員会、神奈川県立生命の星・地球博物館、群馬サファリパーク、国立科学博物館、埼玉県こども動物自然公園、埼玉県立自然の博物館、佐野市立葛生化石館、白峰化石調査センター、信州新町化石博物館、千葉県立中央博物館、栃木県立博物館、長野市立博物館、白山市教育委員会、兵庫県立人と自然の博物館、福井県立恐竜博物館、美祢市教育委員会、御船町恐竜博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館

c)その他団体：株式会社技術評論社

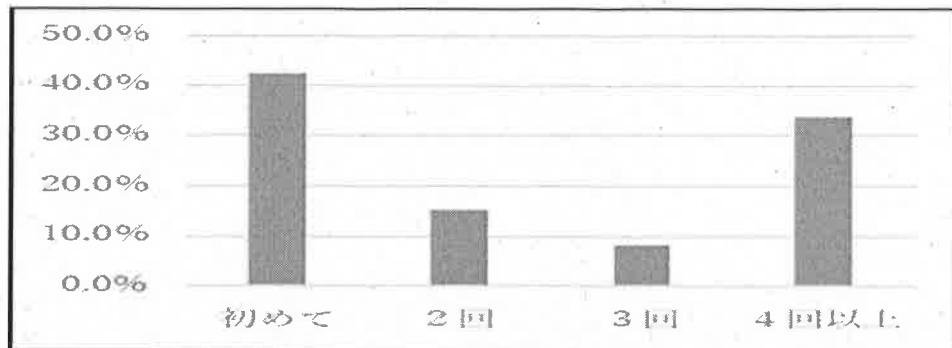
J 来場者アンケート結果

1 回答数：443 件

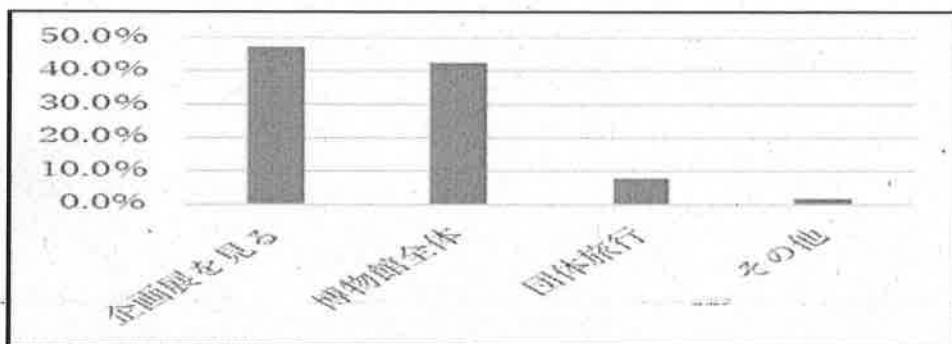
2 年代構成：10 歳未満 25.1%，10 歳代 40.6%，20 歳代 4.5%，30 歳代 8.8%，  
40 歳代 13.5%，50 歳代 3.2%，60 歳以上 4.1%

3 居住地：群馬県内 60.3%，県外 39.5%

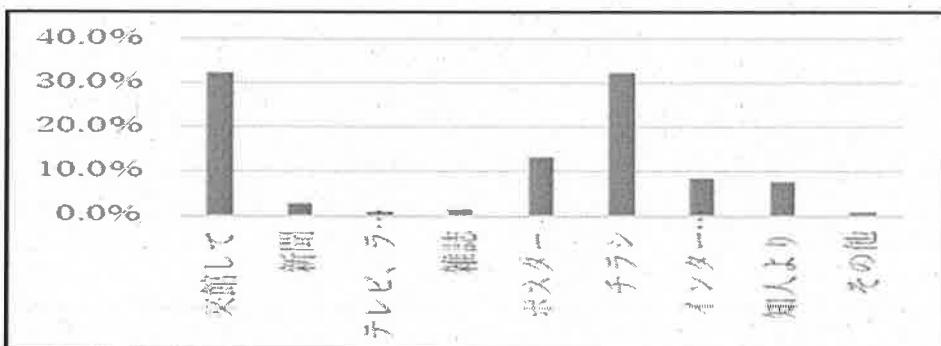
4 来館されるのは何回目ですか。



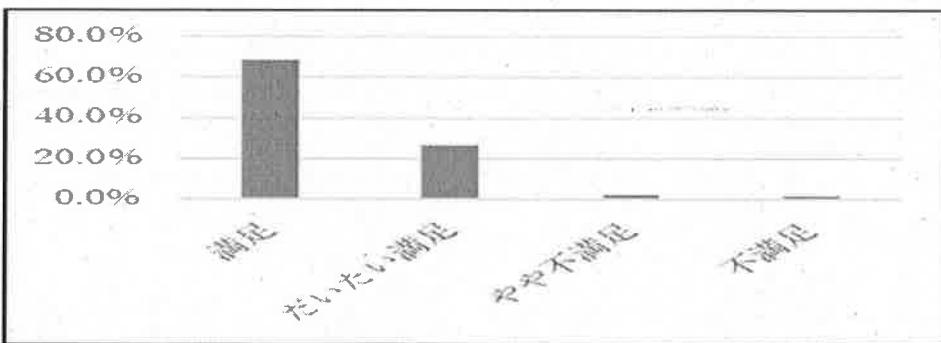
5 来館された理由を教えてください。



6 企画展「化石動物園～哺乳類3億年の歴史～」を何でお知りになりましたか。



7 企画展の内容はいかがでしたか。



### ③ 第58回企画展「人類進化700万年」

#### A 趣旨

25年前の知見では最初の人類は440万年前のアルディピテクス・ラミダスであった。その後、新しい発見が相次ぎ、最古の人類は約700万年前のサヘラントロプス・チャデンシスである可能性が大きくなつた。我々ホモ・サピエンスと生息年代が重なるホモ・ネアンデルタレンシスは、ホモ・サピエンスと交雑していく日本人も2%ほどホモ・ネアンデルタレンシスの遺伝子を受け継いでいることが判明した。今年6月の発表ではホモ・サピエンスの起源は定説の20万年前から30万年前に遡ることがネイチャーに発表された。今回の企画展では人類誕生から現代人に至るまでの変遷を詳解する。最新の知見を家族づれ、学校団体の方々にわかりやすい展示になるよう工夫をした。広く県民の興味関心をひき、知識関心を高められる展示とした。

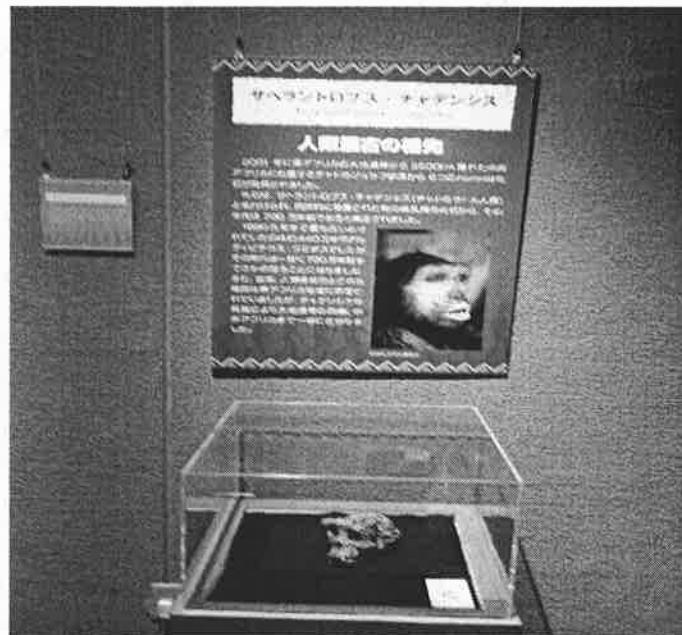
#### B 開催期間

平成30年10月6日（土）～平成30年12月2日（日）（50日間）

#### C 展示構成



駐車場バナー 我々と最古の人類



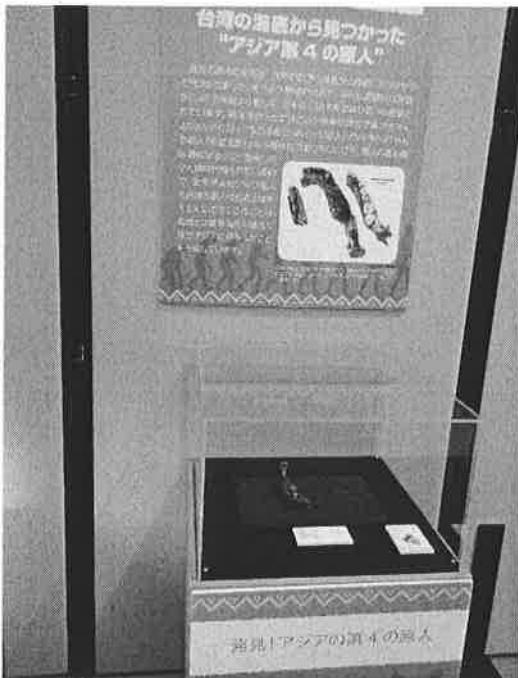
最古の人類 サヘラントロプス・チャデンシス



ホモ・ハビリスの頭骨と石器



アウストラロピテクス・アファレンシス、ラエトリの家族



日本初展示 台湾の原人



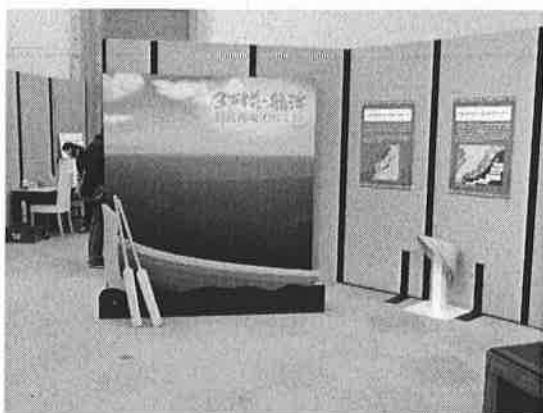
インドネシアのフローレス原



私たちとネアンデルタール人の比較



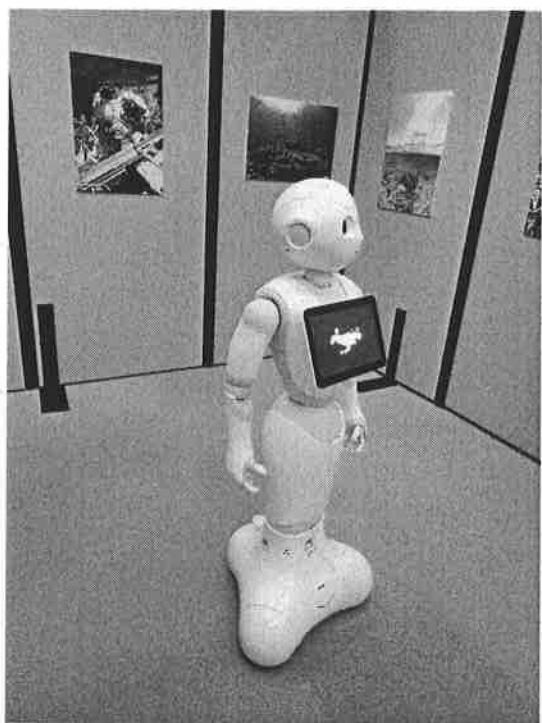
私たちホモ・サピエンス



3万年前の航海 再現プロジェクトの紹介



頭骨 2D、3D パズルのコーナー



ペッパー 未来を語る



希望の樹

D 展示点数

480 点（内借用資料 2 点）

E 期間中観覧者数 38,208 人

F 関連事業

講演会

「新発見！かつてアジアにいた意外な原人・旧人類」

講師：国立科学博物館人類研究部 海部陽介

日時：2018年10月8日（月）13:30～15:30

場所：当館学習室

参加人数：100名+10人実験室でパブリックビューイングを実施

講演会

「DNAで解明する現生人類の起源と拡散」

講師：国立科学博物館人類研究部 篠田謙一

日時：2018年11月25日（日）13:30～15:30

場所：当館学習室

参加人数：100名+27人実験室でパブリックビューイングを実施

ワークショップ

「自分の歯型をつくって他の人類と比較しよう」

講師：企画展担当者

日時：11月14日（日）13:30～15:30

場所：実験室

参加者：20名

ワークショップ

「石やりをつくろう」  
講師：岩宿博物館 小菅将夫

日時：11月18日（日）13:30～15時30分

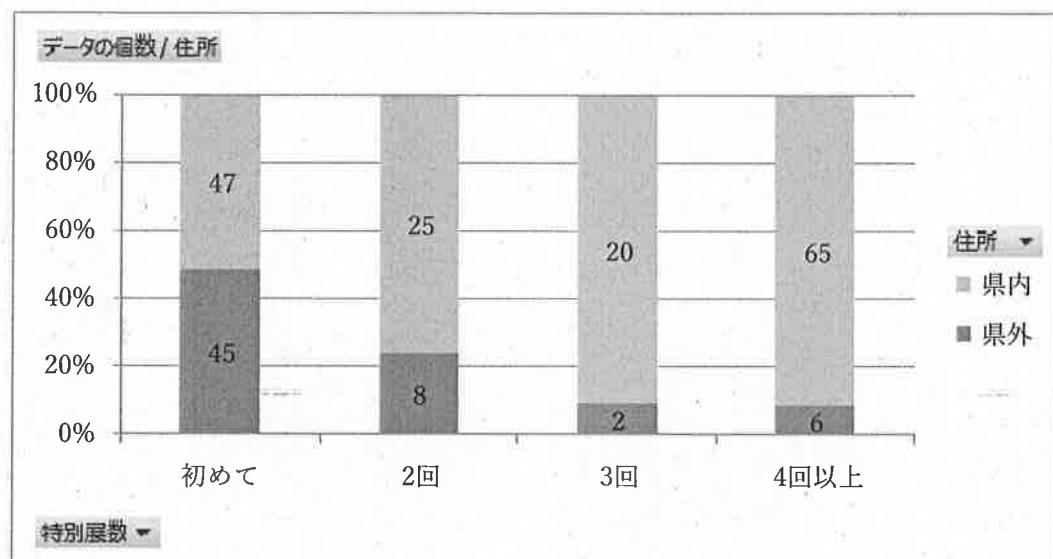
参加者：17名

協 力：独立行政法人国立科学博物館人類研究部 岩宿博物館、篠田謙一、海部陽介、諏訪元、小菅将夫、松村秋芳、川端裕人

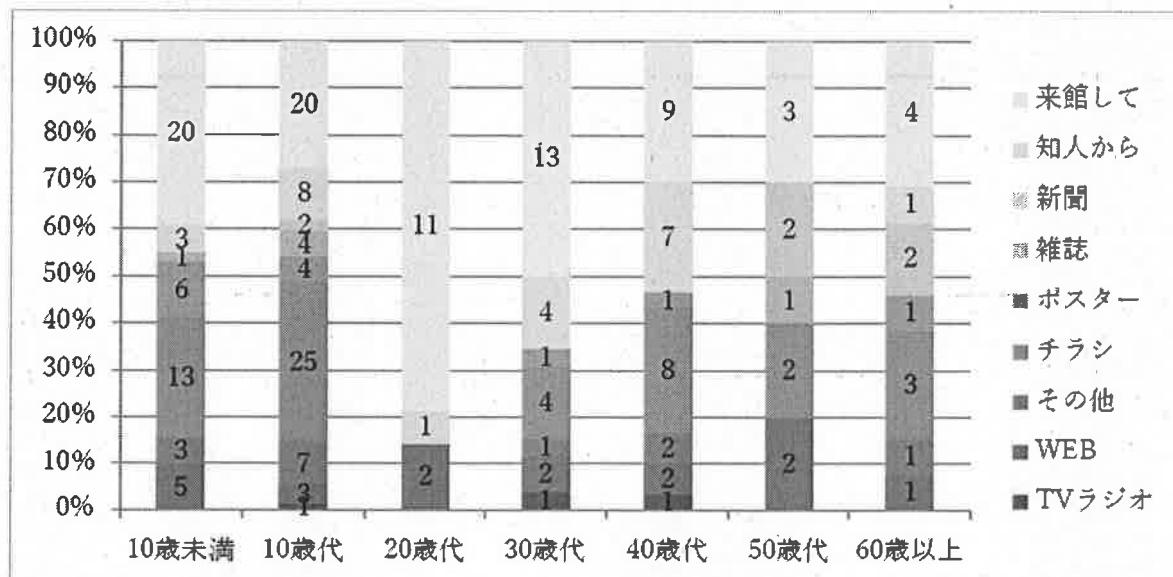
後 援：日本人類学会、日本靈長類学会、朝日新聞前橋支局、毎日新聞社東京本社、読売新聞社前橋支局、上毛新聞社、群馬テレビ、NHK前橋放送局、エフエム群馬

G アンケート結果

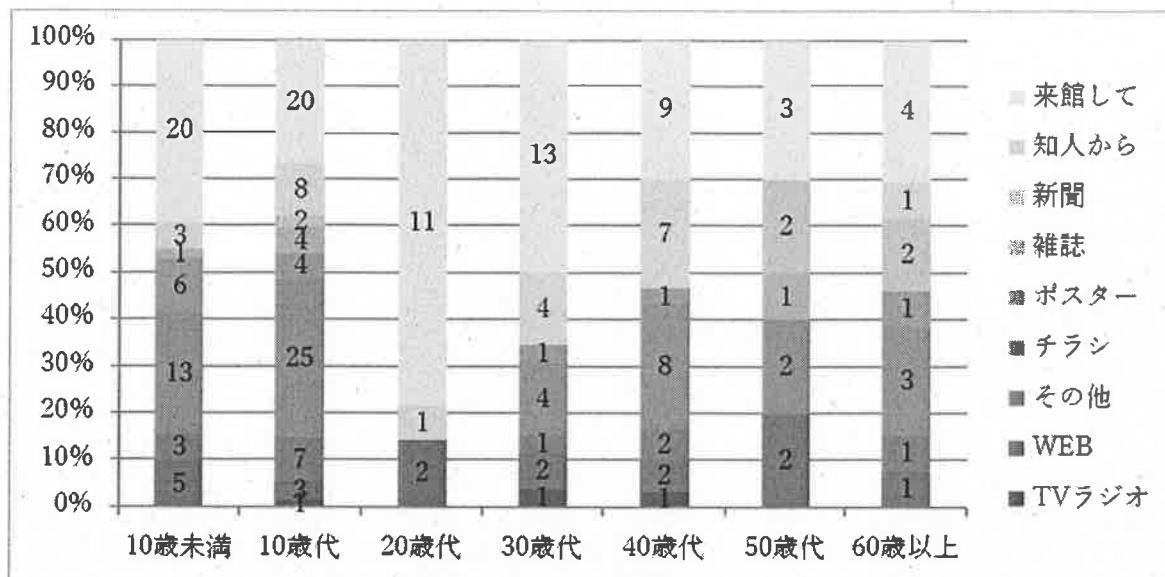
1 来館されるのは何回目ですか。



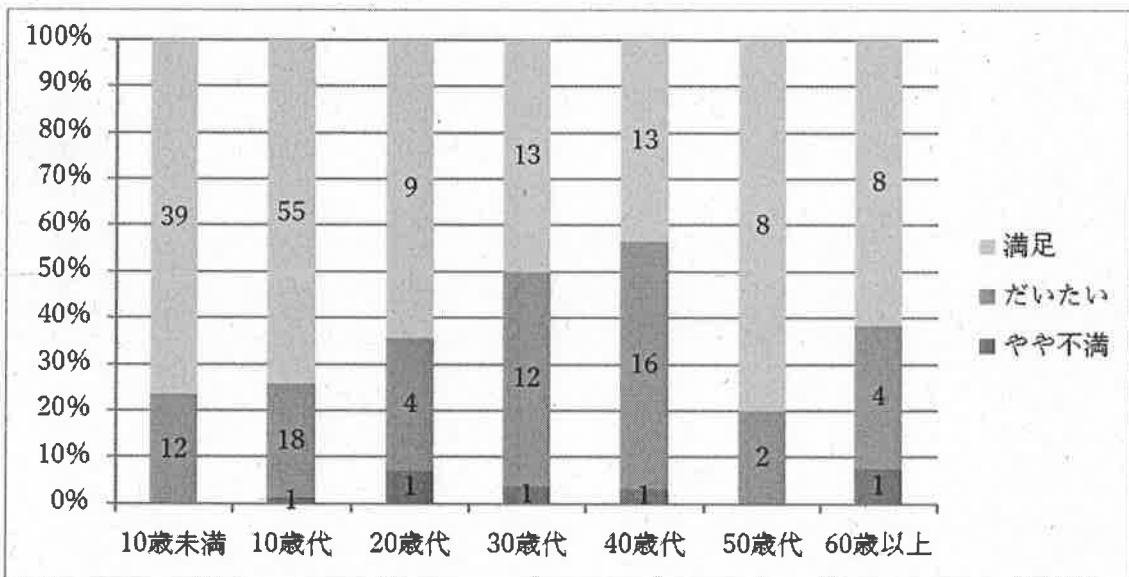
2 来館された理由を教えてください。



3 企画展「人類進化 700 万年」を何でお知りになりましたか。



4 企画展の内容はいかがでしたか。



④ 第59回企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」

△ 趣旨

谷川連峰を含む三国山脈は分水嶺であるとともに、本州の気候の非対称性を表す上で重要な役割をしている。一方、この山域は東北・北海道の山域からの北方系の種のコリドーとしての役目を果してきた。加えて固有種・隔離分布種の存在によって高い生物多様性を有している。また、地質的にも東北のプレート境界型の火山列の南端に位置し、また、山麓部のグリーンタフの存在は、周辺地域との関連性や本地域の特性を議論する上で重要な地域である。本地域は比較的自然植生が温存されるとともに、自然との調和が図られた生活が営まれた地域もあり、近年自然を資源とした観光も営まれている。谷川連峰はみなかみユネスコエコパークの中心地域で今後その自然はさらに注目されることが期待される。本企画展では谷川連峰の地形・地質、生物を紹介するとともに、なぜそれが重要なのかが県内外の入館者が理解することで、その自然を後世に伝えるためのきっかけとなるようにする。

B 開催期間

2019年3月23日（土）～3月31日（日）（開催日数8日）

## C 展示構成

### a) 三国山地－谷川連峰－谷川岳

導入展示として、山の魅力が伝わる写真やスライドショーを、元県警谷川岳警備隊長・馬場保男氏、谷川岳エコツーリズム推進協議会阿部利夫氏の素材中心に展示した。次に谷川連峰の位置を日本、越後山地のスケールから紹介し、周辺山岳の紹介も併せて行った。谷川連峰に係る登山道発達史、登山史を装備品などとともに紹介し、最後にみなかみ町と谷川連峰のかかわりを、みなかみユネスコエコパークとともに紹介した。

### b) 山々のなりたち

まず、谷川連峰を形成する岩石を、形成年代や成因をもとに実物の岩石を用いて解説した。次いで、谷川岳東面の険しい地形の成因を、構造地質と雪氷地形の両面から説明するとともに、斜面崩壊と安定角について理解するためのハンズオン展示を行った。積雪と強風をキーワードに、現在の谷川連峰の気象が、地形発達に寄与したことを説明した。最後に、谷川岳の大岩壁のイメージとして、クライミングウォールを設置し、その上に大型スクリーンを設置し、臨場感のある中でクライミング体験ができるようにした。

### c) 氷河と雪がはぐくんだ生き物たち

谷川連峰に分布する動植物を、北方系と多雪をキーワードに解説・展示した。北方系生物については、高山植物や高山性・亜高山性の昆虫や哺乳類の実物展示を行うとともに、日本における高山植物の種分化、森林性の植物との浸透交雑など、最近明らかになった事象を交えて解説した。多雪地特有の植物については、雪食裸地、雪田など多雪地山岳特有の地形や、越後山地を分布の中心とする分類群の視点から解説する種を選定した。動物については、換毛段階のノウサギの仮剥製（国立科学博物館所蔵）や、ユキカワグラ類など、トピックス性の高いものをアイテムとした。最後に、みなかみ町所蔵の東京芸術大学高山植物画のレプリカを用いて美術館的な展示を行った。また、体験コーナーとして、大人の塗り絵を設定した。

### d) 豊かな森との水の恵み

谷川連峰の生態系の豊かさを谷川連峰から連続する広大な自然植生、溪畔林と溪流のいきもの、大型哺乳類・猛禽を軸に実物展示を行った。猛禽コーナーは岩壁の大型バナーをバックに、飛翔状態のタカ3体を吊り下げるとともに、ワシ・タカと餌の対応が見えるよう、大型ステージで目先に餌動物を置く工夫をした。体験コーナーはヤナギの細部観察、ユビソヤナギの雄花の観察を設定し、猛禽コーナーでクイズを設定した。

### e) 山からのシグナル

ニホンジカやニホンザルの分布拡大、ツキノワグマの人里への接近など、野生動物の分布の変化や人間との軋轢、さらに近年進出したナラ枯れの問題を例に、現在谷川連峰周辺で起きつつある問題を紹介する。

## エピローグ いつまでも美しく豊かな谷川連峰であり続けるために

赤谷プロジェクトと谷川岳エコツーリズム推進協議会の活動をもとに、谷川連峰で、自然をモニタリングしながら、失われた自然を取り戻すこと、地域にの生態系にあった適正な利用を紹介する。自然の保全のためには、モニタリングの継続と科学的な根拠に基づく意思決定、そして規模や方法を適正化し、持続可能な利用に心がけることが必要であることに気づかせる。あわせて赤谷プロジェクトに取り組んでいるみなかみ町立新治小学校の実践報告を紹介した。

## D 展示点数：516点（内当館収蔵資料数317点）

E 関連事業

サイエンスサタデー・赤谷に飛ぶイヌワシのモービルを作ろう

実施日 3月中の土曜日

F 共催

みなかみ町

G 後援

上毛新聞社、新潟日報社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ株式会社、株式会社エフエム群馬、株式会社ラジオ高崎



I 観覧者数

平成 31 年 3 月 31 日までの入館者数 7,393 人

### (3) 特別展示

#### ① ぐんまの自然のいま

A 趣旨

この企画では、群馬県内で長年にわたって地域に根ざして活動している自然保護、保全に携わる団体等や自然史博物館職員・ボランティア・特別研究員の活動成果を、収蔵実物標本等を活用しながら、ポスターやパネル等で紹介した。広く一般の県民に展示、教育普及することで、県民の自然史に関する好奇心・探求心を刺激し、地域の生物多様性の保全への関心を高めることを目的とした。更に、地域活動を支える新たな担い手を養成し、その担い手がさらに担い手を養成するという輪を創出した。

B 展示点数：約 500 点（うち博物館収蔵資料 460 点）

展示内容：

- ・各種団体、自然史博物館職員・ボランティア・特別研究員のポスターやパンフレット
- ・映像（動画）

- ・哺乳類・鳥類等の剥製、菌類標本、貝標本、植物標本、鉱物標本、羽毛標本、骨格標本  
ドイツ箱・昆虫標本、哺乳類の骨格標本

C 期 間

平成 31 年 1 月 19 日（土）～2 月 24 日（日）（開催日数 32 日）

D 観覧者数

13,972 人（平成 29 年度：12,068 人）

E 関連事業

- ・ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018

※詳細は、II2 (4) 学会等の開催を参照

(4) ミニ展示

① C コーナー解説員カウンター展示内容

展示テーマ	実施期間	展示構成
チョウの翅	4 月 1 日～5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョウの翅のつくり</li> <li>・翅のもつ役割</li> <li>・鱗粉ってどんなものだろう？</li> <li>・翅の機能</li> <li>・世界の美しいチョウの翅</li> </ul>
標本SOS!	6 月 1 日～9 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の標本たち</li> <li>・標本たちからのSOS！</li> <li>・標本たちを守るために</li> <li>・みんなで守ろう！</li> <li>・見えないけれどあるんだよ</li> </ul>
もっと！ キツネ	10 月 2 日～1 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなところにいるの？</li> <li>・キツネの狩り</li> <li>・キツネの食べ物</li> <li>・キツネの子育て</li> <li>・観察しよう</li> <li>・キツネと私たち</li> </ul>
不思議な生物 「イカ」	2 月 1 日～4 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イカについて</li> <li>・イカのからだのつくり</li> <li>・さまざまなイカ</li> <li>・イカと私たち</li> </ul>

#### Cコーナー解説員カウンター展示風景写真



「チョウの翅」



「標本SOS！」



「もっと！キツネ」



「不思議な生物『イカ』」

#### (5) 共催展示

ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018

※詳細は、II 2 (4) 学会等の開催を参照

## 2 教育普及

平成30年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ17,985回の事業を開催し、64,621名の参加者を得た。その内訳は、以下のとおりである。

### (1) 教育普及事業

#### ① 解説員対応

##### ア 展示解説（一般向け）

常設展示室並びに企画展示室の解説は、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」を実施した。「定時解説」は、常設展示室内を、Aコーナー（地球の時代）、Bコーナー（群馬の自然と環境）、2階（ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球）の3つに区分し、それぞれの定時解説時間は30分で1日3回実施した。企画展開催中は、企画展の定時解説（30分）を加えて行った。

月	開館日数	定時解説実施回数	常設展定時解説参加者	企画展定時解説参加者	定時解説参加者	一日平均参加者数	随時解説回数	随時解説参加者
4	26	59	151	57	208	8.0	1248	3075
5	27	35	106	34	140	5.2	1614	4031
6	19	26	90		90	4.7	978	2412
7	26	65	169	64	233	9.0	1626	4174
8	31	120	454	154	608	19.6	3195	7758
9	26	47	161	19	180	6.9	1519	3750
10	26	54	98	56	154	5.9	1577	3943
11	26	101	222	248	470	18.1	1290	3076
12	14	35	92	56	148	10.6	408	1016
1	22	55	167		167	7.6	810	1940
2	21	34	92		92	4.2	841	1930
3	26	50	165	8	173	6.7	1606	3738
合計	290	681	1667	696	2663	9.2	16712	40843

※対面アンケートを48人に実施（満足度結果：満足～とても満足：100%）

##### イ ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する小学校低学年用のものを多くした。毎週土曜日の午前11時と日曜日・祝日の午前11時、午後2時に上映した。また、夏期休業中は連日午前11時、午後2時に上映した。ただし、上映場所である学習室を他の行事で使用する場合は上映を行わなかった。

月	上 映 作 品	上 映 回 数	参 加 者 数
4	「絶景ジオパーク 地殻変動から見る日本列島」 (GW特別期間) 「ちきゅうはおおきな動物園」	15	216
5	(GW特別期間) 「ちきゅうはおおきな動物園」 「自然なぜなに！？DVD図鑑－ホタル－」	15	131
6	「ドキュメンタリー 田んぼ」	8	32
7	「ディスカバリー チャンネル－ゾウ－」	24	399
7	(前半) 「アニマルワールド－シカ－」 (後半) 「絶滅した狩人－ダスプレドサウルス－」	55	2472

9	「N H K エンタープライズーへんないきものー」	19	711
10	「N H K スペシャル生命大躍進ついに知性が生まれた」	11	111
11	「ニホンザル 母の愛」	13	126
12	「ディズニーアニマルワールドーペンギン」	8	124
1	「まんが日本昔ばなし・うぐいす長者・ミソサザイは鳥の王様」	13	151
2	「ディスカバリー・チャンネルーサマー」	11	281
3	「森の自然と私たち」	16	174
合 計		208	4928

#### ウ ポイント解説（一般向け）

一般向けの「ポイント解説」を2階展示室から1階Aコーナーの恐竜を見下ろす位置から行った。恐竜について10分程度の解説をした。

月	ポイント解説実施回数	ポイント解説参加者	1回平均参加者数
4	11	84	7.6
5	3	11	3.7
6	1	16	16.0
7	5	49	9.8
8	0	0	0
9	3	16	5.3
10	6	41	6.8
11	1	8	8.0
12	0	0	0
1	3	17	5.7
2	0	0	0
3	2	11	5.5
計	35	253	7.2

#### エ 紙芝居（一般向け）

当館に来館する子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料の一般向け「紙芝居」を学習室で実施した。内容も自然に関する幼児向けのものを多くした。土曜日の午後2時15分に実施した。

月	紙芝居実施回数	紙芝居参加者	1回平均参加者数
4	4	47	11.8
5	4	92	23.0
6	4	91	22.8
7	4	96	24.0
8	4	36	9.0
9	5	159	31.8
10	4	97	24.3
11	4	57	14.3
12	3	30	10.0
1	4	68	17.0
2	4	92	23.0
3	5	81	16.2
計	49	1046	21.3

### オ スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象に「スポット解説」を実施した。スポット解説は、引率者と事前の打ち合わせを行い、特定の展示資料について15分程度の解説を行った。



実施数 70回 3680名

内 容	団体数	内 訳
カマラサウルス	46	幼稚園・保育園 2 小学校 42 中学校 1 特別支援学校・学級 1
絶滅に瀕した動物	1	特別支援学校・学級 1
飛ぶ種	1	小学校 1
幼児のための展示解説	4	幼稚園・保育園 4
視覚障がい者向け解説	2	盲学校 1 その他 1
地域回想法	1	老人会 1

### カ ビデオ上映会（学校向け）

学校等の団体を対象に「ビデオ上映会」を実施した。ビデオ上映会は、引率者と事前の打ち合わせを行い、自然史に関する内容について上映した。

計 実施数 25回 1780名

団体数	内 訳
20	小学校

### キ 解説員研修

展示解説の充実と資質向上のため、解説員の研修を以下の通り実施した。

- ・第57回企画展研修  
6月12、6月6、13、18、19、20日
- ・第58回企画展研修  
9月21日、28日、10月4、10、11、12日
- ・常設展示解説研修 12月18日  
午前：不審者対応、午後：エフエム群馬アナウンスセミナー
- ・「視覚障がい者向け解説ツアー」研修 2月26日
- ・解説業務改善のための協議 12月28日
- ・第59回企画展研修  
2月26日、3月15日、22日、27日、28日、29日

### ② ファミリー自然観察会

群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。



月 日	テ マ	概 要	講 師	参 加 者 数
4月22日(日)	化石さがしに 挑戦しよう	吉井運動公園周辺の鏑川河川敷で化石の観察と採集を行った。	学芸係 高棄祐司	43
6月10日(日)	浅間山北麓ジオパークの自然にふれよう -夏休み自由研究教室(1)-	鬼押出し浅間園で、鬼押出溶岩や植物観察、岩石標本作りを行った。	浅間山北麓 ジオパーク 推進協議会	12
7月22日(日)	水の中の生きものを 調べよう -夏休み自由研究教室(2)-	富岡市和合河川敷周辺の鏑川で水棲昆虫の観察と採集を行った。	土屋清喜 宮原義夫	25
10月14日(日)	秋を見つけて、 秋と楽しもう! -博物館周辺の自然を探して-	博物館周辺で、キノコや植物の観察して、葉のパウチ標本の作製を行った。	学芸係 伊藤智史 資料整理 ボランティア 北爪二郎	15
12月2日(日)	“空飛ぶ宝石” カワセミを見付けよう -水辺に集まる野鳥の仲間-	高田川周辺で見られるカワセミや水辺に集まる野鳥の仲間を観察した。	当館資料整理 ボランティア 清水伸彦	10
延5回開催				計105
アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	42	3	1	0
県民のニーズ	・化石発掘体験をもっと増やしてほしい。 ・動物と触れ合う企画をしてほしい。			

### ③ 天体観望会

博物館の天体ドームに設置している40cm反射望遠鏡・15cm屈折望遠鏡や移動式の天体望遠鏡、大型双眼鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・星雲、惑星について観察した。



月 日	テ マ	概 要	講 師	参 加 者 数
5月4日 (金・祝)	実は出ている星の星を見てみよう	口径40cmの反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って昼間見える惑星や恒星を観察した。	学芸係 茂木 誠 博物館ボランティア1名	59
7月31日 (火)	火星大接近	火星が大接近するときに併せて、口径40cmの反射望遠鏡を使用して土星のリングや衛星の様子を観察した。	学芸係 茂木 誠 博物館ボランティア1名	24
10月6日(土)	星座を眺めてみよう	博物館屋上の壁にプロジェクター活用して、「夏の星座」や「ベガやアルタイルなどの恒星」の解説しながら観察を行った。	学芸係 茂木 誠 博物館ボランティア1名	10

10月7日 (日)	実は出ている星を見てみよう	口径40cmの反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って昼間見える惑星や恒星を観察した。	学芸係 茂木 誠	47
11月24日(土)	秋の星座を眺めてみよう	博物館屋上の壁にプロジェクター活用して、秋の星座解説を行った。	学芸係 茂木 誠 博物館ボランティア3名	32
3月4日(土)	冬の星空を眺めてみよう	口径40cm反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って惑星の観察をしたり、冬の星座解説を行ったりした。	学芸係 茂木 誠 博物館ボランティア2名	26
延6回計画				計198
アンケート結果 参加者の満足度	満足 62	ほぼ満足 3	やや不満 0	不満 0
県民のニーズ	・流星群の観察される日に、観察会を企画してほしい。			

#### ④ 自然史講座

自然科学の第一戦で活躍される研究者を講師に招き、県民に自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月 日	テー マ	概 要	講 師	参 加 者 数
5月13日(日)	ベッドで眠るアフリカのチンパンジー	アフリカに生息するチンパンジーの生態について話した。	長野県看護大学准教授 座馬耕一郎	27
12月16日(日)	宇宙の構造・宇宙の進化	宇宙の構造や宇宙はどのように進化してきているのかについて話した。	県立ぐんま天文台主幹 橋本修	64
1月14日(月・祝)	赤道200周の旅で学んだこと～生き物たちの共生～	世界各地を旅しながらそこで出会った生き物について話した。	自然写真家・ジャーナリスト 山口進	63
延3回開催				計154
アンケート結果 参加者の満足度	満足 91	ほぼ満足 23	やや不満 3	不満 0
県民のニーズ	・群馬の文化と自然について話を聞きたい。 ・動物の骨について話を聞きたい。 ・渡り鳥の渡りについて話を聞きたい。			

#### ⑤ 企画展 講演会

企画展に協力していただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月 日	テー マ	概 要	講 師	参 加 者 数
4月15日(日)	利根川に影響を与えた火山噴火の歴史	「前橋高崎地域の自然史地図」を使いながら、浅間山、榛名山、赤城山の火山噴火の歴史と関連させて、利	群馬大学教授 早川由起夫	89

		根川の流路変遷の歴史を写真や動画を交えながらわかりやすく解説した。		
7月15日(日)	妖怪古生物への誘い	「科学」という言葉が輸入される以前の見たこともない不思議な生き物の記録について古文献などの記録とともに解説した。	丹波竜化石工房 荻野慎諧	70
8月11日(日)	長谷川名誉館長スペシャルトーク「哺乳類の歴史と多様性の一端を見る」	哺乳類の多様な進化の歴史について明らかにするために、哺乳類の歯について解説した。	当館名誉館長 長谷川善和	42
8月19日(日)	人体にみられる進化のあと	生物の背骨、手足、顔など歴史をさかのぼることで今の形がなぜそうなったのか解説した。	古脊椎動物研究所代表 犬塚則久	37
10月25日(日)	新発見！かつてアジアにいた意外な原人・旧人類	原人や旧人類の移動の歴史をたどっていと、アジアにも人類の歴史が新しく発見された。	国立科学博物館 海部陽介	110
11月25日(日)	DNAで解明する現生人類の起源と拡散	化石の発掘は、形態の変化をはっきりさせていく。DNAの解析によりさらに詳しい人類の起源が判明した。	国立科学博物館 篠田謙一	127
延6回開催				計475

## ⑥企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材として、企画展に関する興味と関心を高めるために、さまざまな自然教室を実施した。



月 日	テー マ	概 要	講 師	参 加 者 数
4月 4日 (水)	春の江戸川（利根川分岐点）バスツアーアー	首都圏外郭放水路や千葉県立関宿城博物館において、利根川について学んだ。	千葉県立関宿城博物館案内：尾崎 晃、榎 美香、他：茂木 誠	16
5月 3日 (木)	大水上山の魅力を語る—利根川最初の一滴を体験—	大水上山の魅力を登山したメンバーが語った。また、現地で採集した冰雪藻類を顕微鏡で観察した。	茂木 誠、菅原 久誠、群馬大学ワンダーフォーゲル部	89

7月15日(日)	古生物の復元に挑戦しよう	恐竜の骨格が印刷されたポストイットを用いて丹波竜骨格組立図を復元し、それぞれの骨の名前も学んだ。	丹波竜化石工房 荻野慎諧	19
11月4日(日)	自分の歯形をつくって他の人類と比較しよう	石膏を用いて自分の歯型を取り、原人や旧人類とのちがいを比較した。	学芸係 高橋克之	19
11月18日(日)	石やりをつくろう	黒曜石を使って、かつて使われていた石やりを作成した。	岩宿博物館館長 小菅将夫	17
延5回開催				計98
アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	46	6	1	0

## ⑦ 自然史博物館探検隊

夏休みに入ったばかりの小学校高学年の子どもたちを対象として、博物館に一泊し、普段公開していない収蔵庫や展示室の裏側などを探検した。わくわく、ドキドキしながら、自然史への興味・関心を持つとともに、博物館でできな夏の思い出づくりを行った。参加者へ指導（宿泊指導を含む）は、教育普及係長、教育普及係2名、学芸係1名、展示解説員3名で行った。

日 時：7月28日(土) 集合 午後6:00

7月29日(日) 解散 午前8:00

参加人数：小学生30名 (募集対象：小学4～6年生)



## ⑧ ミュージアムスクール

小学5年生から中学3年生を対象に、高崎市吉井町多胡橋付近の鏑川を主な調査地として、鏑川の自然についていろいろな角度から調べた。年間8回の野外実習を行い、最後には研究発表会をした。

月 日	概 要	指導担当職員
5月20日 (日)	野外調査の方法を学んだ。	学芸係：茂木 教育普及係：月田
6月17日 (日)	河原の植物を通して植物と環境について調べた。	学芸係：大森・茂木 教育普及係：石川
7月15日 (日)	いろいろな場所にかくれている昆虫を採集して観察した。	学芸係：高橋・茂木 教育普及係：月田
8月19日 (日)	河原のコケを調べ、特徴を観察した。	学芸係：伊藤・茂木 教育普及係：月田
9月16日 (日)	わなを使って魚の調査をした。	学芸係：木村・伊藤 教育普及係：武井

10月21日（日）	鳥の羽を探して、調べて、フィールドカードをつくった。	学芸係：姉崎・茂木 教育普及係：月田
11月18日（日）	川のはたらき、河原の石、河原でみつかる自然全般について調べた。	学芸係：菅原・茂木 教育普及係：静野
12月16日（日）	およそ1100万年前の化石をさがし、種類を調べた。	学芸係：高葉・茂木 教育普及係：月田
1月20日（日）	調査のまとめをした。	学芸係：茂木 教育普及係：月田
2月17日（日）	調査のまとめをした。	学芸係：茂木 教育普及係：月田
3月9日（日）	学習室で研究発表会を実施。	学芸係：茂木 教育普及係：月田

## ⑨ 出張展示

### ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人等に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の公民館や大型商業施設へ資料を運んで展示する移動博物館を開催した。前年度中に県内の各学校・各公民館、県内特別支援学校に開催希望をとり、実施した。また、「飛ぶタネの模型づくり」等の体験活動を行った。



会 場	期 日	利用者数	博物館資料点数
スマート伊勢崎	6月30日(土)・7月1日(日) 2日間	1868	108
渋川市小野上公民館	9月8日(土)・9日(日) 2日間	393	108
千代田町民プラザ	3月2日(土)・3日(日) 2日間	1159	108
合 計		3420	324

### イ 他館連携出前教室

年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してPR活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。

会 場	期 日	担当	参加者数
群馬県生涯学習センター	7月26日(木)	教育普及係 静野 聰	100
スマート伊勢崎	8月4日(土)	教育普及係 静野 聰	79
富岡市生涯学習センター	11月3日(日)	教育普及係 静野 聰	45
合 計			224

## ⑩ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の午後2時から3時まで、実験室や館周辺を活用した生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。対象を小学生以上とし、講師や補助指導は館職員とボ



ランティアが行った。

月	テーマ	概要	参加者数
4	ツバメ型グライダーをつくろう	ツバメについて学んだあと、ツバメ型グライダーをつくり、中庭で飛ばした。（4回）	125
5	河原の石を使ってペーパーウエイトをつくろう	川のでき方を知るために砂山を水で崩す簡単な実験を行い、その後、河原の石に絵を描き、ペーパーウエイトをつくった。（4回）	131
6	光るスライムをつくろう	生物の様々な発光について学び、蓄光材を利用した光るスライムをつくった。（4回）	226
7	翼竜アンハングエラをつくろう	ブラジルで発見された翼竜アンハングエラについて学び、スチレンペーパーでグライダーをつくった。（4回）	193
8	アンモナイト化石のレプリカに色つけをしよう	アンモナイトについて学んだあと、石膏でアンモナイト化石のレプリカをつくった。出来上がったレプリカにアクリル絵の具で色つけをした。（4回）	196
9	よく飛ぶ竹とんぼをつくろう	とんぼの生態について学んだ後、竹とんぼをつくり、中庭で飛ばした。（5回）	176
10	飛ぶタネの模型をつくろう	植物のタネについて学んだ後、飛ぶタネの模型をつくりて飛ばした。（4回）	122
11	コハクをみがいて虫をさがそう	コパル（コハク）について学んだ後、コハクをみがき、みがいたコハクの中に、虫がいるかさがした。（4回）	164
12	コケのテラリウムをつくろう	コケのからだのつくりについて学んだあと、コケの採取を行い、コケのテラリウムをつくった。（3回）	118
1	木の葉化石をさがそう	化石のでき方、化石の探し方について学んだ後、実際に岩石の中から木の葉化石をさがした。（3回）	117
2	火山灰から宝石を見つけよう	火山活動について学んだ後、火山灰の梳がけを行い、いろいろな鉱物を探し出した。（4回）	198
3	イヌワシのモビルをつくろう	イヌワシの生態について学んだ後、イヌワシのモビール作りを行った。（5回）	191
合計			1957
アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満
参加者の満足度	153	15	0
			不満

## ⑪ ミュージアム・ナイト・ツアー

夜の博物館をキャラクター等に扮した館職員が案内した。

地球46億年の歴史について恐竜について紹介したり、動物の生態について紹介したりしながら、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行った。

開催日：1月26日（土）・2月2日（土）

参加者合計：88名



アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	32	1	0	0
県民のニーズ	・大人から子どもまで楽しむことができた。 ・今後もナイトツアーを続けて開催してほしい。			

#### ⑫ バックヤード・ツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内した。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介した。また、毎月第一日曜日にバックヤードツアー30を行った。

バックヤードツアー30 参加者



月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数
4	10	7	10	10	13	1	14
5	12	8	10	11	11	2	11
6	10	9	14	12	10	3	15
合計							140

#### ⑬ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定した研究テーマについて、学芸係職員の指導をもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は6組7名の高校生が、4分野のテーマに取り組み、研究発表会を行った。

分 野	研究内容	参 加 者	指 導 職 員
1 昆虫	カマキリの視覚に関する狩りへの影響	県立高崎女子高等学校 1名	高橋
	クロオオアリの学習能力	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 1名	
2 植物	群馬県内の多様な環境に生息するレンゲツツジの比較	県立中央中等教育学校 1名	大森
	群馬県南部及び東京都心の着生植物ノキシノブ属における着生樹種の特徴と分布について	県立高崎女子高等学校 1名	
3 化石	恐竜の成長に伴う頭骨の変化	県立中央中等教育学校 1名	高葉
4 地質	群馬県南牧村南西部に分布する付加体の産状およびチャートブロック中の微化石	新島学園高等学校 1名	菅原
5 菌類	伊勢崎商業高校周辺の地衣類について	県立伊勢崎商業高等学校 1名	伊藤

#### ⑭ 大人の自然史俱楽部

大人向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味関心が

高まるきっかけとなるよう以下の3コースで実施した。

コース	内 容	延べ 人数	担当	
谷川岳の地形・地質と植物コース	当館展示室・実験室における講義や谷川岳一の倉沢周辺や天神平周辺の野外観察を通して、谷川連峰の地形や地質、そこに生息する植物について学んだ。	15	大森	
昆虫コース	みなかみ高原藤原スキー場における補注網での昆虫採集とトラップ仕掛け・回収を通して、みなかみ藤原地区の自然界に生息する昆虫について学んだ。	9	高橋	
水上自然歩き、カタツムリコース	みなかみ町におけるカタツムリ採取と矢木沢、大峰山および三峰山周辺における野外実習、サンプル採取を通して、カタツムリの生息調査や採取技能について学んだ。	18	茂木	
アンケート結果 参加者の満足度	満足 14	ほぼ満足 0	やや不満 0	不満 0
県民のニーズ	・榛名山における植物の観察会を企画してほしい。			

#### ⑯ 常設展解説充実化キット開発

常設展Bコーナー・尾瀬の解説充実化のため、解説で使用できる教材を開発した。

- ・尾瀬の地形図
- ・尾瀬の保全パネル
- ・イワナ、ヤマメ模型
- ・凝灰岩サンプル
- ・尾瀬花暦3種類(春、初夏、秋) 各2,000部

#### ⑰ 外部資金

- ・貸出トランクキットの開発

公益財団法人日本海事科学振興財団、船の科学館「海の学び ミュージアムサポート 億別サポートプログラム」の支援を受け、海を学ぶ大人数教室対応用貸出用トランクキットを開発した。

事業名：「海を体感し学ぶ」体験型アウトドア教材の開発・製作・運用

事業期間：平成30年6月1日（金）～平成31年2月12日（火）

協力機関等：群馬県立盲学校、神奈川県立生命の星・地球博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、群馬県立女子大学、葛西臨海水族園、新江ノ島水族館、国立科学博物館

支援額：300万円

事業内容：海のない群馬県における海洋教育の一助とする目的に、学校教育機関と連携・協働しながら、平成28年度に開発した「磯を探索しよう」平成29年度に開発した「浜／干潟」トランクキットの運用を行い、少人数から大人数に対応できる強化型トランクキットを新規に開発、制作した。また、実践を踏まえ、運用プログラムを開発した。

1. 「磯」「浜／干潟」トランクキット運用プログラムと教材開発

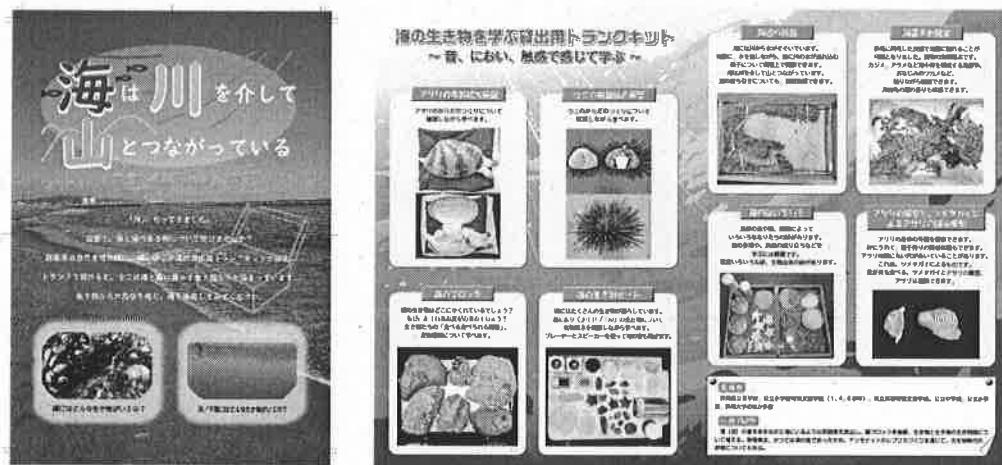
2. 「磯」「浜／干潟」トランクキットプロトタイプを用いたプログラムの試験的運用
3. トランクキット『頑丈版』の開発、製作
4. 海を学ぶ「磯」「浜／干潟」トランクキット運用、改良、頑丈型の完成

実施場所（開催日）：

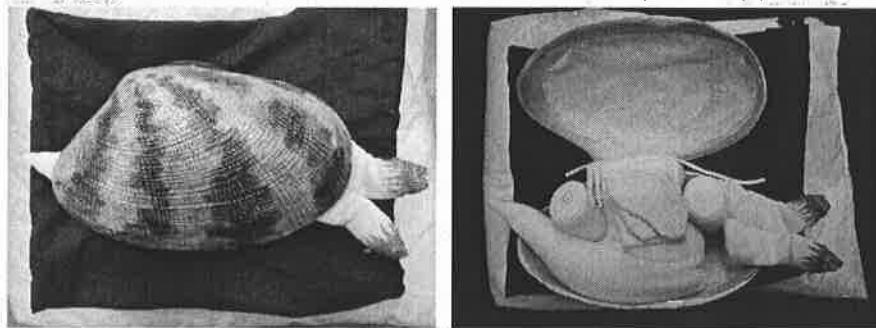
1. 群馬大学（7月12日）
2. 富岡市立妙義中学校（10月10日）
3. 玉村町立玉村南中学校（11月26日）
4. 前橋市立二ノ宮小学校（11月15日）
5. 群馬県立盲学校（11月21日）
6. 関東甲信越地区盲学校副校長・教頭会秋季総会研修（11月22日）
7. 群馬県立自然史博物館「教員のための博物館の日」（8月1日）
8. サイエンスアゴラ（11月10日、11日）
9. 科学ヘジヤンプ in 東京 2018（12月16日）
10. ミュージアムメッセ（11月28日、29日）
11. 群馬県立自然史博物館特別展（1月19日から25日）

#### 製作物

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1. 二枚貝のからだのつくりがわかる布製拡大模型 | 6個     |
| 2. ウニのからだのつくりがわかる布製拡大模型  | 6個     |
| 3. 二枚貝の生活を理解できる実物大模型     | 40個    |
| 4. 卷き貝の捕食方法を理解できる実物大模型   | 6個     |
| 5. クリアファイル（貝類のからだのつくり）   | 100部   |
| 6. パンフレット（教職員向け、教材紹介用）   | 5,000部 |

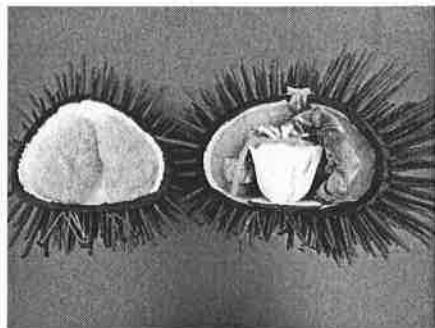
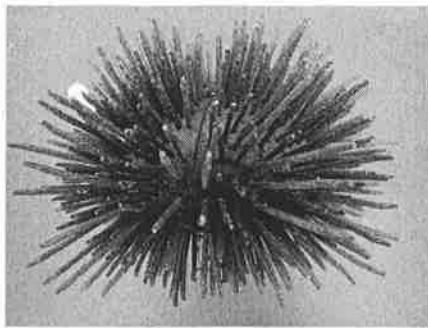


教員むけパンフレット（デザイン：群馬県立女子大学）



アサリ布製拡大模型 6 個

殻の質感を出すように改良



ウニ布製拡大模型 6 個：棘と管足あり。

オプションとして、液浸ウニ、乾燥ウニの口、海藻、ヒトデ標本等を組み合わせると、海と海の中に展開される生態系について授業内容を広げることができる。



アサリの実物大模型（40 個）と、アサリを捕食する巻き貝（ツメタガイ）と捕食されたアサリ（殻に孔あり）の実物大模型 6 セット。生きたアサリで水管、足を出している状態で触ることはできないため、触覚で触れて分かるように製作。砂に埋めて探すことで擬似潮干狩り体験も可能。捕食者とあわせて授業展開することで、海の中の喰う喰われる関係を説明できる。

## (2) 教育支援

### ① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

#### ア 大学・高等学校教育への支援

計実施数 5 回 108 名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内 容	対応職員
松井田高校	高校	7月12日	高校	30	野生動物との関係	姉崎
群馬医療 福祉大学	大学	9月11日	自然史 博物館	10	見学及び博物館の効果的 な利用法についての講義 普及事業体験	武井 石川
麻布大学	大・ 大院	8月23日	自然史 博物館	30	資料作成の基本実習：昆 虫	姉崎 高橋
群馬県立 尾瀬高等学校	高1	11月15日	自然史 博物館	31	自然史博物館の展示概 要、博物館ボランティア による展示解説	武井 石川
群馬大学 武蔵美術大学	大学	1月8日	自然史 博物館	7	博物館学、展示	菅原 姉崎

#### 企画立案・制作・発表テーマ

- (1) 松ぼっくり研究所～大きな松の木の下で～（3名）
- (2) 身近なところに動物パワー～見える？見えない？五感を研ぎ澄ませ～（2名）
- (3) うみ展（2名）

#### イ 小中学校教育への支援

##### i 総合的な学習の時間への対応（一般見学は除く）

計 3 校 224 名

学校名	学年	実施日	人数	内 容（対応方法）	対応職員等
富岡市立妙義中学校	中1	5月18日	23	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立南中学校	中1	6月5日	111	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立西中学校	中1	9月5日	90	尾瀬学校事前学習	解説員

##### ii 小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援

計 11 回 398 名

職員派遣先 等	対象	実施日	会場	人 数	内 容	対応 職員
安中市小学校 理科主任会	教員	4月12日	安中文化セ ンター	12	博物館の貸し出し資料の 有効活用	石川
高崎市小学校 理科主任会	教員	4月19日	高崎市立 城山小学校	10	博物館の貸し出し資料の 有効活用	石川
藤岡市小中学校 理科主任会	教員	4月23日	藤岡市 教育庁舎	30	自然史博物館の 効果的な利用方法	武井
前橋市小学校 理科部会	教員	4月24日	前橋市立 中川小学校	50	自然史博物館の 効果的な利用方法	石川
前橋市中学校 理科部会	教員	4月26日	前橋市立 荒砥中学校	25	自然史博物館の 効果的な利用方法	石川

富岡市校長会	校長	5月1日	富岡市議会棟	31	自然史博物館の効果的な利用方法	石川
安中市校長会	校長	5月8日	安中市議会棟	28	自然史博物館の効果的な利用方法	石川
高崎市3年目研修	教員	5月18日	高崎市市民活動センター	64	自然史博物館の効果的な利用方法	石川
群馬県中学校教育研究会	教員	5月22日	群馬県生涯学習センター	50	自然史博物館の効果的な利用方法	石川
高崎市2年目研修	教員	5月29日	高崎市市民活動センター	60	自然史博物館の効果的な利用方法	石川
高崎市5年目研修	教員	6月5日	高崎市市民活動センター	38	自然史博物館の効果的な利用方法	石川

【出前授業】 計 計画回数30回・実施回数30回 2469名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内 容	対応職員
群馬大学教育学部理科専攻	大1	7月12日	群馬大学	29	浜・干潟トランクキットアサリの生態	石川 武井 姉崎
下仁田町立教育委員会	小1~6	7月24日	下仁田小学校	15	化石のレプリカ作り	月田
群馬県教育委員会	小1~3	7月24日	群馬県生涯学習センター	81	科学の甲子園ジュニア事前講習 鉱物の同定	石川 菅原
富岡市立図書館	小1~中3	7月25日	富岡市立図書館	9	夏休みの自由研究	月田
群馬県生涯学習センター	小1~6	7月26日	群馬県生涯学習センター	100	化石のレプリカ作り	静野
前橋市文化センター	小1~6	7月27日	前橋市文化センター	40	化石のレプリカ作り	石川
玉村町立南小学校	小4~6	7月30日	玉村町立南小学校	30	化石のレプリカ作り コハクで虫をさがそう	石川
羽村市立第三中学校	中1~3	9月6日	群馬県立妙義青少年自然の家	22	天体観測	茂木
江戸川区立鹿本小学校	小6	9月11日	群馬県立妙義青少年自然の家	55	天体観望会	茂木
甘楽町役場	一般	9月24日	甘楽町楽山園	778	天体観望会	茂木
高崎市立吉井西小学校	小6	10月5日	高崎市立吉井西小学校	50	天体観望会	茂木
富岡市立妙義中学校	中3	10月10日	富岡市立妙義中学校	23	浜・干潟トランクキット環境教育	石川

安中市立 後閑小学校	小6	10月11日	安中市立 後閑小学校	17	地層の観察 木の葉化石発掘	高桑 石川
富岡市立 丹生公民館	大人	10月18日	富岡市立 丹生公民館	10	地域回想法	静野 武井
JA 甘楽富岡ふれ あいデイホーム	大人	10月25日	JA 甘楽富岡ふれ あいデイホーム	23	地域回想法	静野 武井
高崎市立 浜尻小学校	クラブ	10月25日	高崎市立 浜尻小学校	23	飛ぶタネの模型つくり	石川
富岡市立 妙義小学校	小3 ~6	11月7日	妙義青少年自 然の家	41	冬の星座について 講話・天体観望会	茂木
富岡市立 富岡小学校	小1 ~6	11月11日	富岡市立 富岡小学校	608	飛ぶタネの模型つくり	静野
前橋市立 二之宮小学校	小4 ~6	11月15日	前橋市立二之 宮小学校	19	浜・干潟のトランクキッ ト コンブとワカメ	石川
群馬県立 盲学校	中2	11月21日	群馬県立 盲学校	2	浜・干潟トランクキッ ト 軟体動物	石川 姉崎
玉村町立 南中学校	中2	11月26日	玉村町立 南中学校	156	浜・干潟トランクキット アサリの生態	石川
高崎市立 南八幡小学校	クラブ	11月29日	高崎市立 南八幡小学校	32	化石のレプリカ作り	石川
高崎市立 佐野小学校	小6	11月30日	高崎市立 佐野小学校	140	天体望遠鏡を使った太 陽の黒点と月の観察	茂木 石川
富岡市観光協 会	一般	12月8日	富岡市ふるさ と美術館	50	星空観察会	茂木
妙義青少年自 然の家	一般	1月12日	妙義青少年自 然の家	50	星空観察会	茂木
高崎市立 浜尻小学校	クラブ	1月17日	高崎市立 浜尻小学校	23	化石のレプリカ作り	石川
高崎市立 中居小学校	クラブ	1月23日	高崎市立 中居小学校	30	化石のレプリカ作り	石川
富岡市立 西小学校	クラブ	2月6日	富岡市立 西小学校	29	化石のレプリカ作り	石川
富岡市立 黒岩小学校	4年生	2月7日	群馬県立自然 史博物館	13	冬の星座について 講話・天体観望会	茂木 石川
前橋市立 二之宮小学校	クラブ	2月21日	前橋市立 二之宮小学校	19	化石のレプリカ作り	石川

## ② 館内授業

計 参加校等 38 校、授業数 60 件、参加人数 2,466 名

学校名	学年	期日	人数	授業内容	回数
桐生市立桜木小学校	6	5月9日	48	化石のレプリカ作り	1
みどり市立大間々東小学校	3	5月11日	14	化石のレプリカ作り	1
板橋区立板橋第二小学校	5	5月16日	29	化石のレプリカ作り	1
板橋区立大谷口小学校	5	5月18日	38	化石のレプリカ作り	1
高崎市立西部小学校	4	5月18日	52	化石のレプリカ作り	1
東久留米市立第五小学校	6	5月23日	106	化石のレプリカ作り	2
太田市立沢野中央小学校	4	5月25日	78	化石のレプリカ作り	2
板橋区立高島第五小学校	5	6月6日	37	植物化石を探そう	1
東久留米市立下里小学校	6	6月7日	19	化石のレプリカ作り	1
板橋区立中台小学校	5	6月8日	71	化石のレプリカ作り	2
板橋区立前野小学校	5	6月27日	81	化石のレプリカ作り	2
中野区立平和の森小学校	5	6月29日	98	化石のレプリカ作り	2
清瀬市立清瀬第三小学校	5	7月6日	63	化石のレプリカ作り	2
板橋区立志村第二小学校	5	7月11日	116	化石のレプリカ作り	2
板橋区立板橋第七小学校	5	7月13日	34	化石のレプリカ作り	1
練馬区立大泉桜学園	5	9月13日	69	化石のレプリカ作り	2
板橋区立美園小学校	5	9月14日	97	化石のレプリカ作り	2
板橋区立赤塚小学校	5	9月27日	108	化石のレプリカ作り	2
桐生市立西小学校	4	9月28日	45	化石のレプリカ作り	1
伊勢崎市立境小学校	4	10月3日	62	化石のレプリカ作り	2
西東京市立保谷第一小学校	6	10月5日	76	化石のレプリカ作り	2
榛東町立北小学校	4	10月11日	69	化石のレプリカ作り	2
上里町立神保原小学校	3.4	10月12日	89	化石のレプリカ作り	2
太田市立宝泉南小学校	4	10月17日	43	化石のレプリカ作り	1
玉村町立玉村南小学校	4	10月17日	44	化石のレプリカ作り	1
太田市立世良田小学校	4	10月18日	40	化石のレプリカ作り	1
神流町立万場小学校	3.4	10月18日	11	化石のレプリカ作り	
大泉町立南小学校	4	10月19日	87	化石のレプリカ作り	2
館林市立第一小学校	4	10月24日	102	化石のレプリカ作り	2
渋川市立古巻小学校	4	10月25日	106	化石のレプリカ作り	2
高崎市立矢中小学校	4	10月26日	75	化石のレプリカ作り	2
板橋区立板橋第十小学校	5	10月31日	78	化石のレプリカ作り	2
練馬区上石神井北小学校	6	11月1日	116	化石のレプリカ作り	2

板橋区立加賀小学校	5	11月2日	70	化石のレプリカ作り	2
前橋市立筑井小学校	6	11月7日	30	化石のレプリカ作り	1
高崎市立堤ヶ岡小学校	4	11月9日	115	化石のレプリカ作り	2
安中市立秋間小学校	6	11月14日	26	植物化石を探そう	1
深谷市立大寄小学校	4	2月20日	24	化石のレプリカ作り	1

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	20	2	0	0
参加者のニーズ	・展示に対する興味関心が高まる内容でよい。			

※授業メニューは以下の通り

レプリカ：「化石のレプリカを作ろう」 飛ぶタネ：「飛ぶタネの模型を作ろう」

植物化石：「植物化石を探そう」 葉のパウチ：「葉のパウチ標本をつくろう」

### ③ 職場体験活動（中学校・高等学校）

計9校・22日・延べ64名

学 校 名	学 年	実 施 日	人 数	内 容	対 応 職 員
高崎市立 吉井西中学校	中 2	5月22日～ 24日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・茂木・姉崎・伊藤・菅原・石川
安中市立松井 田南中学校	中 2	8月29日～ 31日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	木村・茂木・伊藤・静野・月田
富岡市立 東中学校	中 2	8月30日～ 31日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	木村・茂木・静野・月田
富岡市立 西中学校	中 2	9月4日～ 9月5日	3	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	茂木・菅原・伊藤・石川
安中市立 第一中学校	中 2	9月4日～ 6日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・茂木・菅原・伊藤・石川
甘楽町立 甘楽中学校	中 2	9月6日～ 7日	3	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	菅原・伊藤・月田
富岡市立 富岡中学校	中 2	10月11日 ～12日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	木村・茂木・伊藤・静野・月田
安中市立 第二中学校	中 2	10月16日 ～18日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・木村・茂木・菅原・伊藤・石川・静野
群馬県立 吉井中学校	高 1	1月22日 ～24日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・木村・茂木・菅原・伊藤・石川

### ④ 教育用資料貸出

延べ 33 団体

貸出先	貸出資料	利 用 目 的	貸 出	返 却
高崎市立下室田小学校	・昆虫等標本	理科授業	30年5月 26日	30年6月9 日
高崎市立南小学校	・歯のレプリカセット	保健指導	30年5月 29日	30年6月8 日

群馬県立高崎高等学校	・液体窒素実験セット	科学部活動	30年5月 31日	30年6月 22日
高崎市立豊岡小学校	・動物頭骨標本 (ウマ、シベリアトラ) ・マンモスの歯	校長講話	30年6月 3日	30年6月9 日
富岡市立富岡小学校	・動物頭骨標本 (ウシ、ウマ、ライオン、ヒ ョウ、ゴリラ、ヒト、ウサ ギ、キツネ)	理科授業	30年6月 5日	30年6月8 日
高崎市保健所生活衛生課	・動物頭骨標本 (ウサギ、ウマ、ウシ、ネ コ、イヌ、イノシシ) ・昆虫 ・イカ解剖模型	食の体験イ ベント	30年6月 29日	30年7月3 日
高崎市立南陽台小学校	・昆虫等標本	理科授業	30年7月 4日	30年7月6 日
富岡市立富岡小学校	・動物頭骨標本 (ウマ、シベリアトラ、チ ンパンジー、ホモサピエンス) ・動物の歯のレプリカ	保健指導	30年7月 6日	30年7月 13日
西毛子ども教室	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石(アンモナイト)	子ども科学 教室	30年7月 13日	30年7月 22日
高崎市立吉井幼稚園	・海のトランクキット ・アサリ ・鳴き砂 ・コンブ	保育活動	30年7月 13日	30年7月 20日
前橋市立富士見中学校	・動物頭骨標本 (ウシ、ヒツジ、キツネ、ラ イオン、ブタ、パンダ、ワ ニ、イルカ) ・レプリカ作成セット ・三葉虫型、アンモナイト 型、ビカリ亞型) ・実物化石(三葉虫、アンモ ナイト、ビカリ亞)	理科授業	30年7月 13日	30年7月 22日
前橋市立第6中学校	・液体窒素運搬容器 ・液体窒素実験セット	理科授業	30年8月 31日	30年9月8 日
高崎市立榛名中学校	・動物頭骨標本(ウシ、イ ヌ、ライオン、シマウマ、パ ンダ)	理科授業	30年9月 17日	30年9月 30日
安中市立松井田北中学校	・液体窒素実験セット	理科授業	30年9月 17日	30年9月 22日

高崎市立長野小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石（アンモナイト）	理科授業	30年10月 2日	30年10月 5日
明和県央高等学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型、三葉虫型 実物化石（アンモナイト、 三葉虫）	理科授業	30年10月 21日	30年10月 27日
安中市立磯部小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型、三葉虫型 実物化石（アンモナイト、 ビカリア）	理科授業	30年10月 27日	30年11月 3日
高崎市立吉井西小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型、三葉虫型 実物化石（アンモナイト、 ビカリア）	理科授業	30年10月 30日	30年11月 8日
富岡市立吉田小学校	・動物頭骨標本 (ライオン、ウシ、ブタ) ・動物の歯のレプリカ	保健指導	30年10月 30日	30年11月 9日
南牧村立南牧中学校	・動物頭骨標本 (ヒツジ、ワニ、イルカ、ア ライグマ、ヒョウ、ホモネア ンデルターレンシス) ・動物の歯のレプリカ	保健指導	30年11月 1日	30年11月 14日
富岡市立丹生小学校	・動物頭骨標本 (ウサギ、ネコ、シベリアト ラ、パンダ、ウシ、ホモサピ エンス) ・動物の歯のレプリカ	保健指導	30年11月 2日	30年11月 9日
富岡市立富岡小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石（アンモナイト）	理科授業	30年11月 9日	30年11月 16日
藤岡市立藤岡第一小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石（アンモナイト）	クラブ活動	30年11月 11日	30年11月 17日
みどり市大間々北小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石（アンモナイト）	理科授業	30年11月 14日	30年11月 28日

高崎市立倉渕小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石 (アンモナイト)	クラブ活動	30年11月 16日	30年11月 22日
高崎市立倉渕小学校	・飛ぶタネの模型作りセット	クラブ活動	30年12月 2日	30年12月 19日
西毛子ども教室	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト・三葉虫型 実物化石 (アンモナイト、 三葉虫)	科学教室	30年12月 4日	30年12月 16日
富岡市立富岡小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト・三葉虫型	理科授業	30年12月 13日	30年12月 19日
前橋市立桂萱小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト・三葉虫型	クラブ活動	31年1月 6日	31年1月 13日
高崎市立佐野小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石 (アンモナイト)	クラブ活動	31年1月 27日	31年2月6 日
安中市立松井田北中学校	・いろいろな化石セット ・実物化石トランクセット	理科授業	31年1月 27日	31年2月7 日
新島学園中学校・高等学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト、三葉虫、 ビカリア型 実物化石 (アンモナイト、 三葉虫、ビカリア)	科学教室	31年2月 28日	31年3月3 日
高崎市立塙沢小学校	・レプリカ作成セット 石膏&水 アンモナイト型 実物化石 (アンモナイト)	理科授業	31年3月 10日	31年3月 12日
アンケート結果 利用者の満足度	満足 30	ほぼ満足 0	やや不満 0	不満 0
利用者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物化石を借用した。本物の持つ力は大きく、児童は興味深く学習できました。</li> <li>・天体望遠鏡を借用しました。学校にあるのと合わせて、十分な台数で天体を観察させることができました。また、各自がしっかりと望遠鏡の操作も学ぶことができました。</li> <li>・歯のレプリカセットを借用した。保健指導で活用したが、児童は歯に興味関心を持ち、歯を大切にしようとする意識を高めることができました。</li> </ul>			

## ⑤ 博物館実習

学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

- ・募集期間：平成 30 年 4 月 1 日～4 月 30 日
- ・受入期間：平成 30 年 8 月 1 日～8 月 11 日〔実日数 10 日間〕
- ・受入人数：9 名（大学別の内訳は下表）

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
神奈川大学	1	東京学芸大学	1	武蔵野美術大学	1
東海大学	1	同志社大学	1	帯広畜産大学	1
東京農業大学	1	立教大学	1	聖心女子大学	1

・主な内容

- (講義) 「学芸員を目指す人たちへ」、「博物館の組織」、「学芸業務」、「教育普及業務」、「資料の保管・維持管理」、「企画展のできるまで」等  
 (実習) 資料整理業務実習(哺乳類、魚類、昆虫、貝類、菌類、植物、岩石、古生物)  
 教育普及活動実習(来館者アンケート等)  
 企画展計画立案・展示製作・解説実習

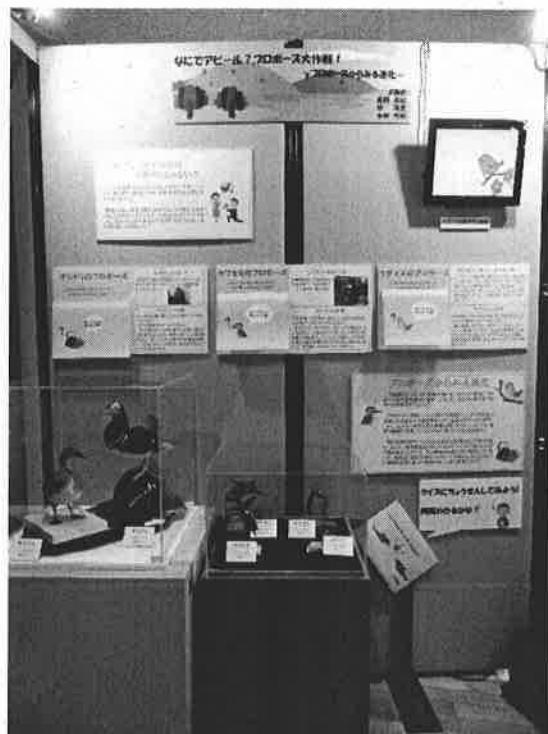
1班：『It's a small world』 -Possibility of *Cyanobacteria*-

2班：何でアピール？プロポーズ大作戦！～プロポーズから見る進化～

3班：今昔タヌキ物語



1班 企画展示



2班 企画展示



3班 企画展示



企画展示発表会



来館者展示解説の様子

## ⑥ インターンシップ

麻布大学 1名 平成 30 年 9 月 4 日～9 月 14 日

- ・主な実習内容

資料整理業務実習（哺乳類、昆虫）

教育普及活動実習（野外観察会補助等）

### (3) 外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。平成 30 年度の問い合わせ件数は 279 件で前年より 67 件多く、集計を取り始めて以来最多となった。問い合わせ元では一般(学生を除く)からの問い合わせが 112 件で最も多く、以下公共団体(44 件)、マスコミ(34 件)、研究者(31 件)、の順になり、一般及び公共団体からの問い合わせが増加した(表 1)。今年度も過去 2 年館同様、教示(111 件)や同定依頼(84 件)が一般的な問い合わせ(68 件)を上回りった(表 ②)。問い合わせ方法は電子メール(124 件)によるもののが顕著で、来館による問い合わせも 62 件と依然増加傾向にあり、問い合わせ方法の 2 極化が続いている(表③)。マスコミからの対応を除く一般および学生、研究者、専門機関からの問い合わせの発信元は県内 138 件に対して県外 118 件で、県外からの問い合わせが平成 29 年度より 40 件近く増加している(表④)。このほか海外からの問い合わせも 5 件あった。県内からの問い合わせは、近隣市町村(富岡市、安中市)からの割のが低下傾向は続き、県央地域の前橋市や高崎市、伊勢崎市からの問い合わせの比率が高まった。特に平成 30 年度は、高崎市、伊勢崎市からの問い合わせの増加が目立った(表 ⑤)。

#### ① 問い合わせ元の職・所属

一般	112
公共団体	44
研究者	31
マスコミ	34
博物館施設	18
民間機関	19
小中高生	9
その他	3
大学生・院生	9
合計	279

#### ② 問い合わせ内容の種別

教示	111
問い合わせ	68
同定	84
取材	12
その他	4

#### ③ 問い合わせ方法

メール	124
電話	76
来館	62
郵送	12
その他	5

#### ④ マスコミ以外の問い合わせ元の 居住地・所在地

群馬県内	138
県外国内	118
海外	5

#### ⑤ ④のうち県内上位内訳

前橋	31
高崎	25
伊勢崎	17
富岡	6
沼田	5
安中	4
渋川	4
太田	4
長野原	4

#### (4) 学会等の開催

##### ①ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018

- ・開催日時：平成 31 年 1 月 19 日（土）13:00～16:50
- ・場所：自然史博物館 学習室・企画展示室
- ・参加者数：130 名
- ・報告会趣旨

群馬県には、かけがえのない生き物たちを育む自然を調べ、伝え、守る活動をされている専門機関や団体が数多くあります。地域に根ざし活動を続けるこれらの方々が、互いに出会いその活動を共有化し、関係を深めていくとともに、より多くの県民の方々に多様な取り組みをお伝えしていきたいとの思いから、平成 20 年度より「ぐんまの自然の『いま』を伝える」報告会を開催しています。そして、平成 27 年度より特別展「ぐんまの自然の『いま』」も開催し、県内の野生生物たちが置かれている状況や、多様な保護保全活動の取り組みを広く一般にご紹介とともに、みんなで群馬の自然の「いま」を共有し、その未来を考えていきたいと思います。

- ・主催：群馬県（群馬県自然環境課、群馬県立自然史博物館、群馬県立ぐんま昆虫の森）

- ・後援：

群馬県自然環境調査研究会、NPO 群馬県自然保护連盟、（公財）尾瀬保護財団、群馬野外生物学会、（公財）日本自然保护協会、日本野鳥の会群馬、NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会、群馬県野生のこ同好会、利根沼田自然を愛する会、ヤリタナゴ調査会、かんな川水辺の楽校運営協議会、赤城姫を愛する集まり、NPO 法人日本チョウ類保全協会、環境カウンセラーズぐんま、特例財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、南限のサケを育む会、NPO 法人 片品・山と森の学校、群馬県緑のインターパリター会、特定非営利活動法人 ピッキオ、日本クマネットワーク、NPO 法人観音山丘陵調査、群馬ナチュラリスト自然保护協議会、NPO 法人尾瀬自然保护ネットワーク、嬬恋村高山蝶を守る会

- ・SDGs ワークショップ：講師 千葉県立中央博物館 林 浩二 会場：実験室

- ・基調講演：講師 千葉県立中央博物館 林 浩二 会場：学習室  
演題 博物館における市民の参加・参画をめざして

- ・口頭発表：日本自然保育学会上田女子短期大学、麻布大学

群馬県立尾瀬高等学校理科部、群馬県水産試験場

群馬県自然保护連盟ぐんま自然観察指導員

- ・ポスター発表 62 本（タイトル、要旨集等は HP で公開）

- ・報告会のようす



SDGs ワークショップ



基調講演



ポスターセッション

##### ②NPO 等団体との連携

特になし

### 3 資料収集・管理

#### (1) 資料管理

##### ①温湿度管理

管理場所	管理状況（設定）
第1収蔵庫	夏季：20℃、50% 冬季：18℃、55% 春秋：18~20℃、55~50%
第2収蔵庫	夏季：20℃、50% 冬季：18℃、55% 春秋：18~20℃、55~50%
第3収蔵庫	夏季：20℃、50% 冬季：18℃、55% 春秋：18~20℃、55~50%

##### ②資料の安全な保護対策

###### ア 文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下を実施した。

○第二収蔵庫出入り口に積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

###### イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫（生物系） 燻蒸	殺虫	平成30年	関東港業 株式会社	アルプ
		殺黴	6月11日～17日		
2	常設展示室（Dコーナー類 人猿ターンテーブル）	防虫 防黴	平成30年 6月11日～17日	関東港業 株式会社	ブンガノン+ ライセント
2	燻蒸庫燻蒸2回	殺虫 殺黴	平成30年 10月29日～ 11月2日	関東港業 株式会社	エキヒュームS
3	燻蒸庫保守点検ならびに 燻蒸庫燻蒸	殺虫 殺黴	平成31年 2月27日～3月1日	関東港業 株式会社	エキヒュームS

#### (2) 基準標本と天然記念物の状況

##### ①正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-170	<i>Limnolregata hasegawai</i> Olson et Matsuoka, 2005 ハセガワグンカンドリ
2	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1341	<i>Pseudophillipsia kiriensis</i> Kobayashi et Hamada, 1984
3	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1701	<i>Nipponopon hasegawai</i> Karasawa, Kato et Terabe, 2006 ハセガワニッポンノポン
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1256	<i>Eolyttonia kiryuensis</i> Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	<i>Joumocetus shizui</i> Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3158	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010

7	化石	無脊椎動物	軟體動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2116	<i>Saccella annakensis</i> Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟體動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2164	<i>Limopsis nakajimai</i> Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3167	<i>Hemicytherura huangi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3170	<i>Hemicytherura notoensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3173	<i>Hemicytherura okuboi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3182	<i>Hemicytherura choeae</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3185	<i>Hemicytherura japonica</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3188	<i>Hemicytherura taiwanensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3537	<i>Dasysaria japonica</i> Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3504	<i>Linoprotuctus ashioensis</i> Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3162	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4001	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4211	<i>Krithe tomiokaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4228	<i>Acanthocythereis oshimaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4231	<i>Acanthocythereis noriyukikeiyai</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4122	<i>Semicytherura kaburagawaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4125	<i>Semicytherura usuigawaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4128	<i>Loxoconcha jyoumouensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4133	<i>Loxoconcha maedai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4137	<i>Callistocythere nanamagariensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
27	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4142	<i>Callistocythere annakensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

28	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4147	<i>Callistocythere kyokoae</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
29	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4152	<i>Callistocythere kamitsukensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
30	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4157	<i>Callistocythere izanami</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
31	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4159	<i>Callistocythere kuwanoki</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
32	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4163	<i>Callistocythere myogiensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
33	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4167	<i>Loxocythere tetsurohanaii</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
34	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4172	<i>Cornucoquimba kyokoae</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
35	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4177	<i>Yezocythere takaokai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
36	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4181	<i>Trachyleberis itahanaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
37	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2570	<i>Ninjadelphis ujiharai</i> Kimura, 2016 (in Kimura and Barnes, 2016)
38	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3210	<i>Eschrichtius akishimaensis</i> Kimura, Hasegawa et Kohno, 2018 アキシマクジラ
39	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3244	<i>Kentriodon nakajimai</i> Kimura et Hasegawa, 2019

②等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH-PV-042	<i>Sebastes kanezawai</i> (Niino, 1951)

③従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1342	<i>Pseudophillipsia kiriuensis</i> Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1700	<i>Hoploaria kamimurai</i> Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1257, 1258	<i>Eolyttonia kiryuensis</i> Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3159	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010

5	現生	無脊椎動物 昆蟲類	節足動物 昆蟲類	GMNH-II	<i>Uresiphita fusei</i> Inoue, 1982 イタ克拉キノメイガ
6	化石	無脊椎動物	軟體動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2113-15, 2117-2124	<i>Saccella annakensis</i> Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟體動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2165 -2170	<i>Limopsis nakajimai</i> Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3538, 3539	<i>Dasysaria japonica</i> Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3505 - 3525	<i>Linopproductus ashioensis</i> Tazawa et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3164	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4003	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4123, 4124, 4203, 4204	<i>Semicytherura kaburagawaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4126, 4127, 4205, 4206	<i>Semicytherura usuigawaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4129, 4130, 4131, 4132	<i>Loxoconcha jyoumouensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
15	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4134, 4135,4136	<i>Loxoconcha maedai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
16	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4138, 4139, 4140, 4141	<i>Callistocythere nanamagariensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4143, 4144, 4145, 4146	<i>Callistocythere annakensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4148, 4149, 4150, 4151	<i>Callistocythere kyokoae</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4153, 4154, 4155, 4156	<i>Callistocythere kamitsukensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4158, 4206, 4159, 4207	<i>Callistocythere izanami</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4160, 4161, 4162, (4161)	<i>Callistocythere kuwanoki</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4164, 4165, 4166	<i>Callistocythere myogiensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4168, 4169, 4170, 4171	<i>Loxocythere tetsurohanaii</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4173, 4174, 4175, 4176	<i>Cornucoquimba kyokoae</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4178, 4179	<i>Yezocythere takaokai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4182, 4183, 4184, 4185	<i>Trachyleberis itahanaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
27	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH- PV-3245	<i>Kentriodon nakajimai</i> Kimura et Hasegawa, 2019

④從基準標本(別性) Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3160-61	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3168	<i>Hemicytherura huangi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)

3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3171	<i>Hemicytherura notoensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3174	<i>Hemicytherura okuboi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3183	<i>Hemicytherura choeae</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3186	<i>Hemicytherura japonica</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3189	<i>Hemicytherura taiwanensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3163	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4002	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4212	<i>Krithe tomiokaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4229	<i>Acanthocythereis oshimaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4231	<i>Acanthocythereis noriyukikeyai</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a

⑤同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162-64	<i>Ikeyacythereis wutzushuii</i> (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

⑥国指定 特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-1028	<i>Diomedea albatrus</i> Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19
2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM-066 ほか	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck, 1836) カモシカ	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-855	<i>Spilornis cheela</i> (Latham, 1790) カンムリワシ	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-677 ほか	<i>Grus japonensis</i> (Muller, 1776) タンチョウ	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-936 ほか	<i>Lagopus mutus</i> Montin, 1781 ライチョウ	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-	<i>Nipponia nippon</i> (Temminck, 1835) トキ	1952.03.29

⑥国指定 天然記念物

No.	分類群等		標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-546 ほか <i>Aquila chrysaetos</i> (Linnaeus, 1758) イヌワシ	1965.05.12
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-4658 ほか <i>Parnassius eversmanni daisetsuzanus</i> Matsumura, 1926 ウスバキチョウ	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-847 ほか <i>Haliaeetus pelagicus</i> (Pallas, 1811) オオワシ	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC-113 <i>Coenobita cavipes</i> Stimpson, 1858 オカヤドカリ	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-31292 ほか <i>Vacciniina optilete daisetsuczana</i> (Matsumura, 1926) カラフトルリシジミ	1967.05.02
6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289 <i>Plestiodon kishinouyei</i> (Stejneger, 1901) キシノウエトカゲ	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか <i>Oeneis melissa daisetsuzana</i> Matsumura, 1926 ダイセツタカネヒカゲ	1965.05.12
8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959 <i>Anser albifrons</i> (Scopoli, 1769) マガソ	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか <i>Tanakia tanago</i> (Tanaka, 1909) ミヤコタナゴ	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM <i>Glirulus japonicus</i> (Schinz, 1845) ヤマネ	1975.06.26

⑦県指定 天然記念物

No.	分類群等		標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱物	GMNH-EM-781	Zunyite ズニ石(みなかみ町入須川産)	1973.08.21
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858 ほか <i>Colias palaeno aias</i> Fruhstorfer, 1903 ミヤマモンキチョウ	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか <i>Erebia niphonica</i> (Janson, 1877) ベニヒカゲ	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか <i>Aporia hippia japonica</i> Matsumura, 1919 ミヤマシロチョウ	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか <i>Luehdorfia puziloi inexpecta</i> Sheljuzhko, 1913 ヒメギフチョウ	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか <i>Hynobius lichenatus</i> Bouleger, 1883 トウホクサンショウウオ	2007.03.27

7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn, 1923 ヒダサンショウウオ	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001 ほか1点	<i>Rana aff. architemporalia</i> ムカシアカガエル	1996.03.29
9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	<i>Joumocetus shimizui</i> Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウクジラ	2012.03.23

### (3) 収蔵資料数

番号	分 野	30年度登録		全登録	
		収蔵資料点数	画像登録点数	収蔵資料点数	画像登録点数
1	哺乳類	287	45	6,142	978
2	鳥類	0	0	2,157	645
3	両生・爬虫類	0	0	642	91
4	魚類・円口類	53	16	850	263
5	昆虫	1,200	0	57,554	643
6	クモ類	0	0	88	37
7	甲殻類	13	147	520	246
8	その他の節足動物	0	0	6	2
9	軟體動物	18	18	12,206	6,938
10	その他の無脊椎動物	3	4	211	103
11	ロット標本	96	0	676	0
12	種子植物	3,113	1	71,490	533
13	シダ植物	352	0	11,652	20
14	蘚苔類	109	0	779	21
15	藻類	0	0	330	39
16	地衣類	46	0	611	124
17	菌類	665	282	6,324	3,714
18	細菌類	0	0	0	0
19	人類	10	0	1,918	2,007
20	古動物	287	203	6,369	5,121
21	古植物	0	1	3,004	3,164
22	岩石	40	43	2,469	2,295
23	鉱物	45	47	1,847	1,901
24	環境・地質現象	1	1	49	44
	合 計	6,338	808	187,894	28,929

### (4) 資料購入

番号	資 料 名 称	分 野	数 量	購 入 業 者
	本年度は該当無し			

(5) 委託（製作、資料整理・保存）

番号	委託業務名称	分野	数量	委託先名称	用途
1	アンドリューサルクス頭骨化石 レプリカ作製業務	古生物	1	(株) プラニー商会	展示研究
2	メソヒップス等全身骨格化石 レプリカ作製業務	古生物	2	(株) パレオサイエンス	展示研究
3	エウロヒップス等化石レプリカ 作製業務	古生物	6	(株) プラニー商会	展示研究
4	ネズミ類標本	剥製	6	(有) 上野剥製所	展示
5	コウモリ標本	剥製	3	(有) 上野剥製所	展示
6	第56回企画展 魚類などの 生体展示業務	その他	5	アクア セブンス シーズ	展示
7	生物の拡大模型	模型	3	アンフィ合同会社	展示

(6) 寄贈資料・管理移管資料

① 寄贈資料

番号	受贈資料名称	分野	数量	寄贈者	受付年月日
1	西牧鉱山産鉱石および母岩資料	鉱物・岩石	110	里見 哲夫	H30.6.5
2	熊本県産溶結凝灰岩標本	岩石	3	大岡 康治	H30.7.26
3	オルゾセラス石板テーブル	古無脊椎動物	1	(株) 群銀カード	H30.8.3
4	きのこ関係書籍	菌類	10	原田 稔	H30.10.24
5	赤城南面湖沼・茂林寺沼ロット サンプルならびに関連データ	無脊椎動物等	107	井田 宏一	H30.11.24
6	原田篠層産魚類化石	古脊椎動物	一式	山田真理奈	H31.2.2
7	大垣市史	図書	12	大垣市立図書館	H31.2.15
8	陸棲哺乳類検体	哺乳類	350	県内市町村、環境森林事務所等	通年
9	鳥類資料	鳥類	36	県内市町村、環境森林事務所等	通年
10	両生類・爬虫類資料	両生類 爬虫類	2	県内市町村、環境森林事務所等	通年

② 管理移管資料

番号	管理移管資料名称	分野	数量	移管者	受付年月日
	本年度は該当無し				

(7) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄託期間
	本年度は該当無し			

(8) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10.3.23～	前年度から 継続
2	県内産岩石標本	18	埼玉県立川の博物館	H30.2.6～ 5.20	前年度から継 続、企画展
3	カマラサウルス 亜成体全身骨格等	27	千葉県立中央博物館	H30.7.2～ 9.30(予定)	前年度承認 済、特別展
4	アキヤスタ片麻岩、ディッ キンソニア等	22	みどり市大間々博物館	H30.5.17～ 9.30	企画展
5	アキシマクジラ(全身骨格 の一部)	9	昭島市教育委員会	H30.4.20～ 6.5	特別展示
6	ミツバチ拡大模型(断面、 後脚、頭部)	3	埼玉県立自然の博物館	H30.5.22～ 9.28	特別展
7	マイアサウラ大腿骨、イグ アナ全身骨格等	9	仙台市科学館	H30.7.11～ 9.10	特別展
8	孔子鳥全身骨格産状標本等	3	鳥海イヌワシみらい館	H30.5.19～ 9.21	特別企画 展示
9	植物樹脂封入標本、動物剥 製	13	朝霞市博物館	H30.7.10～ 9.9	夏季テーマ 展示
10	ケナガマンモス (切歯、下顎骨)	2	富山市科学博物館	H30.7.3～ 9.4	特別展
11	群馬県産恐竜類歯化石	2	仙台市科学館	H30.7.11～ 9.10	特別展
12	シガマッコウクジラ 全身骨格等	8	長野市立博物館	H30.6.21～ 9.5	特別展
13	ディプロカウルス頭骨レプ リカ等	17	三笠市立博物館	H30.6.27～ 11.15	特別展
14	トリケラトプス頭骨化石等	5	ハウステンボス美術館	H30.6.21～ 9.25	特別展
15	アンテトニトルス部分骨格 等	38	大阪市立自然史博物館 (ただし会場は北九州市 ・西日本展示場本館)	H30.7.23～ ～9.18	特別展示

16	殺生溶岩等岩石系標本	3	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H30. 6. 22～ 9. 30	企画展
17	オオツノジカ・現生シカ類	12	信濃町立野尻湖 ナウマンゾウ博物館	H30. 6. 27～ 12. 10	特別展
18	K/Pg 境界層標本	1	御船町恐竜博物館	H30. 6. 21～ 10. 9	特別展
19	ティランノサウルス化石レプリカ（大腿骨、頸椎、歯骨）	3	沖縄美ら島財団（沖縄県立博物館・美術館指定管理者）	H30. 6. 21～ 9. 25	企画展
20	富岡市上黒岩産ヤベオオツノジカ下顎骨化石レプリカ	2	信濃町立野尻湖 ナウマンゾウ博物館	H30. 6. 27～ 12. 10	特別展
21	ナヌークサウルス頭骨レプリカ	1	沖縄美ら島財団（沖縄県立博物館・美術館指定管理者）	H30. 6. 21～ 9. 25	企画展
22	有孔虫プレパラート等	6	佐野市葛生化石館	H30. 6. 27～ 12. 31	企画展
23	水晶標本等	10	埼玉県立自然の博物館	H30. 9. 14～ H31. 1. 31	企画展
24	塩基性片岩（三波石）	2	群馬県立歴史博物館	H30. 9. 19～ 12. 26	企画展
25	K/Pg 境界層標本、トリケラトプス頭骨模型等	7	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H30. 2. 1～ 6. 30	企画展
26	大水上山、利根川 (いずれも写真)	2	群馬県県土整備部 (河川課川づくり係)	H31. 1～	河川課事業 説明パンフ 作成目的
27	布施英明氏寄贈蛾類標本	33	群馬県立ぐんま昆虫の森	H31. 1. 29～ H32. 1. 31	研究目的
28	「ホモ・ハビリスの道具製作と使用」復元画	1	小学館（第2学習局百科編集室）	H31. 31～ 2. 10	書籍掲載
29	小型肉食恐竜の足跡	1	下仁田町自然史館	H31. 2. 6～ 2. 14	出前授業での 演示用標本

## (9) 借用資料

番号	借用資料名称	数量	借用先名称	借用期間	備考
1	K/T境界層標本 (常設展示)	1	馬場 健司	H29. 4. 1～ H32. 3. 31	前年度から 継続 期間更新
2	アンモナイト（ヘテロケラス）等化石標本 (常設展示等)	7	松原 剛史	H29. 4. 1～ H32. 3. 31	前年度から 継続 期間更新

3	沼田湖成層産貝化石等 (常設展示等)	6	佐藤千代子	H29. 4. 1～ H32. 3. 31	前年度から 継続 期間更新
4	カルカロドントサウルス 頭骨 (常設展示)	1	学校法人成城学園	H29. 4. 1～ H32. 3. 31	前年度から 継続 期間更新
5	恐竜の歯 3 点、アンモナ イト 1 点(常設展示)	4	十津 守宏	H29. 12. 8～ H32. 3. 31	前年度から 継続、 期間更新
6	ストロマトライト等、 岩石資料 (常設展示)	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H30. 4. 1～ H31. 3. 31	次年度分、 前年度から 継続、 期間更新
7	ニホンカワウソ剥製標本	1	福島大学	H29. 10. 4～ H30. 6. 30	前年度から 継続 企画展
8	ニホンカワウソ(2匹) 液浸標本と保存箱	一式	栃木県立博物館	H30. 2. 1～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
9	中生代哺乳類 (ザンゲオ テリウム) レプリカ標本	2	田村 博	H29. 12. 17～ H30. 9. 30	前年度から 継続, 企画展
10	アオウオ、サケ (♂・♀) 剥製標本	3	群馬県水産試験場	H30. 2. 26～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
11	群馬県デザインのマンホ ール蓋、同固定用台座	2	群馬県下水道総合事務所	H30. 2. 26～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
12	ぐんまの ダムカードマップ	1	群馬県県土整備部 河川課ダム係	H30. 2. 1～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
13	群馬県流域下水道デザイ ンマンホールの図案	1	群馬県県土整備部 下水環境課	H30. 2. 1～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
14	剥製標本 (魚類・両生類 ・爬虫類・鳥類)	25	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H30. 3. 2～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
15	ワカサギ等魚類標本	6	国立科学博物館	H30. 2. 26～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
16	ニホンウナギ標本	3	国立科学博物館	H30. 2. 1～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
17	スギ (花粉 50%) 苗木	2	群馬県山林種苗緑化協同組合	H30. 3. 1～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
18	桐生市産のカワウソの骨	一式	宮崎 重雄	H30. 2. 4～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
19	カッパの頭部模型	1	群馬県立歴史博物館	H30. 2. 4～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展
20	下久保ダムカレー 食品サンプル	1	上州おにし 道の駅 (味楽)	H30. 2. 4～ 5. 31	前年度から 継続, 企画展

21	ハツ場ダムカレー 食品サンプル	1	道の駅 ハツ場ふるさと館	H30.2.4～ 5.31	前年度から 継続, 企画展
22	カッパの手、移動用霧箱 等	一式	土浦市佐野子カッパ祭り実行 委員会	H30.2.4～ 5.31	前年度から 継続, 企画展
23	群馬のダムマップ	1	浅見育代・町田直子	H30.2.4～ 5.31	前年度から 継続, 企画展
24	高瀬船模型、関宿城模型 等	9	千葉県立関宿城博物館	H30.2.28～ 5.15	前年度から 継続, 企画展
25	群馬県10万分の1 地質図	1	内外地図(株)	H30.3.5～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
26	徳丸仲田遺跡の図	1	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	H30.3.17～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
27	ラフティングボート、ラ イフジャケット、パドル 等	一式	みなかみ町役場	H30.3.8～ 5.31	前年度から 継続, 企画展
28	前橋城絵図 ほか	3	前橋市立図書館	H30.3.15～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
29	首都圏外郭放水路DVD	1	国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所	H30.3.15～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
30	輝水鉛鉱	1	群馬大学教育学部地学教室	H30.3.15～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
31	スギ花粉プレパラート	2	榆井 尊	H30.3.15～ 5.13	前年度から 継続, 企画展
32	セイモウリア全身骨格等	7	栃木県立博物館		企画展
33	スクトサウルス全身骨格 等	3	佐野市葛生化石館		企画展
34	ステロポドン下顎骨等	9	ミュージアムパーク茨城県自 然博物館		企画展
35	バシロサウルス下顎骨等	3	十津 守宏		企画展 (使用料)
36	埼玉県産サイ類化石	1	吉田 健一		企画展
37	パレオパラドキシア頭骨 化石レプリカ等	5	千葉県立中央博物館		企画展
38	オントケタス頭骨レプリ カ	1	長野市立博物館		企画展
39	パレオパラドキシア頭骨 等	3	埼玉県立自然の博物館		企画展
40	リストロサウルス実物頭 骨等	37	国立科学博物館		企画展
41	スフェリュール層標本、 エリテリウム等	26	神奈川県立生命の星・地球博 物館		企画展
42	トリティロドン類標本	18	松岡 廣繁		企画展

43	美祢層群産ディキノドン類化石標本画像	2	美祢市教育委員会		企画展
44	白山市産白亜紀哺乳類化石標本画像	3	白山市教育委員会		企画展
45	ササヤマミロス（ホロタイプ写真）	1	兵庫県立人と自然の博物館		企画展
46	多丘歯類骨格画像	2	福井県立恐竜博物館		企画展
47	ディメトロドン左上顎骨等	3	田村 博		企画展 (使用料)
48	スピノサウルス実物化石（頭骨、脊椎）	2	学校法人成城学園	H30.7.20～ H33.3.31	常設展示
49	ラエトリ家族模型、台湾原人下顎骨レプリカ等	5	国立科学博物館		企画展
50	谷川連峰関係図書資料	5	吉井 広始		H31 年度～継続、企画展
51	キスリング等登山装備	10	谷川岳山岳資料館		H31 年度～継続、企画展
52	クマネズミ等写真	6	ミュージアムパーク茨城県自然博物館		H31 年度～継続、企画展
53	タニガワモクメキリガ等展翅標本	14	群馬県立ぐんま昆虫の森		H31 年度～継続、企画展
54	ストロマライト等、岩石資料（常設展示）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H30.4.1～ H31.3.31	次年度分、 前年度から 継続、 期間更新

## (10) 特別観覧

### ①研究目的

番号	観覧資料名称	数	特 別 観 覧 中 請 者	中請期間	備考
1	コノハズク	3	(高崎市在住)	奥野博邦	H30.5.23
2	ゴニオフォリス類化石 全身骨格	1	北海道大学大学院 (博士課程)	飯島正也	H30.6.7
3	タイリクオオカミ	5	京都大学名誉教授	茂原信生	H30.7.11
4	兜岩層産カエル化石	5	筑波大学大学院 (博士課程)	藤原謙如	H30.8.3

5	上黒岩産オオツノジカ (レプリカ)	一式	大阪市立自然史博物館 (外来研究員)	樽野博幸	H30. 8. 26	熟覧 模写 実測 撮影
6	シダ植物 <i>Struthiopteris</i> 属標本	20	株式会社みどり	根岸知子	H30. 12. 1	熟覧
7	トリケラトプス 全身骨格	1	東京大学大学院 (修士課程)	石川弘樹	H30. 12. 27	熟覧 模写 実測 撮影
8	トリケラトプス 全身骨格	1	東京大学大学院 (修士課程)	石川弘樹	H31. 1. 9	熟覧 模写 実測 撮影
9	植物標本 オヤマリンドウ等 7 種	一式	(群馬県伊勢崎市 在住)	佐藤民雄	H31. 2. 19	熟覧 撮影
10	ゴニオフォリス類化石 全身骨格	1	福井県立大学大学院 (修士課程)	小布施彰太	H31. 2. 22	熟覧 模写 実測
11	兜岩層産昆虫化石	一式	兜岩層研究会	田中敏明	H31. 3. 8	熟覧 模写
12	古・中生代魚類化石	一式	岩手医科大学	磯貝純夫	H31. 3. 17	熟覧 模写 実測 撮影
13	国内更新統産 シカ科化石	12	武藏高等学校中学校	白井亮久・ 森北那由多	H31. 3. 24	熟覧 模写 実測 撮影

## ②撮影等の目的

番号	観覧資料名称	数	特 別 観 覧 申 請 者	申請期間	備考
1	アキシマクジラ (模式標本・レプリカ 作成用 3D データ)	1	昭島市教育委員会	小林一己	H30. 7. 30 撮影 (無償)
2	示準化石標本 (ビデオ教材作成)	一式	藤岡市立小野中学校	西井 寛	H30. 8. 29 撮影 (無償)
3	アキシマクジラ (模式標本・レプリカ 作成用 3D データ)	1	昭島市教育委員会	小林一己	H30. 9. 9 撮影 (無償)
4	アキシマクジラ (模式標本・展示用レ プリカ作製)	1	昭島市教育委員会	小林一己	H30. 10. 7, 8, 27, 28 模造 (型取・ 無償)

5	兜岩層産ヤゴ化石 (印刷物掲載)	1	群馬県立 ぐんま昆虫の森	金杉隆雄	H31.1.10	撮影 (無償)
---	---------------------	---	-----------------	------	----------	------------

## (11) 画像等使用許可

番号	使用画像等の名称	数	使用者名称	使用開始日
1	画像 ホモ・ハビリス(イラスト)	1	スタッフラビ (NHK 総合「チコちゃんに叱られる」の番組内[地上波ならびにオンデマンド放送]で使用)	H30.4.13～ 4.14
2	画像 シノサウロプテリクス全身骨格	1	(株)ユニット (テレビ東京系「リトルトーキョーライフ[5/9 放送分]」で使用)	H30.5.4～ 5.9
3	画像 クラドセラケ部分骨格	1	(株)文藝春秋 (「海洋生命5億年史[著者土屋健]」掲載)	H30.7.20～
4	画像 ティランノサウルス(動刻)等古生物標本4点	4	(株)小学館 (「LaQ 恐竜ワールド 台湾・香港地域翻訳版」掲載)	H30.7.31～
5	画像 ディメトロドン全身骨格	1	(株)フォーラム・A (小学校低学年・中学年向け教材「5分間はじめての読解 偉人編」掲載)	H30.7.20～
6	部分転載 当館研究報告No.15掲載論文「榛名火山南東麓の地質(久保誠二ほか著:p.115-127)」	1	(株)国書刊行会 (外国人留学生向けテキスト「21世紀のカレッジ・ジャパンーズ」掲載)	H30.11.20～
7	画像 三疊紀の地球大陸図等14点(T.rex展示パネルで使用したもの)	14	沖縄美ら島財団 (沖縄県立博物館・美術館の平成30年度企画展「ティラノサウルスー進化の謎に迫るー」で展示)	H30.7.13～ 9.9
8	画像 ディノサウロイド	1	(株)ウェッジ (大人のための恐竜教室[真鍋真・山田五郎著]掲載)	H30.8.6～
9	画像 ストルティオミムス全身骨格	1	(株)学研プラス (「新版 いちばん!の図鑑」掲載)	H30.7.24～
10	画像 スエヒロタケ	2	テレビ朝日映像(株) (「CATCH THE WAVE こだわりナビ」で使用)	H30.8.9～
11	画像 イグアノドン類の胃石	1	(有)ハユマ (「日本の恐竜大研究[P.H.P研究所発行]」掲載)	H30.9.30～
12	画像 クジラ類化石生態復元画2点	2	NHK 宇都宮放送局 (関東甲信越向け番組「ひるまえほっと」で使用)	H30.9.12
13	画像 キリン類全身骨格等11点	11	(株)ブックマン社 (「ならべてくらべる動物進化図鑑 改訂版」掲載)	H31.2～
14	画像 イグアナ等爬虫類骨格標本2点	2	(株)小学館 (こども大百科 もっと大図解」掲載)	H30.11.16～

15	画像 シジミ化石	1	(株)ベネッセコーポレーション (2018年度 ココロ2年生向理科教材「入試基礎チェック 比べて確認 理科重要」掲載)	H31.3.1～
16	画像 常設展示Bコーナー (尾瀬ヶ原のジオラマ)	1	丸善出版(株) (展示学辞典[丹青社編著]の 事例紹介として掲載)	H30.11.28 ～
17	画像 川場村産 ナウマンゾウ臼歯	1	川場村誌編纂委員会 (川場村誌に掲載)	H31.3.31～
18	画像 カミツキマッコウ (復元模型等) 古生物標本2点	2	(有)ハユマ (「日本の古生物大研究[P H P 研究所発行]」掲載)	H30.12.10 ～
19	画像 群馬県産 スピノサウルス類	1	(株)ファミリーマガジン (「地図で楽しむ すごい群馬[洋泉社発行]」掲載)	H31.1～
20	画像 ネアンデルタール人 の埋葬ジオラマ	1	(株)山川出版社 (「文部科学省検定済教科 書 中学校社会科歴史分野」、教師用指導 書、拡大教科書、デジタル教科書等に掲載 予定)	H33.4～
21	画像 ディノサウロイド	1	(株)ドットフレーム (NHK・Eテレ「もしも の世界」の番組内[地上波ならびにオンデマ ンド放送]で使用)	H30.12.3～ 12.25
22	画像 常設展示Bコーナー (ブナ林のジオラマ)	1	東京書籍(株) (2021年度版中学校理科教科 書に掲載予定)	H31.1.15 ～
23	画像 三葉虫(アサフス) 化石等古生物標本2点	2	(株)童夢 (「新訂版 科学の『なぜ?』に答 えるお話366 (P H P研究所発行)」掲 載)	H31.1.31～
24	画像 常設展示Aコーナー	1	大日本図書(株) (「文部科学省検定済教科 書 中学校理科『理科の世界』第1学年」、 教師用指導書、拡大教科書、デジタル教科 書等に掲載予定)	H33.2～
25	画像 スミロドン全身骨格 (茨城自然博物館所蔵標本)	1	山梨県立博物館(2019年開催企画展「ねこ 展」の図録・広報資料で使用予定)	H31.4.1～ 7.12
26	画像 ヤベオオツノジカ 全身骨格	1	学校図書(株) (「文部科学省検定済教科書 中学校2年生用理科教科書[紙版・デジタル 版]、教師用指導書、拡大教科書に掲載予定」)	H33.4～
27	画像 ディメトロドン 全身骨格	1	(株)カンゼン (「眠れなくなるほど面白い 古生物(仮題/土屋健著・加藤太一監 修)」掲載予定)	H31.5.10～
28	画像 ペンギンモドキ全身 骨格等古生物標本2点	2	(株)スタジオタッククリエイティブ (「ビ ジュアル図鑑 世界の岩石・鉱物・化石・ 貝殻(仮)」掲載予定)	H31.10～

## (12) 資料・展示関係機器等の修復

天体ドーム内にある天体望遠鏡について、平成28年12月の天体観望会の時に起動しなかつた。そのため同イベントではこの天体望遠鏡を活用できずにイベントを実施せざるを得な

かった。その後、天体望遠鏡システムの起動系 PC 内部のハードディスクの破損が判明し、この故障に対し修繕が施され、1月末に当館内で実施した出前授業ではこれまで通りに運用することができた。しかし、天体望遠鏡システムの起動系 PC、駆動系 PC、天体望遠鏡本体の駆動モーターなど各部位の経年劣化は否めず、別な箇所でいつ故障してもおかしくない状態である。また、制御 PC が昭和 100 年問題で誤作動する可能性が浮上し、納入・メンテナンス業者に問い合わせたところ、その回答は「わからない」であった。さらに、2月の使用時にはドーム内の電灯が切れていた。この電灯切れは次年度のメンテの時に対応することとした。

D コーナーの二足歩行部のガラスカバーは修繕した。A コーナーのガラスケース内照明、C コーナーの書斎、実験室キャビネット内の棚下照明は LED 化した。

一方、平成 23 年 3 月 11 日の地震で破損した A-2 のディメトロドン実物全身骨格の棘突起は、ガラスケース内での作業作業実施が困難であるため、修復せず、現状維持となっている。また、A-3 のプラテカルpus 実物全身骨格の前肢の指骨については、接着しても自重で再び折れてしまうので、こちらも現状維持としている。

### (13) 科学系博物館情報ネットワーク開発事業自然史標本データ整備事業

国立科学博物館の SNet (科学系博物館情報ネットワーク開発事業) 及び G B I F (地球規模生物多様性情報機構) の生物標本収蔵データベースネットワークへの参加に伴い、当館の収蔵データベースシステムにあるデータの加工・変換を行った。

- ・変換データ数：3,800 件（延べ数）
- ・データ変換委託事業期間：平成 30 年 1 月 4 日～2 月 28 日
- ・データ変換業務委託先：株式会社 K-Bix

上記ネットワークへのデータ提供件数は、平成 29 年度末で 88,117 件である。

### (14) 文献資料等の充実

#### ○ 購入

図書	99 冊
和雑誌	288 冊
洋雑誌	43 冊

#### ○ 寄贈受入

図書	181 冊
雑誌	477 冊
デジタルデータ	6 点
地図	0 点

#### ○ 交換受入図書数

419 冊

#### ○ 交換館数

国内 341 機関  
海外 22 機関

## 4 調査研究

### (1) みなかみ地域学術調査（自然史調査）

#### ①調査の背景・目的

群馬県立自然史博物館では、調査地域における動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を数年単位で把握する学術調査を実施し、調査結果を報告書としてホームページで公表している（[http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report\\_inve](http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_inve)）。調査結果は、分類学的取り扱いや自然史科学的課題を議論するために活用され、県内の自然に関する重要な見識を周知することに役立っている。

これまでの学術調査では、主に自然史博物館が位置する西毛地域を中心として行われてきたが、平成29年度から、学術調査地域をみなかみ町及び周辺地域に設定し、5年間をかけて学術調査を実施している。

この調査では、みなかみ町及び周辺地域の動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を明らかにし、当館収蔵標本と所有データの充実化を図ることで、調査結果を県内外の来館者に効果的かつ正しく伝えることを目的とする。

みなかみ地域学術調査の対象地域は比較的面積が大きく、調査ルートや標本の採集を希望する場所が国立公園、県自然環境保全地域、国有林などに該当する場合が多い。したがって、分野による活動内容のばらつきはあるものの、本調査の第二年目の平成30年度は、各調査分野ごとに調査計画にしたがって調査を進めた。

#### ア 調査日及び調査内容

- 4月 5日 地質・岩石、地質現象
- 4月 11～12日 小型哺乳類
- 4月 12日 維管束植物
- 4月 22日 維管束植物
- 4月 27日 維管束植物
- 5月 17～18日 小型哺乳類
- 5月 26日 菌類
- 5月 26日 地衣類
- 6月 2日 維管束植物
- 6月 8日 維管束植物
- 6月 14～15日 地質・岩石
- 6月 21日 昆虫
- 6月 22日 昆虫
- 6月 26日 菌類
- 6月 29日 大型哺乳類
- 7月 4～5日 小型哺乳類
- 7月 11日 維管束植物
- 7月 18日 無脊椎動物(昆虫を除く)
- 7月 19日 無脊椎動物(昆虫を除く)
- 7月 27日 菌類
- 7月 27日 昆虫
- 7月 28日 昆虫
- 7月 29日 無脊椎動物(昆虫を除く)
- 8月 4日 無脊椎動物(昆虫を除く)
- 8月 7日 昆虫
- 8月 20日 無脊椎動物(昆虫を除く)

8月21～22日 小型哺乳類  
 8月22日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 8月28日 菌類  
 9月 6日 昆虫  
 9月 7日 昆虫  
 9月8日～9日 維管束植物  
 9月14日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 9月28日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 9月28日 菌類  
 10月 4日 地質・岩石、地質現象  
 10月 7日 維管束植物  
 10月12日 古生物  
 10月13日 昆虫  
 10月17日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 10月18日 古生物  
 10月24日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 10月25日 菌類  
 10月31日 維管束植物  
 10月31日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 11月 1～2日 小型哺乳類  
 11月 4日 菌類  
 11月 4日 蘚苔類  
 11月 4日 地衣類  
 11月 8日 大型哺乳類  
 11月14日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 11月27日 古生物  
 11月30日 岩石、地質現象  
 12月 1日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 2月28日～3月1日 小型哺乳類  
 3月 7～8日 小型哺乳類  
 3月13日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 3月16日 無脊椎動物(昆虫を除く)  
 3月28日 無脊椎動物(昆虫を除く)

## (2) 担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容(自然史調査を除く)	主な方法
植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査</li> <li>・群馬県及び周辺部の絶滅危惧植物の生態と保全に関する調査</li> <li>・尾瀬のフロラに関する調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏査、採集、GPS測位、個体数モニタリング、低温シードバンク保存</li> </ul>
藻類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川源流大水上山及び奥利根水源の森に産する氷雪藻類の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物顕微鏡を用いた観察及び記載</li> </ul>
菌類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における菌類生息状況調査</li> <li>・自然史博物館博物館周辺の菌類調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県野生のこ同好会の採集会に参加、採集資料の収蔵</li> <li>・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館周辺のカメラトラップ</li> </ul>
地衣類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における地衣類生息状況調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県内の地衣類標本の採集、収蔵</li> </ul>
蘚苔類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における蘚苔類生息状況調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県内の蘚苔類標本の採集、収蔵</li> </ul>
変形菌類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における変形菌類生息状況調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県内の変形菌標本の採集、収蔵</li> </ul>
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における外来生物調査</li> <li>・群馬県における鳥類解剖調査</li> <li>・群馬県における放射性物質汚染状況調査</li> <li>・全国鳥類分布調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵</li> <li>・野鳥病院より検体の受入</li> <li>・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など）</li> <li>・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積</li> <li>・鳥類の分布変遷の把握</li> </ul>
哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査</li> <li>・群馬県における外来生物調査</li> <li>・群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査</li> <li>・ニホンジカ個体数調整事業とともに調査</li> <li>・カモシカ個体数調整事業とともに調査</li> <li>・イノシシ個体数調整事業とともに調査</li> <li>・適正管理計画に関わる野生鳥獣の基礎調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県鳥獣保護管理員、自然保護指導員報告野生動物情報調査</li> <li>・カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生、稻含山、渡良瀬）</li> <li>・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定）</li> <li>・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaIシンチレーション（全身スクリーニング））試料の生成、データ蓄積</li> <li>・シャーマントラップ調査（みなかみ）</li> </ul>
博物館学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然史系博物館資料の3Dデジタル標本化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料等の3Dデジタル標本化</li> </ul>
脊椎動物化石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県産および当館所蔵の脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵標本のプレパレーションやその研究</li> <li>・フィールド調査（県外を含む）</li> <li>・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など）</li> <li>・各分類群の専門家、他団体との共同研究</li> <li>・採集、寄贈等による標本収集</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県産海生哺乳類化石および関連標本の調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵標本等のプレパレーション</li> <li>・他館等収蔵の比較標本調査</li> <li>・論文の発表</li> </ul>
無脊椎動物化石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県産、および当館所蔵の無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵標本のプレパレーションやその研究</li> <li>・フィールド調査（県外を含む）</li> <li>・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など）</li> <li>・各分類群の専門家、他団体との共同研究</li> <li>・採集、寄贈等による標本収集</li> </ul>
植物化石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県産および当館所蔵の植物化石、ならびにそれらと関連性の深い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵標本のプレパレーションやその研究</li> <li>・フィールド調査（県外を含む）</li> </ul>

	地層や化石に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など）</li> <li>各分類群の専門家、他団体との共同研究</li> <li>採集、寄贈等による標本収集</li> </ul>
地質・岩石	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷川連峰西部及び東端部における地質・岩石・地質現象調査</li> <li>南牧村南西部の地質・岩石調査</li> <li>下仁田町南東部の北部秩父帯に産するマンガン鉱床調査</li> <li>群馬県東部の古砂丘構成粒子に関する研究</li> <li>富岡市及び下仁田町に分布する花崗岩の産状・岩相調査</li> <li>八ッ場ダム周辺の地質・岩石調査</li> <li>高崎市吉井町における多胡石の石材利用調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド調査に基づく岩石の産状及び岩相記載</li> <li>肉眼及び偏光顕微鏡を用いた岩石記載</li> <li>実体顕微鏡を用いた構成粒子観察</li> </ul>
鉱物	<ul style="list-style-type: none"> <li>下仁田町の西牧鉱山に産する鶏冠石に関する調査</li> <li>下仁田町の中丸鉱山坑口付近における沈殿物の構成鉱物の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉末X線回折装置を用いた構成鉱物の同定</li> </ul>
無脊椎動物 (昆虫を除く)	群馬県における無脊椎動物(昆虫を除く)生息状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド調査</li> <li>採集資料の収蔵</li> </ul>
昆虫	群馬県における昆虫の生息状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>見つけ捕り</li> <li>ピットフォールトラップ</li> </ul>

#### (4) 美術館・博物館調査研究

##### 「同居いきもの図鑑」

私たちが暮らす環境の中において、実はとても多くの生きものとともに暮らしています。ある生物は人体に寄生し、またある生物はひっそりと息を潜め家屋内にすみつき、またある生物は我々と信頼関係を構築し、ともに協力し合う生活をしています。本企画展では、これら生物群を来館者にわかりやすく紹介するとともに、人と生物がよりよく生活するための情報を発信する展示とします。

本企画展を開催するにあたり、ミュージアムパーク茨城県自然博物館や栃木県立博物館などの収蔵標本の調査を実施し、借用希望標本の選定を行った。また、昆虫科学館館長 久留飛克明氏を訪問し、企画展講演会の打診とともに、今回テーマとする生き物たちについて、人との関係や、その生き物たちの紹介方法などについて、各種の手法を教えていただいた。

##### 「海の森～海藻たちのワンダーランド～」

群馬県には豊かな森があり、多様な森にはたくさんの命が育まれている。海の中にも豊かな森があり、山の森と同様に、たくさんの命が育まれている。山の森にはたくさんの木々などの植物が生えているが、海の森にはたくさんの海藻が生えている。海の森は川によって山とつながり、山の森の恵みを受けて豊かな生態系をつくっている。山・川・海はすべてつながっていることをテーマとして、海なし県である群馬県で本展示を開催するための調査を行った。

本企画展を開催するにあたり、当館収蔵標本を増やすとともに、海藻に関する指導を受け、体験型、参加型展示のデザインを行った。また、持続可能な資源の利用をテーマとした山・川・海をつなぐシンポジウム開催にむけて準備を行った。本企画展は、「海の学び ミュージアムサポート」の企画展

サポート支援を受けて開催することとなった。

### 「空にいどんだ勇者たち（仮）」

生物の進化史におけるエポックメーキングの一つが「空への進出」である。それの中でも注目されるのが、空を飛ぶことができる脊椎動物として生物史上最大となる種類を含み、恐竜と同じ時代に栄え、6600万年前に絶滅してしまった翼竜の仲間である。本企画展では、絶滅した様々な飛行性動物の中でも翼竜に着目し、その体のつくりを中心として、現在の空を飛ぶ動物である鳥類やコウモリ類（哺乳類）などと比べる展示として、脊椎動物に見られる骨格の進化に関する理解を深められるものとする。

本企画展の開催準備のため、ミュージアムパーク茨城県自然博物館と栃木県立博物館の収蔵標本の調査を実施し、借用希望標本の選定を行った。

### 地域活動支援

#### 「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の調査

当館では、自然保護・保全に携わる団体等の活動成果を当館所蔵の実物標本を活用しながら、県民に展示、教育普及することで、県民の地域の生物多様性保全への関心を高めることを目的に「ぐんまの自然の『いま』を伝える報告会」開催してきた。平成30年度は、一般の来館者向けの展示を増やした。また参加型展示を実施している他館の調査を行い、生物多様性、にじゅうまるプロジェクトに関連する会議等にも積極的に参加し、令和元年度以降の特別展のあり方について検討を重ねた。平成30年度、本事業は、国連生物多様性の10年日本委員会による連携事業として認定された。

### (5) 群馬県立自然史博物館研究報告第23号の発行

内容は、論文15編（原著論文7、短報1、資料6、その他1）である。外部からの投稿は9編であった。

### (6) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	市民団体・自然 保護団体	備考
良好な自然環境を有する地域 学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 高栗祐司	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県レッドデータブック改 訂調査・植物部門	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県レッドデータブック改 訂調査・哺乳類部門	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境 調査研究会		
生物多様性モニタリング調査	分担	大森威宏 姉崎智子	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県特定外来生物生息状況 調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境課		
群馬県希少野生動植物保護条 例に係る特定県内希少動植物 種モニタリング調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課		

環境省第5次レッドラリスト作成のための調査	県主 調査員	大森威宏	○	日本植物分類学会		
第4次尾瀬総合学術調査 基礎研究部会	インベン トリ-GL	大森威宏	○	第4次尾瀬総合学術 調査団		
希少植物の生態と保護増殖に 関する研究	分担	大森威宏	○	日本植物園協会		
尾瀬における植物分布調査お よびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課尾 瀬保全推進室		
モニタリングサイト1000湖沼 調査(赤城大沼)	分担	大森威宏	○	環境省		
群馬県シードバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課		H23~
山中層群の古生物学的研究	連携	高栄祐司		神流町恐竜センタ ー、埼玉県立自然の 博物館等		
絶滅爬虫類の脳形態に関する 研究	連携	高栄祐司		対比地孝亘 (東京大学理学部)		
蝦夷層群を中心とした後期白 亜紀サメ類群集に関する研究	連携	高栄祐司		三笠市立博物館等		
東アジアにおける新生界軟骨 魚類群集の変遷に関する研究	連携	高栄祐司		佐賀県立宇宙科学 館、天草市立御所浦 白亜紀資料館等		
日本の更新世シカ類に関する 研究	連携	高栄祐司		長岡市立科学博物 館、野尻湖ナウマン ゾウ博物館、千葉県 立中央博物館等		
古生物系標本横断データベー スの構築	連携	高栄祐司		東京大学総合研究博 物館等		
来馬層群産脊椎動物化石に 関する研究	連携	高栄祐司		フォッサマグナミュ ージアム		
群馬県内における菌類調査	連携	伊藤智史		群馬県林業試験場 群馬県野生のこ同 好会		
多摩川中上流域上総層群に 関する調査研究	連携	木村敏之		多摩川中上流域上総 層群調査研究プロジェ クト実行委員会		
瑞浪市産クジラ類化石に 関する研究	連携	木村敏之		瑞浪市化石博物館		
群馬県特定動物保護管理計画 にともなう検体分析事業(ツ キノワグマ、ニホンカモシ カ、ニホンザル、ニホンジ カ、ニホンイノシシ)	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、 市町村 東京農業大学、 (財)自然環境研究 センター、京都大学 靈長類研究所、総合 研究大学院大学、麻 布大学		
尾瀬シカ捕獲事業における科 学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課尾 瀬保全推進室、群馬 県自然環境課野生動 物係		
赤城シカ対策事業におけるシ カの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野 生動物係		
神津牧場シカ対策事業にお けるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野 生動物係		
太田金山イノシシ対策事業に おけるイノシシの科学的な分 析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野 生動物係		

群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	○	
セルロース分解に関する消化管内細菌叢とその制御システムの多様性	共同	姉崎智子	○	琉球大学熱帯生物圏研究センター、京都大学靈長類研究所		
群馬県産ニホンザルの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		京都大学靈長類研究所		
群馬県内におけるニホンジカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		
群馬県内におけるニホンカモシカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		東京農業大学、東京農工大学		
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的追跡調査	共同	姉崎智子		東京農工大学、森林総合研究所		
「海洋教育」体感型アウトリーチ補助教材（トランクキット）開発	代表	姉崎智子	○	船の科学館ミュージアムサポートプログラム2		
ニホンジカの農作物採食が繁殖に与える影響	共同	姉崎智子		農研機構・中央農業研究センター		
尾瀬産維管束植物の分布と保全に関する研究	連携	大森威宏		黒沢高秀（福島大学）		
日本産カヤツリグサ科分布図作成事業	連携	大森威宏		すげの会		
東北日本産トリカブト属植物の分子系統学的研究	連携	大森威宏	○	中屋敷徳（岩手医科大学）		
川場村誌調査員（植物）	分担	大森威宏	○	川場村		
共同利用研究「群馬県空中写真デジタル化・環境解析事業」	連携	姉崎智子		同志社大学		
動物園個体の標本化・収藏	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園		
西牧鉱山に関する学際的研究	連携	菅原久誠		ぐんま鉱山研究会		
中丸鉱山坑口付近の酸性浸出水環境及び自生するコケ植物群集に関する研究	連携	菅原久誠		ぐんま鉱山研究会、群馬大学理工学部、群馬工業高等専門学校、上海聖龍環境修復技術有限公司		
高負荷環境汚染問題に対処する持続可能な地域イノベーションの共創	分担	菅原久誠	○	総合地球環境学研究所		
良好な自然環境を有する地域学術調査における南牧村南西部地質岩石調査	分担	菅原久誠	○	群馬県自然環境調査研究会		
良好な自然環境を有する地域学術調査における朝日岳・白毛門山東面自然環境保全地域地形・地質調査	分担	菅原久誠	○	群馬県自然環境調査研究会		

浅間山北麓ジオパークにおけるハッ場ダム周辺吾妻川沿いの地質調査	連携	菅原久誠	○	国交省、長野原町、 浅間山北麓ジオパーク		
群馬県レッドデータブック改訂調査：陸産貝類部門	協力	茂木 誠		群馬県自然環境 調査研究会		

・外部研究者への調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名(所属)	備考
本州におけるヤチヤナギの分布	大森威宏	細矢 剛 (国立科学博物館)	情報提供
群馬県産アザミ・トリカブトについて	大森威宏	門田裕一 (元国立科学博物館)	情報提供
ヤマハナワラビについて	大森威宏	Pierre-Emmanuel Du Pasquier (Université de Neuchâtel: Switzerland)	情報提供・試料 提供
尾瀬ヶ原のヤチヤナギについて、調査区のフローラ	大森威宏	廣田 充 (筑波大学)	情報提供・標本 同定
ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマの遺伝的集団構造	姉崎智子	佐々木剛 (東京農業大学)	試料提供
ツキノワグマの安定同位体分析	姉崎智子	小池啓介 (東京農工大学)	試料提供
ツキノワグマの核 DNA 解析	姉崎智子	大西尚樹 (森林総合研究所)	試料提供
ツキノワグマの放射性セシウム汚染・筋肉と血液の相関性	姉崎智子	山崎晃司 (東京農業大学)	試料提供
群馬県ニホンザル苦味受容体遺伝子解析	姉崎智子	今井啓雄、鈴木南美 (京都大学靈長類研究所)	試料提供
群馬県ニホンジカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人 (麻布大学)	試料提供
群馬県ニホンカモシカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人 (麻布大学)	試料提供
ニホンジカの安定同位体分析	姉崎智子	秦 綾夏 (農研機構・中央農業研究センター)	試料提供
ムクドリの遺伝科学的分析	姉崎智子	掛川高校	試料提供
富岡市及び下仁田町に分布する花崗岩のフィールド調査	菅原久誠	能美洋介 (岡山理科大学)	フィールド案 内、情報提供

## (7) 協働的調査研究の状況

### ①みんなで調べる群馬の自然史の実績

ツバメ調査

### ②外部団体との協働実績

哺乳類のカメラトラップ調査 利根沼田自然を愛する会

桐生自然観察の森

地衣類調査（玉原）

利根沼田自然を愛する会

変形菌調査（玉原）

日本変形菌研究会

軽井沢町内のヤマタバコ分布調査

軽井沢サクラソウ会議

## (8) 特別研究員

### 平成30年度の特別研究員8名の研究課題

- ・伊勢崎市周辺地衣類の調査および地衣類の理科教材化への検討
- ・群馬県西毛地域における蘚苔類・地衣類調査について
- ・下総層群から産出する有孔虫化石
- ・群馬県榛名地域における蘚苔類・地衣類調査について
- ・電子顕微鏡を用いた群馬県内に産する菌類データベースの作成
- ・群馬県における地衣類調査について
- ・群馬県北毛地域における地衣類調査について
- ・群馬県における鳥類生息調査について

## 5 情報システム

自然史博物館情報システムは平成 28 年 10 月 1 日より第四次システムの運用を開始した。従来のシステムの経年による機器更新に加え、一部のサーバをクラウド化するなど、一層の県民サービスの向上、安定性の向上を図った。システム概要は以下の通りである。情報システムは 5 つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

### (1) 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは採集関係、産地関係をはじめとする属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用している。使用ソフトウェアは Musetheque V4（富士通製）である。第四次システムよりデータセンターを利用したクラウド化をすることによりデータの安全性の一層の向上を図っている。また 3D スキャナを導入し、収蔵資料の 3 次元情報についても蓄積を行う。このほか 3D プリンタ、4K 対応ビデオカメラも導入された。

### (2) 展示情報システム

情報コーナー展示システム、常設展示用展示システム、来館案内システムの 3 つからなる。収蔵情報・クイズ・ビデオ・図書情報が簡単な操作で見られるように構成されており、館内情報コーナー及び各展示コーナーの端末で利用できる。情報コーナーでは全てが、一方、各展示コーナーでは該当部分のみを利用できる。収蔵情報は、収蔵品管理システムと連動しており、新たな収蔵品の更新情報を直ちに見ることができる。ビデオ番組は、群馬県内の自然環境および景勝地などを過去に撮影したもの等、合計 200 タイトルを保有している。来館案内は、企画展、イベントの情報を、博物館エントランスに設置したディスプレイで常時配信している。また第四次システムでは風除室での情報配信も新たに開始し、一層の来館者サービスの向上に努めている。また学習室プロジェクトも第 4 次システムにより更新した。

### (3) 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理するシステムである。収蔵品管理システムと同様に、一元管理された図書情報は、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用しており、展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書を館の内外から検索できる。収蔵システム同様にデータセンターを利用したクラウド化を行うことで、データの安全性の向上を図っている。本年 12 月より、図書貸出にあたっては、本システムによる管理一元化を図った。

### (4) 普及広報システム

インターネット上の HPにおいて、イベント、博物館活用ネットワーク、友の会、ボランティア、収蔵品、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。展示室・イベント情報については動画配信を行っている。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り（デメテール）は、すべて HP からダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問について、それぞれ電子メールでの対応も行っている。なお第四次システムでは、より柔軟かつ迅速な情報提供を行うことを目的として CMS を導入した。

## (5) 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所をコンピュータで調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

## 6 出版・広報事業

### (1) 出版物

#### ①学術的著作、普及的著作

種類	名 称	規格	頁数	部数
企画展図録	化石動物園～哺乳類3億年の歴史～	B5 版カラー	64	800
	人類進化 700万年	A4 版カラー	56	500
	谷川連峰	A4 版カラー	52	800
研究報告	研究報告 23号	A4 版一部カラー	84	550
パンフレット	みんなで調べる！カエデを探そう！	B4 二折カラー	4	2,000
	みんなで調べる！石の仲間とおいたち	B4 二折カラー	4	2,000
	尾瀬花暦 1	A3 二折カラー	4	2,000
	尾瀬花暦 2	A3 二折カラー	4	2,000
	尾瀬花暦 3	A3 二折カラー	4	2,000
	海の学びパンフレット	A3 二折カラー	4	5,000
	地域回想法を生かしたプログラム	A3 二折カラー	4	3,000

#### ②広報用印刷物

種類	名 称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No72	A4 版カラー	4	9,500
	自然史博物館だより「デメテール」No73	A4 版カラー	4	9,500
	自然史博物館だより「デメテール」No74	A4 版カラー	4	9,500
ポスター	第57回企画展ポスター	B2 版カラー		3,000
	第57回企画展ポスター	B3 版カラー		100
	第58回企画展ポスター	B2 版カラー		3,000
	第58回企画展ポスター	B3 版カラー		200
	特別展ぐんまの自然の「いま」ポスター	B2 版カラー		700
	特別展ぐんまの自然の「いま」ポスター	B3 版カラー		200
	第59回企画展ポスター	B2 版カラー		3,000
	第59回企画展ポスター	B3 版カラー		100
企画展・特別展リーフレット	第57回企画展	A4 版カラー		172,000
	第58回企画展	A4 版カラー		172,000
	特別展	A4 版カラー		17,000
	第59回企画展	A4 版カラー		172,000
リーフレット	イベントガイド 2018.10～2019.3	A3 版横観音開き 表カラー・裏1色		25,000
	イベントガイド 2019.4～2019.9	A3 版横観音開き 表カラー・裏1色		25,000

## (2) 出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）
東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

## (3) 広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用DVDの貸出を行った。さらに写真・資料を雑誌・広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

### ① プロモーション用DVDの貸出

平成30年度貸出件数 19件

### ② 活字媒体による情報資料掲載

#### ア 県広報等からの発信（21件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.4.6	サイエンス・サタデー「ツバメ型グライダーをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.4.7	講演会「利根川に影響を与えた火山噴火の歴史」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.4.8	ツバメ初見日調査「みんなで調べる群馬のツバメ」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.4.25	「ウナギのタッチプール」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.4.27	「高校生向けオープンラボ」
群馬県	ぐんま広報	2018.5.6	博物館の日イベント
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.5.9	サイエンス・サタデー「河原の石を使ってペーパーウエイトをつくろう」
群馬県	ぐんま広報	2018.6.3	サイエンス・サタデー「光るスライムをつくろう」
上毛新聞	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.6.29	「スマート伊勢崎で移動博物館」
群馬県	ぐんま広報	2018.7.1	企画展「化石動物園」の紹介
上毛新聞	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.7.7	講演会「妖怪古生物」
上毛新聞	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.7.22	「教員のための博物館の日」

上毛新聞	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.8.8	講演会「人体に見られる進化のあと」
上毛新聞	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.8.15	サイエンス・サタデー「アンモナイト化石のレプリカに色付けをしよう」
群馬県	ぐんま広報	2018.10.7	企画展「人類進化 700 万年」
群馬県	ぐんま広報	2018.11.4	サイエンス・サタデー「コハクをみがいて虫を見つけよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2018.12.1	自然史講座「宇宙の構造・宇宙の進化」
群馬県	ぐんま広報	2019.1.1	特別展「ぐんまの自然のいま」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2019.1.1	サイエンス・サタデー「木の葉化石をさがそう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2019.1.6	自然史講座「赤道 200 周の旅で学んだこと～生き物たちの共生～」
群馬県	ぐんま広報	2019.3.3	第 59 回企画展「谷川連峰」

イ 上記以外からの発信（134 件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
富岡市	広報とみおか	2018.4.1	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2018.4.1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018.4.1	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018.4.1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.4.3	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
群馬東部よみうり新聞社	ビバアミーゴ	2018.4.6	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「テレナイン」	2018.4.13	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.4.20	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
群馬東部よみうり新聞社	ビバアミーゴ	2018.4.20	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018.4.20	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2018.4.27	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介

群馬県教育委員会	教育ぐんま 1 学期号	2018. 4. 27	企画展「化石動物園」の紹介
元裕社	ハロートラベル群馬	2018. 4. 28	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018. 5. 1	博物館の日イベント
日本博物館協会	博物館研究	2018. 5. 1	自然史博物館の紹介
石乃美社	月刊 愛石 5 月号	2018. 5. 1	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
全国科学 博物館協議会	全科協 NEWS	2018. 5. 1	博物館イベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 5. 3	第 57 回「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介
西多摩新聞社	西多摩新聞	2018. 5. 11	アキシマクジラ化石の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 5. 18	ツバメの初見日調査の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 5. 21	高校生学芸員の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 5. 30	博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
旺文社	まっふる おいしい道の駅～首都圏版～	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
富岡市・安中市 ・軽井沢町観光 連携協議会	観光パンフレット	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
山川出版社	親子で自由研究 関東穴場スポット 100	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
マイルスタッフ	Momo vol. 1 7	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
株式会社 未来社	群馬県版 道の駅夏号	2018. 6. 1	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 6. 9	自然史博物館の紹介
群馬よみうり新 聞社	タウンぐんま	2018. 6. 22	企画展「化石動物園」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 6. 30	移動博物館の紹介
日本修学旅行協 会	教育旅行 7 月号	2018. 7. 1	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018. 7. 1	自然史博物館の紹介

高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー ・インフォメーション	2018. 7. 1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018. 7. 1	企画展「化石動物園」の紹介
株式会社 JTB パ ブリッシング	るるぶ群馬 草津 伊香 保 富岡' 19	2018. 7. 1	自然史博物館の紹介
全国科学 博物館協議会	全科協 NEWS	2018. 7. 1	博物館イベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 7. 13	博物館監修本の紹介
群馬よみうり新 聞社	タウンぐんま	2018. 7. 13	企画展「化石動物園」の紹介
群馬よみうり新 聞社	タウンぐんま	2018. 7. 13	バックヤードツアーの紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 7. 14	企画展「化石動物園」の紹介
東京新聞社	東京新聞	2018. 7. 15	企画展「化石動物園」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞マリオン	2018. 7. 17	企画展「化石動物園」の紹介
日経サイエンス	月刊誌「日経サイエン ス」	2018. 7. 25	自然史博物館夏休みイベント情報
橋本新聞販売株 式会社	はしもとランド8月号	2018. 7. 25	自然史博物館の紹介
株式会社ニュー トンプレス	Newton	2018. 7. 26	企画展「化石動物園」の紹介
群馬よみうり新 聞社	タウンぐんま	2018. 7. 27	企画展「化石動物園」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018. 7. 27	企画展「化石動物園」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018. 7. 27	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 7. 29	博物館探検隊の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018. 8. 1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018. 8. 1	企画展「化石動物園」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 8. 5	スピノサウルス頭骨の紹介
東京新聞社	東京新聞	2018. 8. 9	スピノサウルス頭骨の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 8. 11	企画展「化石動物園」 3万人セレモ ニー
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018. 8. 17	企画展「化石動物園」 3万人セレモ ニー

群馬東部よみうり新聞社	ビバアミーゴ	2018.8.17	企画展「化石動物園」3万人セレモニー
日本博物館協会	博物館研究	2018.9.1	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協議会	全科協 NEWS	2018.9.1	博物館イベントの紹介
ASA 富岡中木新聞店	ニューライフ富岡	2018.9.1	夜の天体観望会の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.9.4	博物館監修本の紹介
週刊文春	週刊文春	2018.9.20	博物館監修本の紹介
群馬県教育委員会	教育ぐんま 2学期号	2018.4.27	企画展「人類進化700万年」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018.9.21	企画展「人類進化700万年」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018.9.21	自然史博物館の紹介
上毛新聞 TR サービス	月刊デリジェイ	2018.9.25	企画展「人類進化700万年」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2018.9.28	企画展「人類進化700万年」の紹介
株式会社中広	まま・ここと	2018.10.1	群馬県民の日特集
上毛新聞 TR サービス	月刊デリジェイ	2018.10.1	企画展「人類進化700万年」の紹介
総合ユニコム	レジャーランド&レクパーグ総覧2019	2018.10.1	自然史博物館の紹介
株式会社中広	まま・ここと秋号	2018.10.1	群馬県民の日特集
上毛新聞社	上毛新聞	2018.10.1	「変形菌の観察会」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞	2018.10.1	「フタバスズキリュウ50年」の紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2018.10.1	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018.10.1	自然史博物館の紹介
朝日新聞社	朝日新聞マリオン	2018.10.2	企画展「人類進化700万年」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.10.13	企画展「人類進化700万年」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018.10.19	博物館監修本の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.10.22	恐竜化石（カマラサウルス）の紹介

株式会社ニュー トンプレス	Newton 12月号	2018.10.26	企画展「人類進化700万年」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2018.10.26	企画展「人類進化700万年」
読売新聞社	読売新聞	2018.10.26	企画展「人類進化700万年」
上毛新聞社	上毛新聞	2018.10.27	上期の来館者が過去最高を記録
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018.11.1	企画展「人類進化700万年」
エイワハウス	えいわのわ(秋号)	2018.11.1	自然史博物館の紹介
JAF	JAFPLUS 11号	2018.11.1	自然史博物館の紹介
全国科学 博物館協議会	全科協 NEWS	2018.11.1	博物館イベントの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2018.11.1	自然史博物館の紹介
群馬よみうり新聞社	ビバアミーゴ	2018.11.2	企画展「人類進化700万年」
株式会社 KADOKAWA	ウォーカープラス	2018.11.5	企画展「人類進化700万年」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2018.11.6	企画展「人類進化700万年」2万人セレモニー
上毛新聞社	上毛新聞	2018.11.6	外来シジミ繁殖
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018.10.9	企画展「人類進化700万年」
上毛新聞アドシ ステム	上毛新聞	2018.11.11	企画展「人類進化700万年」
上毛新聞社	上毛新聞	2018.11.13	企画展「人類進化700万年」
日本博物館協会	博物館研究	2018.12.1	自然史博物館の紹介
群馬県こども政 策課	子育て情報冊子「ぐんま で子育て」	2018.12.1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2018.12.1	自然史講座「宇宙の構造・宇宙の進化」の紹介
群馬よみうり新聞社	群馬よみうり新聞	2018.12.28	ミュージアムナイトツアーの紹介
全国科学 博物館協議会	全科協 NEWS	2019.1.1	博物館イベントの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2019.1.1	自然史博物館の紹介
高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー ・インフォメーション	2019.1.1	自然史博物館の紹介

昭文社	まっぴる群馬 2020	2019. 1. 1	自然史博物館の紹介
高崎市 教育委員会	たかさき子ども活動デー ・インフォメーション	2019. 1. 1	自然史博物館の紹介
株式会社中広	まま・ここっと冬号	2019. 1. 10	サイエンス・サタデー「イヌワシの モビールをつくろう」
市民タイムス	市民タイムス	2019. 1. 11	穴沢クジラ化石修復
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 1. 12	尾瀬学術調査中間報告
朝日新聞社	朝日新聞マリオン	2019. 1. 15	特別展「ぐんまの自然のいま」の紹 介
旺文社	まっぴるマガジン まっ ぱる群馬 20	2019. 1. 15	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 1. 19	特別展「ぐんまの自然のいま」の紹 介
株式会社ニュー トンプレス	Newton 3月号	2019. 1. 26	サイエンス・サタデー「火山灰から 宝石を見つけよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ばれっと」	2019. 1. 26	特別展「ぐんまの自然のいま」の紹 介
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 1. 26	「ダーウィン直筆の手紙」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2019. 2. 1	自然史博物館の紹介
株式会社 JTB パ ブリッシング	るるぶ「こどもとあそ ぼ！首都圏’ 20	2019. 2. 1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2019. 2. 1	特別展「ぐんまの自然のいま」の紹 介
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 2. 3	ミュージアムナイトツアーの紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2019. 2. 8	特別展「ぐんまの自然のいま」の紹 介
全国科学 博物館協議会	全科協 NEWS	2019. 3. 1	博物館イベントの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2019. 3. 1	自然史博物館の紹介
ASA 富岡 中木新聞店	ニューライフ富岡	2019. 3. 1	高校生学芸員研究発表会の紹介
株式会社 未来 社	群馬県版 道の駅春号	2019. 3. 1	企画展「谷川連峰～絶景といのちが 織りなすエコパークの山々～」の紹 介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2019. 3. 15	企画展「谷川連峰～絶景といのちが 織りなすエコパークの山々～」
群馬よみうり新 聞社	ビバアミーゴ	2019. 3. 15	企画展「谷川連峰～絶景といのちが 織りなすエコパークの山々～」

群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2019.3.15	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
株式会社ニュース・ライン	おでかけ群馬	2019.3.15	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
朝日新聞社	朝日新聞マリオン	2019.3.19	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
朝日新聞社	朝日新聞	2019.3.21	イルカ類化石の新種認定について
上毛新聞社	上毛新聞	2019.3.21	イルカ類化石の新種認定について
読売新聞社	読売新聞	2019.3.21	イルカ類化石の新種認定について
群馬よみうり新聞社	ビバアミーゴ	2019.3.22	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
上毛新聞社	上毛新聞	2019.3.23	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
東京新聞社	東京新聞	2019.3.27	イルカ類化石の新種認定について
日本経済新聞社	日本経済新聞	2019.3.27	長谷川名誉館長について

### ③ 電波媒体による情報発信

#### ア 県広報等からの発信（23件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」	2018.4.13
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	博物館の日イベント	2018.5.11
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	移動博物館	2018.6.22
静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	移動博物館	2018.6.25
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然史博物館探検隊	2018.6.1
石川 直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「光るスマイルムをつくろう」	2018.6.19
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第57回企画展「化石動物園～哺乳類3億年の歴史～」	2018.7.6

静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	第57回企画展「化石動物園～哺乳類3億年の歴史～」	2018.7.12
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展講演会「妖怪古生物への誘い」	2018.7.12
月田 典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展講演会「人体にみられる進化のあと」	2018.8.9
月田 典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第57回企画展「化石動物園～哺乳類3億年の歴史～」	2018.8.10
静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	移動博物館	2018.9.6
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第58回企画展「人類進化700万年」	2018.10.19
静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	第58回企画展「人類進化700万年」	2018.11.8
石川 直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展講演会「DNAで解明する現生人類の起源と拡散」	2018.11.16
石川 直紀	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「コハクをみがいて虫をさがそう」	2018.11.16
月田 典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展講演会「宇宙の構造・宇宙の進化」	2018.12.13
静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」	2019.1.23
静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」	2019.1.17
石川 直紀	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石をみつけよう」	2019.2.8
武井 郁也	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石をみつけよう」	2019.2.15
静野 聰	FMいせさき	まん中・ぐんま元気情報	第59回企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」	2019.3.8

静野 聰	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第59回企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」	2019.3.22
------	-------	------------	------------------------------------	-----------

イ 上記以外からの発信（29件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
茂木 誠	FMぐんま	ユウガチャ！かわら版	企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介	2018.4.25
茂木 誠	群馬テレビ	ぐんま一番「ぐんまちゃんとニュース」	企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介	2018.4.27
茂木 誠	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」の紹介	2018.5.
アナウンサー読み	FMぐんま	ぐんま情報トッピング	自然史講座「ベッドで眠るアフリカのチンパンジー」	2018.5.9
アナウンサー読み	FMぐんま	ぐんま情報トッピング	スマート伊勢崎で移動博物館	2018.6.27
アナウンサー読み	FMぐんま	ぐんま情報トッピング	企画展「化石動物園」の紹介	2018.7.12
高葉 祐司	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「化石動物園」の紹介	2018.7.19
高葉 祐司	NHK前橋	ほっとぐんま 640	企画展「化石動物園」の紹介	2018.7.19
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	教員のための博物館の日 in 群馬 2018の紹介	2018.8.2
高葉 祐司	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	実物頭骨化石「スピノサウルス」 の紹介	2018.8.
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「人類進化700万年」の紹介	2018.10.8
アナウンサー読み	NHK前橋	ほっとぐんま 640	企画展「人類進化700万年」の紹介	2018.10.18
アナウンサー読み	FMぐんま	ワイグルプレフ	企画展「人類進化700万年」の紹介	2018.10.22

静野 聰	NHK 前橋	おはようニッポン	企画展「人類進化700万年」の紹介	2018.10.25
茂木 誠	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	外来シジミ	2018.11.
茂木 誠	日本テレビ	エブリー	外来シジミ	2018.11.
茂木 誠	日本テレビ	特ダネ	外来シジミ	2018.11.
茂木 誠	フジテレビ	プライムニュース	外来シジミ	2018.11.8
茂木 誠	TBS テレビ	Nスタ	外来シジミ	2018.11.13
高葉祐司	ラジオ高崎	Air Place 「大人の学校」	化石に関する話	2018.11.16
アナウンサー読み	FM ぐんま	ぐんま情報トッピング	企画展「人類進化700万年」の紹介	2018.11.20
アナウンサー読み	FM ぐんま	ぐんま情報トッピング	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」	2019.1.28
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」の紹介	2019.2.18
アナウンサー読み	FM ぐんま	ぐんま情報トッピング	ツバメ初見日調査「みんなで調べる群馬のツバメ」	2019.3.5
大森威宏 菅原久誠	FM ぐんま	ユウガチャ! フォーカス	企画展「谷川連峰~絶景といのちが織りなすエコパークの山々~」	2019.3.19
アナウンサー読み	FM ぐんま	ぐんま情報トッピング	企画展「谷川連峰~絶景といのちが織りなすエコパークの山々~」	2019.3.21
アナウンサー読み	FM ぐんま		新種のイルカ化石	2019.3.
木村敏之	NHK 前橋	ほっとぐんま 640	新種のイルカ化石	2019.3.22

アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6 ニュース eye8	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」の紹介	2018.3.
----------	-------	-------------------------	-----------------------------------	---------

④ 取材対応 (38件)

出版社等 の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内 容
上毛新聞社	上毛新聞	2018.5.1	企画展2万人セレモニーについて(4.30)
読売新聞社	読売新聞	2018.5.1	企画展2万人セレモニーについて(4.30)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.6.9	展示物「カブトムシ模型」(5.15)
上毛新聞社	上毛新聞		自然史博物館のあゆみ(5.18)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.5.21	高校生学芸員・ミュージアムスクール(5.20)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.6.30	移動博物館(6.29)
読売新聞社	読売新聞	未掲載	ツキノワグマの生体について(7.5)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.7.13	監修本「リアルサイズ古生物図鑑」(7.10)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.7.14	企画展「化石動物園」(7.13)
東京新聞社	東京新聞	2018.7.15	「アキシマクジラ」展示標本(7.14)
朝日新聞社	朝日新聞		「アキシマクジラ」展示標本(7.16)
産経新聞社	産経新聞		企画展「化石動物園」(7.19)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.7.29	博物館探検隊(7.28)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.8.12	企画展「化石動物園」常設展「恐竜」(8.1)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.8.3	教員のための博物館の日 in 群馬2018(8.2)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.8.5	スピノサウルス実物骨格化石の展示公開(8.4)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.8.11	企画展3万人セレモニーについて(8.10)
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2018.8.17	企画展3万人セレモニーについて(8.10)
上毛新聞社	上毛新聞	2018.9.4	監修本「ながいながい旅」(8.15)
上毛新聞社	上毛新聞		監修本「リアルサイズ古生物図鑑」(8.15)

朝日新聞社	朝日新聞	2018. 10. 1	長谷川名誉館長「フタバスズキリュウ」(9. 4)
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 10. 1	変形菌観察会(9. 30)
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 10. 27	平成30年度上半期観覧者数過去最高を記録(10. 4) (10. 10)
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018. 10. 19	監修本(10. 4)
上毛新聞社	上毛新聞		企画展「人類進化700万年」(10. 12)
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 10. 22	カマラサウルス実物全身骨格標本(10. 16)
朝日新聞社	朝日ぐんま	2018. 11. 1	企画展「人類進化700万年」(10. 18)
読売新聞社	読売新聞		平成30年度上半期観覧者数過去最高を記録(10. 30)
上毛新聞社	上毛新聞	2018. 11. 6	外来シジミ(11. 6)
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 1. 19	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」(1. 18)
朝日新聞社	朝日ぐんま	2019. 2	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」(1. 22)
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 2. 3	ミュージアムナイトツアー(2. 2)
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 3. 21	新種のイルカ化石(3. 20)
朝日新聞社	朝日新聞社	2019. 3. 21	新種のイルカ化石(3. 20)
読売新聞社	読売新聞	2019. 3. 21	新種のイルカ化石(3. 20)
上毛新聞社	上毛新聞	2019. 3. 23	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」(3. 22)
朝日新聞社	朝日ぐんま	2019. 3.	企画展「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」(3. 22)
産経新聞社	産経新聞	2019. 4	新種のイルカ化石(3. 22)

#### (4) 書籍・雑誌記事の執筆、監修

自然史科学の普及ならびに当館の広報を目的として、「群馬県立自然史博物館」名義で、本年度は以下の書籍の執筆、監修を実施した。

##### 書籍・監修

- ・「親子で遊べる恐竜知育ぶっく」

出版社：朝日新聞出版

ページ数：128 ページ

発行日：2018年6月30日

- ・「古生物のサイズが実感できる！リアルサイズ古生物図鑑 古生代編」

著 者：土屋 健  
出版社：技術評論社  
ページ数：208 ページ  
発行日：2018年8月4日

**雑誌（連載記事）・監修**

- ・月刊「みすゞ」2018年11月号  
「機能獲得の進化史1 愛情」  
執筆：土屋 健 イラスト：藤井康文  
発行日：2018年11月1日
  
- ・月刊「みすゞ」2019年3月号  
「機能獲得の進化史2 愛情」  
執筆：土屋 健 イラスト：藤井康文  
発行日：2019年3月1日

## 7 ボランティア等支援活動

### (1) ボランティア活動

#### ① ボランティア登録状況

活動者	休止者	合計	新規登録者	辞退者
73名	7名	80名	8名	8名

#### ② ボランティア活動状況 (登録人数は重複あり)

分野	登録人数	延活動回数
解説	23名	164
資料整理	30名	272
発送	17名	45
サイエンス・サタデー	23名	203
天文・天体	2名	4
合計	95名	688

#### ③ ボランティア基礎学習会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして基礎学習会を行った。

テーマ	講師	日時	参加者
講話 「ボランティア活動について」 「ボランティア活動を通して」	県民生活課 田村京子 NPOボランティアサロンぐんま 峯岸赫子	平成31年3月3日(日)	34名

#### ④ 解説ボランティア定例会

解説ボランティア同士の情報交換と解説スキル向上のため、2ヶ月に1度、定例会を行った。

日時	内容	参加者
平成30年5月12日(土)	情報交換	9名
平成30年7月8日(日)	情報交換	8名
平成30年9月29日(土)	情報交換	7名
平成30年12月2日(日)	情報交換	9名
平成31年2月24日(日) (茨城県自然博物館視察と兼ねる)	情報交換	11名

#### ⑤ サタデーボランティア新規メニュー検討会

新規のメニューの説明内容・作成方法等を習得するとともに、改善点を話し合った。

テーマ	講師	日時	参加者
・コハクをみがいて虫をさがそう	教育普及係 月田 典寿	平成30年10月6日(土)	6名
・イヌワシのモビールをつくろう	教育普及係 月田 典寿	平成31年2月9日(土)	9名

#### ⑥ ボランティア全体会

ボランティア全体会を1回実施した。内容は、館職員といっしょに、一年間の活動の反省と課題について意見交換を行った。

日時	平成30年3月3日(日)10:00~12:00
参加人数	ボランティア34名、館職員4名

場 所	大会議室
-----	------

⑦ 観音山ファミリーパーク 2018 県民参加フェスタ

県内のいろいろな団体が集まるイベント「県民参加フェスタ」へ当館ボランティアも参加した。アンモナイト化石のレプリカづくりを実施した。

日 時	平成 30 年 5 月 19 日(土)10:00~15:00
参加人数	ボランティア 4 名、 館職員 1 名
場 所	観音山ファミリーパーク
イベント体験者数	87 名

(2) 友の会

① 平成 30 年度会員数 382 名

〈内訳〉

個人会員	64 名
家族会員	72 家族
賛助会員	団体 8 ・ 個人 3

② 総会・講演会

日 時	2018 年 5 月 6 日(日)
参加人数	17 名
講 師	名誉館長 長谷川善和
演 題	沖縄県南部港川人遺跡のトリ・カメ・哺乳動物相の特質

③ 友の会博物館等視察研修会

日 時	2018 年 11 月 18 日(日) 7:00~18:20
場 所	神奈川県立生命の星・地球博物館
参加人数	25 名

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	下仁田ジオパークに 行ってみよう	植物観察とアサギマ ダラのマーキング	秋のキノコを観察し よう
講 師	菅原久誠 (学芸係)	友の会運営委員・群 馬ナチュラリスト自 然保護協議会	北爪 二郎 (友の会運営委員)
日 時	6 月 2 日(土) 10:00~12:00	8 月 5 日(日) 7:30~17:00	9 月 23 日(日) 10:00~12:00
参加者	25 名	14 名	13 名

⑤ 友の会通信

	第 39 号	第 40 号
発 行 日	8 月 22 日(水)	2 月 1 日(金)
編集委員会	7 月 14 日(土)	12 月 8 日(土)
場 所	中会議室	中会議室
発行部数	1500 部	1500 部

### III 資料

#### 1 職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名 称	依頼先	自治体等	学会等	博物館等	期 間
名誉館長 長谷川善和	埼玉県立自然の博物館 資料評価委員会委員	埼玉県立自然の博物館		○		
	日本蛇族学術研究所 理事	日本蛇族学術研究所		○		
	長野県飯田市美術博物館 顧問	飯田市		○		
	日本洞窟学研究所 理事	岩手県岩泉町		○		
大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	○			H17.4.1～
	前橋市文化財審議会調査委員	前橋市教育委員会	○			H27.7.1～
	川場村誌編纂委員	川場村	○			H26.4.1～
	ネドフミ記録等作成調査委員会	中之条町教育委員会	○			H.29.10.1 ～R.2.3.31
	群馬県環境審議会委員	群馬県環境森林部	○			H21.3.25～ H.30.8.31
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	○			H23.4.1～
	環境省第5次レッドデータブック 植物 I 群馬県主任調査員	日本植物分類学会		○		H29.1～
	すげの会幹事	すげの会		○		H20.5.7～
	東北植物研究編集委員	東北植物研究会		○		H25.12～
	第4次尾瀬総合学術調査実行役員	同学術調査団	○			28.12～
主幹(学芸員) 高栄祐司	国土交通省河川環境アドバイザー	国土交通省高崎河川国道事務所	○			H29.4.1～
	群馬県自然環境研究調査会 会員／編集委員	群馬県環境森林部	○			H26.11.8～
	ジオパーク下仁田協議会・委員	下仁田町	○			H22.3.2～
	ジオパーク下仁田協議会・学術部会長	下仁田町	○			H27.4.1～
	自然史学会連合・博物館部会委員	自然史学会連合		○		H22.1.1～
	化石研究会・事務局	化石研究会		○		H24.6.9～
主幹(学芸員) 木村敏之	日本古生物学会・将来計画委員会委員	日本古生物学会		○		H24.2.6～
	「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」ワーキンググループ委員	国立科学博物館			○	H23.9.10～
	化石研究会・事務局	化石研究会		○		H24.6.9～
主幹(学芸員) 姉崎智子	多摩川中上流域上総層群調査研究 プロジェクト協力研究員	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト 実行委員会	○			H29.7～
	第12次鳥獣事業計画検討専門部会	群馬県環境森林部	○			H28.8～
	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会、 専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～
主幹(学芸員) 姉崎智子	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討会、 専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～
	群馬県ニホンザル適正管理検討会、 専門部会	群馬県農政部	○			H25.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会、 専門部会	群馬県環境森林部	○			H25.4.1～

	群馬県ニホンジカ適正管理検討会、専門部会	群馬県環境森林部	○			H25.4.1～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネーター	環境省自然環境局	○			H22.6.17～
	日本哺乳類学会 種名・標本委員会委員	日本哺乳類学会		○		H23.11～
	日本哺乳類学会 イノシシ部会委員	日本哺乳類学会		○		H25.9.6～
	文化庁全国カモシカ調査指導委員	文化庁	○			H27.4～
	河川課審議委員会	群馬県河川課	○			H28.4～
	藤岡市文化財審議委員	藤岡市教育委員会	○			H28.4～
	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	○			H26.4～
	全国鳥類繁殖分布調査委員	日本鳥類学会		○		H28.4～
	全国鳥類繁殖分布調査・統計処理委員	日本鳥類学会		○		H28.4～
主任(学芸員) 菅原久誠	国指定特別天然記念物「浅間山熔岩樹型」検討委員	嬬恋村・長野原町	○			H30.4～
	ジオパーク下仁田協議会 学術部会会員	下仁田町	○			H27.4.1～
	群馬県自然環境調査研究会会員	群馬県環境森林部	○			H27.4.1～

## 2 職員のアウトリーチ等の状況

### (1) 講師派遣

名 称	主 催 者	期 日	派遣職員
イネ科植物同定研修会（I）講師	桐生自然観察の森	H.29.5.29	大森威宏
イネ科植物同定研修会（II）講師	桐生自然観察の森	H.29.10.21	大森威宏
ぐんま昆虫の森ボランティア研修会講師	ぐんま昆虫の森	H.29.5.20	大森威宏
あの人間に学ぶ尾瀬「総合学術調査で明らかになる尾瀬の植物最新情報」講師	尾瀬沼ビジターセンター運営協議会	H.30.8.16	大森威宏
講演会「日本の恐竜、世界の恐竜」講師 「群馬の恐竜 ～カマラサウルスとスピノサウルス～」	千葉県立中央博物館	H30.8.12	高葉祐司
講演会「太古の中越にいた動物たち」講師	十日町市立十日町小学校	H30.9.21	高葉祐司
出前なんでも講座「せきつい動物の進化」講師	東吾妻町立岩島小学校 PTA	H30.11.20	高葉祐司
アキシマクジラ学名付与記念事業講演会「アキシマクジラの化石発掘から研究結果まで」講師	昭島市	H.30.4.22	木村敏之
ギャラリートーク 講師	瑞浪市化石博物館	H30.4.29	木村敏之
文化財ボランティア視察研修「アキシマクジラ」講師	昭島市教育委員会	H30.7.19	木村敏之
講演/見学会 「アキシマクジラ」講師	昭島市教育委員会	H30.7.26	木村敏之
企画展講演会「海の王者 クジラの進化をさぐる」講師	長野市博物館	H30.8.11	木村敏之
講演/視察研修 「アキシマクジラ」講師	昭島市公立中学校 PTA 協議会	H30.8.24	木村敏之
昭島市民くじら祭りトークショー講師	昭島市	H30.8.4	木村敏之
いきいき健康フェスティバル「世界にはばたくアキシマクジラ」講師	昭島市公民会	H30.9.17	木村敏之
講演会「アキシマクジラ」講師	昭島市立成隣小学校	H30.10.31	木村敏之

講演会「アキシマクジラ」講師	昭島市立田中小学校	H30.10.31	木村敏之
青少年フェスティバル「アキシマクジラ」講師	昭島市教育委員会	H30.11.25	木村敏之
化石採取教室発表会「化石とはなんだろう」講師	昭島市教育委員会	H31.2.16	木村敏之
昭島市市民大学公開講座「アキシマクジラ」講師	昭島市公民館	H31.2.16	木村敏之
鳥獣保護管理委員研修講師	群馬県庁	H30.4.16	姉崎智子
富岡市対策協議会研修講師	富岡市役所	H30.5.28	姉崎智子
松井田高校出前授業「動物との共存」	松井田高校	H30.7.10	姉崎智子
H30 年度北関東環境測定分析機関連絡協議会研修 「動物と人の関係史」	高崎市ホテルグランビュ ー	H30.9.13	姉崎智子
「動物のからだのつくり」	群馬県立盲学校	H30.11.21	姉崎智子 石川直紀
関東甲信越地区盲学校副校長・教頭研修会講師 「海の生き物」トランクキット	群馬社会福祉総合センタ ー	H30.11.22	姉崎智子
「海、つれてきました」海の生き物	サイエンスアゴラ	H30.11.10-11.11	武井郁也 姉崎智子 石川直紀
日本博物館協会ミュージアムメッセ 「海の生き物」トランクキット	国立博物館	H30.11.28-29	姉崎智子
「海の生き物体験講座」 科学へジャンプイン東京 2018	科学へジャンプイン・東 京実行委員会	H30.12.16	石川直紀 姉崎智子
科学へジャンプイン東京 2018 ワークショップ 「大きな岩が小さな粒になるまでの旅」	科学へジャンプイン・東 京実行委員会	H30.12.16	武井郁也 菅原久誠
出前なんでも講座「岩神の飛石はどこからきたのか？」	しきしま老人福祉センタ ー	H30.5.11	菅原久誠
博物館実習	群馬大学教育学部	H30.6.30	姉崎智子 菅原久誠
出前なんでも講座「アストロバイオロジー—地球 外生命はいるのだろうか?—」	三郷小学校放課後児童ク ラブ	H30.8.1	菅原久誠
出前なんでも講座「群馬の地質と岩石からアスト ロバイオロジーへ」	前橋市東公民館	H30.8.30	菅原久誠
四国西予ジオパーク学習会 2018 ジオで西予を元 気に！「博物館で地方を元気に！一群馬県立自然 史博物館の例一」	四国西予ジオパーク推進 協議会・愛媛大学理学部 地球科学科	H30.10.13	菅原久誠
下仁田ジオパークジオガイド養成講座「目からウ ロコが少しだけ落ちる地質と岩石の話 一下仁田ジ オパーク編一」	ジオパーク下仁田協議会 事務局	H30.10.20	菅原久誠
博物館資料論	武蔵野美術大学造形学部	H30.11.10	菅原久誠
みなかみユネスコエコパークエコガイドスキルア ップ講習「日本列島の成り立ちから見た谷川岳の 形成と地質」	谷川岳エコツーリズム推 進協議会	H30.1.11	菅原久誠
富岡学「富岡製糸場でみるジオ多様性－文化地質 学のススメー」	富岡市教育委員会	H31.1.26	菅原久誠

## (2) 論文査読

名 称	主 催 者	期 日	派遣職員
論文査読：東北植物研究	東北植物研究会	H31.1	大森威宏
論文査読：化石研究会会誌	化石研究会	H30.11	高柴祐司

論文査読: 化石研究会会誌	化石研究会	H31.2	高栄祐司
論文査読 : PeerJ	PeerJ Sciences Publications	H30.4	木村敏之
論文査読: Journal of Systematic Palaeontology	Natural History Museum, London	H.30.7	木村敏之
論文査読 : Palaeontologia Electronica	Palaeontologia Electronica	H30.7	木村敏之
論文査読: Geodiversitas	Muséum National D d'Histoire Naturelle	H30.12	木村敏之
論文査読 : PeerJ	PeerJ Sciences Publications	H30.12	木村敏之
論文査読 : PeerJ	PeerJ Sciences Publications	H31.1	木村敏之
論文査読 : PeerJ	PeerJ Sciences Publications	H31.1	木村敏之
論文査読 : Post-proceedings of 3rd International Conference of TREPSEA 2018, Manuscript 1	TREPSEA	H.31.1	菅原久誠
論文査読 : Post-proceedings of 3rd International Conference of TREPSEA 2018, Manuscript 2	TREPSEA	H.31.1	菅原久誠
論文査読 : Post-proceedings of 3rd International Conference of TREPSEA 2018, Manuscript 3	TREPSEA	H.31.1	菅原久誠

### (3) その他

名 称	主 催 者	期 日	派遣職員
「メガ恐竜博 2018」恐竜展示等指導 (於 北九州市・西日本総合展示場)	読売新聞社、大阪市立自然史博物館	H30.7.29-31	高栄祐司
小中連携地学教材 DVD 地層と化石編指導・出演・助言	藤岡小野中学校 西井 寛	H30.8-11	高栄祐司・菅原久誠
生体復原図監修	瑞浪市化石博物館	H30.4	木村敏之
常設展示指導	瑞浪市化石博物館	H30.6	木村敏之
調査指導	松本市四賀化石館	H30.1.10	木村敏之
古利根川砂丘天然記念物検討委員会	邑楽町役場	H30.7.6	菅原久誠

## 3 職員の論文発表等

### (1) 自然史科学的調査研究論文等

職・氏名	論 题	発 表 誌	査読	発表年
名誉館長 長谷川善和	茨城県常陸大宮市野上の中新統干川層からの ステゴロフォドン属（長鼻目）頭蓋化石および スッポン科（カメ目）肩甲骨化石の発見とその意義（国府田良樹・安藤寿男・飯泉克典・三枝春生・小池涉・加藤太一・ 蔭田哲平・ <u>長谷川善和</u> ）	茨城県自然博物館研究報告, (21): 1-15, pls.2	○	2018
	埼玉県横瀬町根小屋より産出した脊椎動物化石（北川博道・ <u>長谷川善和</u> ）	埼玉県立自然の博物館自然遺産調査 I :石灰岩地基礎調査報告書, 12-17		2019

名譽館長 長谷川善和	大分県津久見市の石灰石鉱山産トライアコラム化石（長谷川善和・高葉祐司・根之木久美子・木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 1-11.	○	2019
	群馬県の中新統安中層群原市層より <i>Joumocetus shimizui</i> の新たな標本の産出（木村敏之・長谷川善和）	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 13-20	○	2019
	沖縄県の更新世港川人遺跡から産出したヘビ類椎骨化石（池田忠広・高橋亮雄・真鍋真・長谷川善和）	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 21-34.	○	2019
主幹 大森威宏	尾瀬ヶ原におけるコウホネ属植物の色彩多型とウリュウコウホネ <i>Nuphar pumila</i> var. <i>ozeensis</i> f. <i>rubroovaria</i> の分類学的な妥当性について（志賀 隆、薄葉 満、山口昌子、齋藤真香、黒沢高秀、大森威宏）	水草研究会誌 (107): 27-32, 2018.	○	2018
	新潟県湯沢町におけるジョウシュウトリカブト <i>Aconitum tonense</i> とハクバズシ <i>A. zigzag</i> subsp. <i>kishidai</i> (キンポウゲ科) の混生について（中屋敷徳、出羽厚二、沢和浩、根本秀一、大森威宏）	植物地理・分類研究 66(2): 201-206	○	2018
主幹 (学芸員) 高葉祐司	富岡層群原田篠層からのミョウガガイ目化石の初記録（高葉祐司・大田彩花）	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 35-39.	○	2019
	大分県津久見市の石灰石鉱山産トライアコラム化石（長谷川善和・高葉祐司・根之木久美子・木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 1-11.	○	2019
	後閑川及び秋間川上流の巨礫（高葉祐司・小林二三雄・矢島博・澤口宏・金子稔）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (44): 3-16. (群馬県環境森林部自然環境課編)		2018
	相馬山・黒岩県自然環境保全地域 2 地形・地質（飯島静男・高葉祐司・矢島博）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (44): 29-36. (群馬県環境森林部自然環境課編)		2018
主幹 (学芸員) 木村敏之	A new species of <i>Kentriodon</i> (Cetacea, Odontoceti, Kentriodontidae) from the Miocene of Japan (Kimura, T and Hasegawa, Y.)	Journal of Vertebrate Paleontology, 39:4, DOI: 10.1080/02724634.2019.1566739	○	2019
	First squalodelphinid from the early Miocene of the Pacific realm in the Northern Hemisphere (Kimura, T.)	Journal of Vertebrate Paleontology, 38:4, (1)-(6), DOI: 10.1080/02724634.2018.1493595	○	2018

主幹 (学芸員) 木村敏之	群馬県の中新統安中層群原市層より <i>Joumoctetus shimizui</i> の新たな標本の産出 (木村敏之・長谷川善和)	群馬県立自然史博物館研究報告, (23):13-20	○	2019
	A large fossil baleen whale from the Shikiya Formation (early Middle Miocene) of Wakayama, Japan (Tanaka, Y., Ohara, M. and Kimura, T.)	Paleontological Research. doi: 10.2517/2018PR020.	○	2018
	大分県津久見市の石灰石鉱山産トラ化石 (長谷川善和・高桑祐司・根之木久美子・木村敏之)	群馬県立自然史博物館研究報告, (23):1-11	○	2019
主幹 茂木 誠	群馬県太田市新田大根町, 妙参寺沼で見つかったシジミ類(茂木誠)	群馬県立自然史博物館研究報告, (23):91-94	○	2019
主幹 (学芸員) 姉崎智子	群馬県におけるツキノワグマ捕獲個体の分析—2010年以降に発生した大量出没による個体群動向に関する検討— (姉崎智子)	群馬県立自然史博物館研究報告, (23): 77-82.	○	2019
主任 (学芸員) 菅原久誠	南牧村南西部地質岩石調査(1年目) (菅原久誠)	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (44): 19-24.		2018
	群馬県立自然史博物館をハブ施設とした地質・環境学的調査および社会教育の実践(菅原久誠)	第 28 回環境地質学シンポジウム講演論文集 (The Proceedings of the Twenty eight Symposium on GEO-Environments and GEO-Technics), 59-60.		2018
	群馬県前橋市に所在する「岩神の飛石」の熱ルミネッセンス年代測定(下岡順直・菅原久誠、早田勉・宮沢竜一・能登健)	地球環境研究, (21): 119-123.	○	2019
	中丸鉱山浸出水沈殿物上のコケ植物 (中澤和則・菅原久誠・趙美超・中島啓治・和田晴美)	下仁田自然史館研究報告, (4): 1-8.	○	2019

## (2) 博物館学的調査研究論文等

職・氏名	論題	発表誌	査読	発表年
主幹 木村敏之	自然史系博物館資料のデジタル化とその活用について—スマソニア国際自然史博物館・フロリダ自然史博物館での事例調査(木村敏之)	博物館研究, 53(11)		2018
	中新統産ヒゲクジラ類 <i>Isanacetus</i> (イサナセタス) 属の復元と瑞浪市化石博物館の展示への	瑞浪市化石博物館研究報告, (45):99-120.	○	2019

主幹 木村敏之	活用(安藤佑介・木村敏之・小田 隆・府高航平・瀬尾和宏)			
補佐 武井郁也 主幹 姉崎智子 主任 石川直紀	海洋教育:体験型アウトリーチ補助教材「浜／干潟の生き物を学ぶ」トランクキットの開発と実践 (姉崎智子、石川直紀、荒館真理、櫻井明子、武井郁也)	群馬県立自然史博物館 研究報告, (23): 99-105.	○	2019

### (3) 学会等発表

職・氏名	発 表 題	学 会 名 等	分 野	発 表 年
名誉館長 長谷川 善和	群馬県の安中層群よりケントリオドン類化石の産出(木村敏之・長谷川善和)	日本古生物学会 2018 年年会 (於 東北大学)	古脊椎動物	2018.6.22-24
	ゴニオフォリス類新標本の分類学的研究と北米における多様性(吉田純輝・堀睦・小林快次・高栄祐司・長谷川善和)	日本古生物学会第 168 回例会 (於 神奈川県立生命の星・地球博物館)	古脊椎動物	2019.1.25-27
主幹 大森威宏	尾瀬のカヤツリグサ科フローラー尾瀬総合学術調査 第 1 次調査から第 4 次調査へ (大森威宏・黒沢高秀・志賀 隆・薄葉 满)	すげの会第 29 回全国大会 (北海道大会)	維管束植物	2018.6.23
	群馬県内の自生地におけるサクラソウの花柱構成比と結実率のメタ個体群間比較 (石川真一・大森威宏・増田和明)	日本生態学会	維管束植物	2019.3.18
	探しています。消息不明の雑草 一群馬での過去の分布、採集史ー (大森威宏)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於: 群馬県立自然史博物館)	維管束植物	2018.1.19
	尾瀬総合学術調査生物インベントリー調査 2018 年の知見 (大森威宏)	第 4 次尾瀬総合学術調査団 平成 30 年度調査報告会	総合	2019.1.11
主幹 (学芸員) 高栄祐司	茨城県ひたちなか市の那珂湊層群から産出したサメの歯化石 (加藤太一・宮田真也・河野重範・奥村よほ子・高野朋子・高栄祐司)	第 36 回化石研究会総会・学術大会 (於 栃木県那須烏山市)	古脊椎動物	2018.6.2-3
	瑞浪北中学校敷地造成工事現場 (岐阜県瑞浪市) の下部中新統瑞浪層群明世層から産出した化石 (安藤佑介・楓達也・木村敏之・高栄祐司・野村真一・宮田真也・齋藤毅)	日本古生物学会 2018 年年会 (於 東北大学)	古脊椎動物	2018.6.22-24
	安中市に分布する原田篠層におけるミヨウガガイ科化石の初産出 (高栄祐司・大田彩花)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	古無脊椎動物	2019.1.19

主幹 (学芸員) 高葉祐司	ゴニオフォリス類新標本の分類学的研究と北米における多様性 (吉田純輝・堀睦・小林快次・ <u>高葉祐司</u> ・長谷川善和)	日本古生物学会第 168 回例会(於 神奈川県立生命の星・地球博物館)	古脊椎動物	2019. 1.25-27
主幹 (学芸員) 木村敏之	群馬県の安中層群よりケントリオドン類化石の産出( <u>木村敏之</u> ・長谷川善和)	日本古生物学会 2018 年年会(於 東北大学)	古脊椎動物	2018.6.22-24
	群馬県の中新統安中層群より産出したケントリオドン類とその系統的位置付け( <u>木村敏之</u> ・長谷川善和)	日本地質学会第 125 年学術大会(於 北海道大学)	古脊椎動物	2018.9.5-7
	群馬県安中市及び高崎市から産出したケントリオドン類( <u>木村敏之</u> )	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	古脊椎動物	2019.1.19
	瑞浪北中学校敷地造成工事現場 (岐阜県瑞浪市) の下部中新統瑞浪層群明世層から産出した化石 (安藤佑介・楓達也・ <u>木村敏之</u> ・高葉祐司・野村真一・宮田真也・齋藤毅)	日本古生物学会 2018 年年会(於 東北大学)	古脊椎動物	2018.6.22-24
主幹 (学芸員) 姉崎智子	群馬県におけるツキノワグマ捕獲個体の分析	日本哺乳類学会 (於 信州大学)	陸生哺乳類	2018.9.7
	ニホンジカの農作物採食が繁殖に与える影響の検  (秦彩夏、中下留美子、 <u>姉崎智子</u> 、南正人、福江佑子、樋口尚子、鵜野光、中島泰弘、高田まゆら)	日本生態類学会第 66 回全国大会 (於 神戸)	陸生哺乳類	2019.3.1519
	2017年に捕獲された群馬県ツキノワグマのミトコンドリア DNA 構造 (予報) (和久大介、佐々木剛、米澤隆弘、 <u>姉崎智子</u> )	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2019.1.19
	窒素安定同位体比分析を用いたニホンジカの農作物依存度の検証  (秦彩夏、中下留美子、 <u>姉崎智子</u> 、南正人、福江佑子、樋口尚子、鵜野光、中島泰弘、高田まゆら)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2017 (於 群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2019.1.19
	ツキノワグマの背部において脂腺は発達するのか?(予報) (富安淳平、姉崎智子、小池伸介、羽田眞悟、山崎晃司、松井基純)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2019.1.19
主幹 茂木 誠	みなかみ町での陸産貝類調査(その 2)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	無脊椎動物	2019.1.19

主幹 茂木 誠		(昆 虫を 除 く)		
	群馬県太田市新田大根町、妙参寺沼で見つかったシジミ類	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	無脊椎動物 (昆 虫を 除 く)	2019.1.19
	利根川水系上流部におけるヌマガエル分布の前線(山崎陽平, <u>茂木誠</u> )	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	両性・は虫類	2019.1.19
	群馬県利根郡みなかみ町大水上山および奥利根水源の森に産出した冰雪藻類群集(伊藤智史, 菅原久誠, <u>茂木誠</u> , 静野聰, 北爪二郎)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於 群馬県立自然史博物館)	冰雪藻類	2019.1.19
主任 (学芸員) 菅原久誠	The geopark governance with the case study of the Shimonita Geopark in Japan (Hisanari Sugawara)	The 3rd international conference of the Transdisciplinary Research on Environmental Problems in Southeast Asia (TREPSEA2018) (in Gorontalo, Sulawesi, Indonesia)	地質・学際	2018.8.12
	視覚障害をもつ小中学生のための触って学べる地層の教材および教育プログラムの開発(菅原久誠・荒館真理・箱田陽子)	日本地学教育学会第 72 回全国大会 (於: 筑波大学)	地質・教育	2018.8.24
	群馬県立自然史博物館をハブ施設とした地質・環境学の調査および社会教育の実践(菅原久誠)	第 28 回環境地質学シンポジウム及び総会(於: 日本大学)	地質・環境・社会	2018.12.7
	群馬県西毛地域に分布する牛伏砂岩の石材利用および地域住民の価値観に関するジオツーリズム的研究(菅原久誠)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於: 群馬県立自然史博物館)	地質・岩石	2019.1.19
	ジオツーリズムにおける活用を目的とした多胡石の利用調査(菅原久誠)	文化地質研究会 第 2 回総会・研究発表会 (於: 大谷大学)	地質・岩石	2019.3.2
主任 伊藤智史	みなかみ町における大型菌類の調査	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於: 群馬県立自然史博物館)	菌類	2019.1.19

主任 伊藤智史	群馬県利根郡みなかみ町大水上山および奥利根水源の森に産出した氷雪藻類群集(伊藤智史, 菅原久誠, 茂木誠, 静野聰, 北爪二郎)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2018 (於: 群馬県立自然史博物館)	藻類	2019.1.19
---------	--	--	----	-----------

(4) その他(自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など)

職・氏名	論題	発表誌／発行所	発表年	備考
主幹 大森威宏	軽井沢のヤマタバコの生育状況と、その保全生物学的な意味について	信濃毎日新聞	2018.6.8	
主幹 大森威宏	尾瀬総合学術調査発表会取材・コメント	朝日新聞(群馬版)、産経新聞(群馬版)、上毛新聞、福島民報	2019.1.11	
	群馬県植物レッドリスト(2018年部分改訂版)編集・公表	群馬県	2018.6	
主幹 (学芸員) 高槻祐司	分科会「SF 古代生物の部屋～聚楽シック・ワールド～」ゲスト「群馬の恐竜にまつわるエトセトラ」	第57回日本SF大会 ジュラコン(於 みなかみ町ホテル聚楽)	2018. 7.21-22	
	企画展「化石動物園」について	群馬テレビ	2018.7	
	企画展「化石動物園」などについて	ラジオ高崎 Air Place	2018.8.15	
	「リアルサイズ古生物図鑑古生代編」と「ながいながい骨の旅」の監修	朝日ぐんま	2018.10.19	
	化石について	ラジオ高崎 Air Place	2018.11.16	
	「リアルサイズ古生物図鑑古生代編」著者・監修者・編集者インタビュー	Youtube (埼玉県高校図書館フェスティバル)	2019.2.15 ～	
	「リアルサイズ古生物図鑑古生代編」著者・監修者・編集者インタビュー	埼玉県高校図書館フェスティバル Webpage	2019.2.15 ～	
主幹 (学芸員) 姉崎智子	H30年度ツキノワグマ分析結果	群馬県特定鳥獣適正管理検討委員会・クマ	2018.11	
	H29年度カモシカ検体分析結果	群馬県特定鳥獣適正管理検討委員会・カモシカ	2018.10	
	H29年度生物多様性モニタリング調査・哺乳類	群馬県自然環境調査研究会	2019.3	
	H28年度特定外来生物調査結果	群馬県自然環境課	2018.3	
主任 (学芸員) 菅原久誠	岩神の飛石と浅間山ー前橋から遙か浅間山を想うー	浅間山北麓ジオパーク通信 あさまびと(Vol.07 2018年冬号)	2018.12	

#### 4 職員の視察・研修会等への参加

氏名	事項	行き先	概要	年月日	備考
次長 岩井利信	研究大会	東京文化会館ほか	第 66 回全国博物館大会	2018 11.28~30	
	研究発表大会	豊橋市自然史博物館	全科協第 26 回研究発表大会	2019 2.14~15	
主幹 姉崎智子	調査	チュービングン大学、オランダ国立生物多様性センター、ナチュラリス、フランス国立自然史博物館	平成 30 年度全国科学博物館協会海外施設調査 「ヨーロッパの自然史系博物館における施設・展示更新と構成員の意識改革について」	2019.1.21-1.31	
主幹 静野 聰	視察	氷見市立博物館	教育普及活動における「地域回想法」を活用した高齢者向けプログラム開発・体験型キット開発に係る調査	2018.7.19	
補佐 武井郁也 主幹 静野 聰	視察	横浜市環境創造局 環境科学研究所	市民参加型事業「こども『いきいき』生物調査」の運営に係る調査	2018.12.5	
主幹 月田典寿	視察	目黒寄生虫館、国立科学博物館	夏の企画展調査、ボランティアの調査	2019.3.14	

#### 5 職員研修

館職員を対象に「職業人のための研修」を次の日程・内容で実施した。

① 平成 30 年 6 月 13 日 (水) 9:00~15:30

9:00~12:00 普通救命講習 場所：富岡甘楽広域消防本部

13:30~15:30 ファシリテーション研修 場所：富岡市体育館会議室

講師：柴田伊廣（文化庁文化財部記念物課 文部科学技官）

② 平成 30 年 12 月 18 日 (火) 10:00~11:00, 13:30~15:00

10:00~11:00 不審者対策 場所：群馬県立自然史博物館エントランス

講師：富岡警察署

13:30~15:00 アナウンスセミナー 場所：群馬県立自然史博物館会議室

講師：FM ぐんまアナウンサー　※清水　由美

## 6 観察受入

受入日	団体名	人數
4月13日	板橋区教育委員会（特別支援）	16
4月14日	板橋区教育委員会	43
4月19日	東久留米市教育委員会	17
4月20日	中野区教育委員会	30
4月21日	瑞穂町教育委員会	9
4月26日	練馬区教育委員会	40
5月8日	西東京市教育委員会	24
5月8日	清瀬市教育委員会	13
5月23日	文京区教育委員会	21
6月22日	大田区教育委員会①	12
7月8日	大田区教育委員会②	8
7月27日	板橋区教育委員会	28
8月22日	千代田区教育委員会	14
合計人數		275

## 7 教育普及事業利用者数実績一覧

事業名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
企画展記念講演・関連行事等	開催回数(回)	2	1	0	2	2	0	1	3	0	0	0	0	11
	参加者数(人)	105	63	0	89	79	0	110	163	0	0	0	0	609
ファミリー自然観察会	開催回数(回)	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5
	参加者数(人)	46	0	12	25	0	0	15	0	10	0	0	0	108
天体観望会	開催回数(回)	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	6
	参加者数(人)	0	59	0	24	0	0	57	32	0	0	0	26	198
自然史講座	開催回数(回)	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
	参加者数(人)	0	27	0	0	0	0	0	0	64	63	0	0	154
移動博物館	開催回数(回)	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	6
	参加者数(人)	0	0	668	1200	0	393	0	0	0	0	0	0	3420
ミュージアムスクール	開催回数(回)	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	参加者数(人)	0	8	8	9	8	7	9	6	7	7	9	9	87
サイエンス・サタデー	開催回数(回)	4	4	4	4	4	5	4	4	3	3	4	5	48
	参加者数(人)	125	131	226	193	196	176	122	164	118	117	198	191	1957
館内授業	開催回数(回)	0	9	8	5	0	7	22	8	0	0	1	0	60
	参加者数(人)	0	365	306	213	0	319	882	357	0	0	24	0	2466
定時解説	開催回数(回)	59	35	26	65	120	47	54	101	35	55	34	50	681
	参加者数(人)	208	140	90	233	608	180	154	470	148	167	92	173	2663
随時解説	開催回数(回)	1248	1614	978	1626	3195	1519	1577	1290	408	810	841	1606	16712
	参加者数(人)	3075	4031	2412	4174	7758	3750	3943	3126	1016	1940	1930	3738	40893
紙芝居	開催回数(回)	4	4	4	4	4	5	4	4	3	4	4	5	49
	参加者数(人)	47	92	91	96	136	159	97	57	30	68	92	81	1046
一般向けスポット	開催回数(回)	11	3	1	5	0	3	6	1	0	3	0	2	35
	参加者数(人)	84	11	16	49	0	16	41	8	0	17	0	11	253
博物館探検隊	開催回数(回)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30
ビデオ上映会	開催回数(回)	15	15	8	24	55	19	11	13	8	13	11	16	208
	参加者数(人)	216	131	32	399	2472	711	111	126	124	151	281	174	4928
ミュージアムナイトツアー	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	44	0	88
バックヤードツアー	開催回数(回)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	参加者数(人)	10	12	10	10	10	14	13	11	10	14	11	15	140
高校生学芸員	開催回数(回)	1	1	2	3	4	5	4	0	6	8	5	2	41
	参加者数(人)	4	9	2	5	4	7	4	0	6	10	9	11	71
出前授業	開催回数(回)	0	0	0	6	0	4	4	8	2	2	3	0	29
	参加者数(人)	0	0	0	204	0	1131	113	1034	8	53	79	0	2622
教職員実技研修会	開催回数(回)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	0	0	0	125	0	0	0	0	0	0	0	125
職場体験学習	開催回数(回)	0	4	0	0	3	4	6	0	0	3	0	0	20
	参加者数(人)	0	12	0	0	10	16	18	0	0	12	0	0	68
博物館の日	開催回数(回)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	303	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	303
大人の自然史俱楽部	開催回数(回)	0	0	0	3	0	3	2	1	0	0	0	0	9
	参加者数(人)	0	0	0	15	0	9	12	6	0	0	0	0	42
ホリデー・サイエンス	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	21	56
その他(館主催以外の活動)	開催回数(回)	1	4	1	3	4	2	6	8	0	2	1	0	32
	参加者数(人)	80	105	27	191	149	27	732	987	0	45	45	0	2388
		1347	1699	1036	1756	3394	1627	1706	1444	469	907	908	1692	17,985
		4000	5499	3900	7159	11555	6915	6433	6547	1541	2708	2849	5609	64,715

## 8 来館者アンケート集計結果

実施日：8/1, 2, 11, 15, 16 10/13 11/10 1/20  
回答数：215名（男 93名 女 112名 不明 10名）

住 所		誰と来たか		どんな目的で		
県 内	60%	一人で	3%	常設展	39%	
県 外	埼玉県	15%	友達と	10%	企画展	38%
	東京都	4%	家族で	85%	悪天候	1%
	神奈川県	2%	学校で	0%	何となく	11%
	長野県	4%	その他	2%	その他	11%
	栃木県	3%				
	千葉県	5%				
	その他	7%				

博物館について

何で知ったか			来館数		
新聞記事	2%	インターネット	34%	初めて	37%
新聞広告	2%	ポスター・チラシ	20%	2~4回	41%
テレビ	2%	口コミ	9%	5回以上	22%
ラジオ	0%	特になし	11%		
観光情報誌	10%	その他	10%		

当館の展示		館の施設		職員の対応	
よい	87%	よい	86%	よい	90%
ややよい	12%	ややよい	13%	ややよい	9%
ややよくない	1%	ややよくない	1%	ややよくない	1%
よくない	0%	よくない	0%	よくない	0%

## 9 来館者学校アンケート集計結果

アンケート提出校数 ~ 196 校

学校の所在	
県内	94
県外	102
・東京	62
・埼玉	28
・長野	10
・千葉	1
・その他	1

来館した学年					
小1	3.0%	中1	1.0%	特別支援	1.0%
小2	3.0%	中2	1.0%	不明	9.0%
小3	4.0%	中3	0.0%	小?	22.0%
小4	12.0%	高1	1.5%	中?	3.0%
小5	28.0%	高2	0.0%	高?	3.0%
小6	9.0%	高3	1.0%		

見学時間	
1時間未満	8%
1時間~1時間30分未満	24%
1時間30分~2時間未満	22%
2時間~2時間30分未満	15%
2時間30分~3時間未満	13%
3時間~3時間30分未満	8%
3時間30分~	7%
不明	3%

学校としての来館数	
初めて	11%
来館したことがある	89%
不明	0%
「初めて来館」した人の情報源	
前の学校で来館	23%
ほかの先生から聞いた	39%
個人的に来館	19%
ホームページ	0%
旅行会社から聞いた	15%
当館のチラシ	0%
その他	4%

来館の観点	
展示の内容（学習効果等）	52%
コースの設定（学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）	46%
その他	2%

来館の観点		
他にも目的場所がある	169	当館のみである 27
「他にも目的場所がある」学校の目的場所		
富岡製糸場	22%	長野方面 15% 棟名方面(棟名山, 棟名湖, 伊香保グリーン牧場) 17%
群馬サファリパーク	6%	富士重工業(太田) 7% こんにゃくパーク 3%
かみつけの里	3%	群馬県庁 3% その他 24%

今後の当館利用希望			
あり	100%	なし	0%

平成30年度集計

年月	開館日数	観覧者数 観覧者計	有料観覧者数									無料観覧者数													
			有料計	個人計	一般	大・高	小中		団体計	一般	大・高	小中	無料計	個人計	幼児	小中	65歳	身障者	その他	招待券	団体計	学校	社会教育	特別券	
H8年度	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384		4,809	3,692	760	357	48,438	39,840		3,931	11,864	1,232	22,813		8,598	6,478	2,120	0	
H9年度	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150		11,700	6,449	2,200	3,051	86,119	59,045		4,316	14,454	4,092	36,183		27,074	22,806	4,268	1,170	
H10年度	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704		11,543	4,872	2,112	4,559	77,993	55,216		3,380	12,856	3,445	35,535		22,777	20,533	2,244	0	
H11年度	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993		11,024	3,459	3,001	4,564	73,501	54,248		3,209	11,391	2,737	36,911		19,253	18,059	1,194	0	
H12年度	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426		友の会	4,982	2,862	2,120		104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041	26,428	25,831	597	1,497	
H13年度	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501		一般	5,297	3,389	1,908		102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346		329	
H14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632		171	0	5,255	3,209	2,046		103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	25,435		196
H15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493		219	0	5,495	4,428	1,067		110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723		279
H16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468		201	0	5,579	4,333	1,246		102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994		287
H17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630		165	0	4,976	3,589	1,387		96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860		171
H18年度計	293	186,629	62,612	56,048	54,364	1,531		153	0	6,564	4,852	1,712		103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293		174
H19年度計	292	161,628	60,907	54,693	52,893	1,630		170	0	6,214	5,561	653		100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691		129
H20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610		212	5	4,887	4,572	315		93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872		117
H21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295		297	2	4,434	3,413	1,021		99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912		122
H22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043		320	2	5,878	4,685	1,193		91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306		148
H23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483		275	3	7,451	6,183	1,268		108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818		163
H24年度計	290	182,038	73,349	67,598	64,107	3,059		431	1	6,251	4,676	1,575		107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495		205
H25年度計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632		307	4	4,652	3,148	1,504		100,873	74,294	28,497	28,571		2,419	11,074	3,733	26,579	26,579		155
H26年度計	289	167,549	66,363	61,604	58,271	2,921		405	7	4,759	3,033	1,726		101,027	73,742	28,006	27,286		2,730	10,591	5,129	27,285	27,285		159
H27年度計	290	188,680	77,413	71,165	67,290	3,428		434	13	6,248	4,537	1,711		111,060	81,219	33,343	28,636		3,387	11,226	4,627	29,841	29,841		207
H28年度計	289	212,022	89,279	84,464	80,378	3,539		546	1	4,815	3,285	1,530		122,471	96,308	39,895	35,050		3,684	12,826	4,853	26,163	26,163		272
H29年度計	287	209,136	89,518	83,465	79,674	3,359		429	3	6,053	4,323	1,730		122,351	94,087	38,297	32,874		3,729	12,124	4,070	28,264	28,264		258
H30年4月	26	13,420	6,741	6,635	6,420	209		6	0	106	27	79		6,644	6,464	2,709	2,592		223	541	399	180	180		35
5月	27	22,225	9,915	9,424	9,021	383		20	0	491	446	45		12,293	8,750	3,903	3,079		295	936	537	3,543	3,543		17
6月	19	13,272	4,890	4,577	4,425	128		24	0	313	204	109		8,358	4,446	2,186	1,227		201	809	23	3,912	3,912		24
7月	26	26,836	19,819	10,129	9,734	345		50	0	690	564	126		15,974	11,407	4,807	4,411		412	1,368	409	4,567	4,567		43
8月	31	43,359	21,238	19,947	18,897	995		55	0	1,291	1,104	187		22,079	21,421	8,647	9,192		889	1,497	1,196	658	658		42
9月	26	20,349	9,370	9,193	8,785	364		44	0	177	113	64		10,944	8,543	4,096	2,950		387	738	372	2,401	2,401		35
10月	26	23,647	5,505	5,050	4,852	160		38	0	455	371	84		18,120	10,169	2,998	1,478		372	5,084	237	7,951	7,951		22
11月	26	14,992	7,251	6,073	5,825	206		42	0	1,178	912	266		7,712	6,376	2,919	2,015		290	604	548	1,336	1,336		29
12月	14	4,992	2,390	2,332	2,232	85		15	0	58	58	0		2,591	2,538	1,125	855		158	167	233	53	53		11
H31年1月	22	10,529	5,768	5,713	5,463	187		63	0	55	53	2		4,732	4,723	2,495	1,542		209	361	116	9	9		29
2月	21	10,757	4,505	4,505	4,245	201		58	1	0	0	0		6,232	6,131	2,209	1,392		137	2,054	339	101	101		20
3月	26	15,661	7,955	7,650	7,129	448		73	0	305	137	168		7,681	7,671	3,805	2,775		348	562	181	10	10		25
H30年度計	290	220,039	96,347	91,228	87,028	3,711		488	1	5,119	3,989	1,130		123,360	98,639	41,899	33,508		3,921	14,721	4,590	24,721	24,721		332
合計	6,595	3,922,063	1,625,873	1,481,888	1,342,941	51,451		5,223	42	143,985	96,539	34,915		2,292,811	1,701,083	549,725	583,466		54,540	367,788	76,157	591,728	581,305		6,370

移動博物館観覧者数		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
10年度		979	3,868	20年度	1,362	6,390	30年度
11年度		1,556	2,421	21年度	2,793	2,171	
12年度		1,646	3,416	22年度	2,979	2,777	
13年度		1,719	2,585	23年度	6,121	2,609	
14年度		3,240	1,959	24年度	2,004	4,224	累計
							58,239

※ 平成30年度から入館者数の表記を観覧者数に変更

観覧者数一覧(4月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
4/1	日	1,050	544	544	513	26	0	0	0	0	0	504	504	189	243	18	23	31	0	0	2	2
2月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3火		549	233	232	210	22	0	0	1	1	0	315	315	93	165	12	20	25	0	0	1	1
4水		433	182	182	173	6	0	0	0	0	0	249	249	99	103	10	21	16	0	0	2	2
5木		358	153	149	147	2	0	0	4	4	0	205	205	71	109	6	13	6	0	0	0	0
6金		325	137	137	134	3	0	0	0	0	0	188	188	67	90	7	19	5	0	0	0	0
7土		736	385	385	373	12	0	0	0	0	0	351	351	144	152	16	20	19	0	0	0	0
8日		919	492	492	486	6	0	0	0	0	0	418	418	170	198	11	15	24	0	0	9	9
9月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10火		55	34	34	34	0	0	0	0	0	0	20	20	11	0	0	0	9	0	0	1	1
11水		66	40	38	37	1	0	0	2	2	0	26	26	14	2	5	4	1	0	0	0	0
12木		46	31	31	27	4	0	0	0	0	0	15	15	7	3	2	1	2	0	0	0	0
13金		108	28	28	28	0	0	0	0	0	0	79	79	13	1	2	62	1	0	0	1	1
14土		738	382	382	369	12	1	0	0	0	0	353	353	183	100	20	25	25	0	0	3	3
15日		1,375	705	705	689	16	0	0	0	0	0	669	669	293	283	17	30	46	0	0	1	1
16月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17火		152	131	52	49	2	1	0	79	0	79	21	21	10	0	1	6	4	0	0	0	0
18水		116	48	48	48	0	0	0	0	0	0	66	66	40	1	4	18	5	0	0	2	2
19木		198	22	22	22	0	0	0	0	0	0	175	49	7	0	5	38	1	126	126	1	1
20金		90	39	39	39	0	0	0	0	0	0	51	51	10	0	2	38	3	0	0	0	0
21土		602	290	290	284	5	1	0	0	0	0	311	311	126	115	9	39	22	0	0	1	1
22日		979	496	476	463	9	1	0	20	20	0	483	483	227	199	17	16	24	0	0	0	0
23月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24火		94	63	63	62	0	1	0	0	0	0	29	29	14	1	2	5	7	0	0	2	2
25水		147	53	53	53	0	0	0	0	0	0	94	40	13	2	3	13	9	54	54	0	0
26木		114	40	40	40	0	0	0	0	0	0	74	74	10	2	4	56	2	0	0	0	0
27金		46	24	24	21	2	1	0	0	0	0	22	22	6	1	5	7	3	0	0	0	0
28土		757	386	386	373	13	0	0	0	0	0	366	366	167	150	11	13	25	0	0	5	5
祝29日		1,819	1,020	1,020	984	36	0	0	0	0	0	796	796	371	342	20	28	37	0	0	3	3
30月		1,548	783	783	751	32	0	0	0	0	0	764	764	354	330	14	19	47	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13,420	6,741	6,635	6,420	209	6	0	106	27	79	6,644	6,464	2,709	2,592	223	541	399	180	180	35	35

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平日	16	2,897	1,258	1,172	1,127	42	3	0	86	7	79	1,629	1,449	485	480	70	315	99	180	180	10	10
土日祝	10	10,523	5,483	5,463	5,293	167	3	0	20	20	0	5,015	5,015	2,224	2,112	153	226	300	0	0	25	25
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	13,420	6,741	6,635	6,420	209	6	0	106	27	79	6,644	6,464	2,709	2,592	223	541	399	180	180	35	35

年間TOTAL(平成30年度)

平日	16	2,897	1,258	1,172	1,127	42	3	0	86	7	79	1,629	1,449	485	480	70	315	99	180	180	10	10
土日祝	10	10,523	5,483	5,463	5,293	167	3	0	20	20	0	5,015	5,015	2,224	2,112	153	226	300	0	0	25	25
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	13,420	6,741	6,635	6,420	209	6	0	106	27	79	6,644	6,464	2,709	2,592	223	541	399	180	180	35	35

開館以来の累計(開館日数 6331日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	3,715,444	1,536,269	1,397,295	138,972	2,176,095	1,608,908	567,187	6,073
平均	587	243	221	22	344	254	90	

観覧者数一覧(5月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
5/1	火	270	184	182	176	6	0	0	2	2	0	86	86	52	18	3	8	5	0	0	0	0
2	水	946	214	214	203	10	1	0	0	0	0	731	167	96	20	2	33	16	564	564	1	1
祝3	木	2,805	1,504	1,504	1,445	57	2	0	0	0	0	1,298	1,298	563	569	45	64	57	0	0	3	3
祝4	金	3,617	1,991	1,991	1,896	94	1	0	0	0	0	1,626	1,626	669	787	42	49	79	0	0	0	0
祝5	土	2,472	1,403	1,403	1,348	54	1	0	0	0	0	1,069	1,069	449	503	26	29	62	0	0	0	0
6	日	1,254	664	664	620	40	4	0	0	0	0	587	587	267	210	19	26	65	0	0	3	3
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	145	52	52	52	0	0	0	0	0	0	93	93	32	2	0	44	15	0	0	0	0
9	水	266	63	63	61	2	0	0	0	0	0	201	92	49	1	6	22	14	109	109	2	2
10	木	75	37	34	34	0	0	0	3	3	0	38	38	21	2	3	5	7	0	0	0	0
11	金	464	62	57	57	0	0	0	0	5	5	402	122	56	3	3	47	13	280	280	0	0
12	土	842	332	332	314	16	2	0	0	0	0	509	509	155	160	46	58	90	0	0	1	1
13	日	1,314	626	576	545	28	3	0	50	25	25	686	686	250	273	13	42	108	0	0	2	2
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	297	69	69	69	0	0	0	0	0	0	228	34	10	1	4	19	0	194	194	0	0
16	水	654	67	67	66	1	0	0	0	0	0	587	44	5	0	4	35	0	543	543	0	0
17	木	229	140	51	49	2	0	0	89	69	20	89	89	76	0	1	12	0	0	0	0	0
18	金	546	130	59	58	1	0	0	71	71	0	416	118	75	5	0	36	2	298	298	0	0
19	土	660	373	373	363	10	0	0	0	0	0	286	286	129	108	13	36	0	0	1	1	1
20	日	1,007	505	505	491	14	0	0	0	0	0	502	392	187	167	13	25	0	110	110	0	0
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	366	130	45	44	1	0	0	85	85	0	236	171	134	1	1	34	1	65	65	0	0
23	水	703	161	88	81	6	1	0	73	73	0	541	193	103	1	4	85	0	348	348	1	1
24	木	479	49	49	48	1	0	0	0	0	0	429	96	14	0	3	79	0	333	333	1	1
25	金	391	39	38	36	2	0	0	1	1	0	351	58	28	0	2	28	0	293	293	1	1
26	土	664	357	357	337	18	2	0	0	0	0	306	306	145	106	23	30	2	0	0	1	1
27	日	869	490	490	476	12	2	0	0	0	0	379	379	205	140	11	22	1	0	0	0	0
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	222	97	49	45	3	1	0	48	48	0	125	31	13	1	3	14	0	94	94	0	0
30	水	439	121	57	54	3	0	0	64	64	0	318	52	10	0	4	38	0	266	266	0	0
31	木	229	55	55	53	2	0	0	0	0	0	174	128	110	1	1	16	0	46	46	0	0
		22,225	9,915	9,424	9,021	383	20	0	491	446	45	12,293	8,750	3,903	3,079	295	936	537	3,543	3,543	17	17

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	17	6,721	1,670	1,229	1,186	40	3	0	441	421	20	5,045	1,612	884	56	44	555	73	3,433	3,433	6	6
土日祝	10	15,504	8,245	8,195	7,835	343	17	0	50	25	25	7,248	7,138	3,019	3,023	251	381	464	110	110	11	11
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	27	22,225	9,915	9,424	9,021	383	20	0	491	446	45	12,293	8,750	3,903	3,079	295	936	537	3,543	3,543	17	17

年間TOTAL(平成30年度)	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
平日	33	9,618	2,928	2,401	2,313	82	6	0	527	428	99	6,674	3,061	1,369	536	114	870	172	3,613	3,613	16	16
土日祝	20	26,027	13,728	13,658	13,128	510	20	0	70	45	25	12,263	12,153	5,243	5,135	404	607	764	110	110	36	36
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	53	35,645	16,656	16,059	15,441	592	26	0	597	473	124	18,937	15,214	6,612	5,671	518	1,477	936	3,723	3,723	52	52

開館以来の累計(開館日数 6358日)	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	3,737,669	1,546,184	1,406,719	139,463	2,188,388	1,617,658	570,730	6,090
平均	588	243	221	22	344	254	90	

観覧者数一覧(6月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
6/1	金	419	46	46	44	2	0	0	0	0	0	373	40	10	1	1	28	0	333	333	0	0
2	土	848	372	372	351	18	3	0	0	0	0	476	311	144	107	10	49	1	165	165	0	0
3	日	1,046	536	536	522	13	1	0	0	0	0	509	475	257	168	17	33	0	34	34	1	1
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	200	65	65	63	0	2	0	0	0	0	135	27	15	1	2	9	0	108	108	0	0
6	水	593	106	79	77	2	0	0	27	27	0	487	136	82	1	3	50	0	351	351	0	0
7	木	205	54	54	49	5	0	0	0	0	0	150	36	12	0	6	17	1	114	114	1	1
8	金	344	76	76	70	5	1	0	0	0	0	267	70	17	4	22	27	0	197	197	1	1
9	土	842	387	387	377	7	3	0	0	0	0	453	352	164	130	14	39	5	101	101	2	2
10	日	1,647	974	865	829	32	4	0	109	0	109	670	670	382	235	23	29	1	0	0	3	3
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	水	1,220	210	88	82	5	1	0	122	122	0	1,009	304	184	3	3	114	0	705	705	1	1
21	木	81	58	58	56	2	0	0	0	0	0	22	22	17	0	3	2	0	0	0	1	1
22	金	296	60	60	57	3	0	0	0	0	0	236	51	8	3	2	38	0	185	185	0	0
23	土	1,160	567	513	501	8	4	0	54	54	0	588	496	260	177	19	39	1	92	92	5	5
24	日	1,328	714	714	696	14	4	0	0	0	0	607	607	321	222	20	42	2	0	0	7	7
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	131	37	37	37	0	0	0	0	0	0	94	94	13	0	28	53	0	0	0	0	0
27	水	758	61	61	57	4	0	0	0	0	0	696	119	39	6	2	66	6	577	577	1	1
28	木	213	63	62	62	0	0	0	1	1	0	149	31	11	0	0	20	0	118	118	1	1
29	金	747	49	49	49	0	0	0	0	0	0	698	125	30	0	1	94	0	573	573	0	0
30	土	1,194	455	455	446	8	1	0	0	0	0	739	480	220	169	25	80	6	259	259	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13,272	4,890	4,577	4,425	128	24	0	313	204	109	8,358	4,446	2,186	1,227	201	809	23	3,912	3,912	24	24

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平日	12	5,207	885	735	703	28	4	0	150	150	0	4,316	1,055	438	19	73	518	7	3,261	3,261	6	6
土日祝	7	8,065	4,005	3,842	3,722	100	20	0	163	54	109	4,042	3,391	1,748	1,208	128	291	16	651	651	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	13,272	4,890	4,577	4,425	128	24	0	313	204	109	8,358	4,446	2,186	1,227	201	809	23	3,912	3,912	24	24

年間TOTAL(平成30年度)

平日	45	14,825	3,813	3,136	3,016	110	10	0	677	578	99	10,990	4,116	1,807	555	187	1,388	179	6,874	6,874	22	22	
土日祝	27	34,092	17,733	17,500	16,850	610	40	0	233	99	134	16,305	15,544	6,991	6,343	532	898	780	761	54	54		
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	72	48,917	21,546	20,636	19,866	720	50	0	910	677	233	27,295	19,660	8,798	6,898	719	2,286	959	7,635	7,635	76	76	

開館以来の累計(開館日数 6377日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	学校	特別券計
累計	3,750,941	1,551,074	1,411,296	139,776	2,196,746	1,622,104		574,642	6,114
平均	588	243	221	22	344	254		901	

観覧者数一覧(7月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
7/1	日	1,229	690	723	539	12	1	0	0	0	0	538	516	284	184	14	30	4	22	22	1	1	
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	火	904	56	848	843	0	0	0	2	2	0	848	69	16	0	1	52	0	779	779	0	0	
4	水	249	43	206	205	0	0	0	1	1	0	205	81	58	1	0	22	0	124	124	1	1	
5	木	490	116	379	373	0	2	0	46	0	46	374	127	57	3	19	47	1	247	247	0	0	
6	金	275	85	190	183	4	0	0	0	0	0	189	47	18	1	4	20	4	142	142	1	1	
7	土	1,060	499	693	563	16	3	0	25	25	0	560	401	217	130	19	35	0	159	159	1	1	
8	日	1,316	692	883	622	20	2	0	72	72	0	620	620	318	261	9	28	4	0	0	4	4	
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	火	176	73	104	103	4	0	0	2	2	0	103	29	21	1	1	6	0	74	74	0	0	
11	水	335	67	270	269	3	1	0	1	1	0	268	59	20	1	15	23	0	209	209	0	0	
12	木	322	93	232	229	1	0	0	38	0	38	229	68	37	3	1	27	0	161	161	0	0	
13	金	441	53	388	383	2	0	0	0	0	0	388	156	110	0	3	43	0	232	232	0	0	
14	土	1,476	616	1,073	860	20	5	0	24	23	1	855	633	265	213	29	106	20	222	222	5	5	
15	日	2,862	1,562	12,126	1,307	51	8	0	120	119	1	1,299	1,299	589	539	40	50	81	0	0	1	1	
祝	16	月	2,255	1,109	1,648	1,143	36	4	0	42	39	3	1,142	1,142	506	502	29	50	55	0	0	4	4
	17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	18	水	114	81	36	30	5	0	0	5	5	0	30	30	13	6	4	4	3	0	0	3	3
	19	木	315	76	248	237	3	0	0	2	2	0	237	94	25	11	12	42	4	143	143	2	2
	20	金	399	79	327	313	1	0	0	9	9	0	316	220	146	11	14	44	5	96	96	4	4
	21	土	1,045	522	5,863	523	19	6	0	20	19	1	520	520	177	197	14	113	19	0	0	3	3
	22	日	1,760	852	1,234	911	21	4	0	59	59	0	907	784	348	323	27	38	48	123	123	1	1
	23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	24	火	1,071	257	933	814	5	2	0	31	30	1	812	458	226	119	10	92	11	354	354	2	2
	25	水	1,453	266	1,312	1,183	8	1	0	15	14	1	1,187	381	121	124	11	112	13	806	806	0	0
	26	木	994	288	1,214	703	8	0	0	90	57	33	706	706	96	508	22	66	14	0	0	0	0
	27	金	805	230	730	574	5	0	0	12	12	0	574	433	129	156	34	104	10	141	141	1	1
	28	土	2,100	854	1,694	1,247	31	4	0	27	27	0	1,243	889	304	447	26	83	29	354	354	3	3
	29	日	2,536	1,228	1,756	1,307	54	5	0	27	27	0	1,302	1,168	563	449	37	54	65	134	134	6	6
	30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	31	火	854	332	745	524	16	2	0	20	19	1	522	477	143	221	17	77	19	45	45	0	0
			26,836	10,819	35,855	16,024	345	50	0	690	564	126	15,974	11,407	4,807	4,411	412	1,368	409	4,567	4,567	43	43

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平 日	16	9,197	2,195	1,921	1,843	65	8	0	274	154	120	6,988	3,435	1,236	1,166	168	781	84	3,553	3,553	14	14
土日祝	10	17,639	8,624	8,208	7,883	280	42	0	416	410	6	8,986	7,972	3,571	3,245	244	587	325	1,014	1,014	29	29
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	26,836	10,819	10,129	9,734	345	50	0	690	564	126	15,974	11,407	4,807	4,411	412	1,368	409	4,567	4,567	43	43

年間TOTAL(平成30年度)	平 日	61	24,022	6,008	5,057	4,864	175	18	0	951	732	219	17,978	7,551	3,043	1,721	355	2,169	263	10,427	10,427	36	36
	土日祝	37	51,731	26,357	25,708	24,733	890	82	0	649	509	140	25,291	23,516	10,562	9,588	776	1,485	1,105	1,775	1,775	83	83
	無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	98	75,753	32,365	30,765	29,600	1,065	100	0	1,600	1,241	359	43,269	31,067	13,605	11,309	1,131	3,654	1,368	12,202	12,202	119	119

開館以来の累計(開館日数 6403日)	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	学校	特別券計
	累 計	3,777,777	1,561,893	1,421,425	140,466	2,212,720	1,633,511	579,209	6,157
	平均	590	244	222	22	346	255	90	

観覧者数一覧(8月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
8/1	水	691	305	298	279	18	1	0	7	7	0	384	384	132	180	10	44	18	0	0	2	2	
2	木	766	284	266	251	15	0	0	18	17	1	480	480	128	163	19	147	23	0	0	2	2	
3	金	848	352	336	320	16	0	0	16	16	0	495	377	153	175	9	35	5	118	118	1	1	
4	土	1,244	615	590	558	28	4	0	25	23	2	628	628	237	305	30	20	36	0	0	1	1	
5	日	2,136	1,085	1,007	968	35	4	0	78	75	3	1,047	1,047	438	486	29	35	59	0	0	4	4	
6	月	648	357	241	230	11	0	0	116	24	92	291	291	107	124	14	32	14	0	0	0	0	
7	火	1,200	582	541	512	29	0	0	41	37	4	616	616	285	242	35	38	16	0	0	2	2	
8	水	1,093	442	408	380	26	2	0	34	34	0	651	651	214	245	56	122	14	0	0	0	0	
9	木	1,081	488	459	426	33	0	0	29	26	3	592	592	234	220	18	82	38	0	0	1	1	
10	金	962	435	414	387	25	2	0	21	21	0	527	527	166	239	43	55	24	0	0	0	0	
祝	11	土	2,235	1,145	1,118	1,070	45	3	0	27	25	2	1,089	1,089	465	486	23	30	85	0	0	1	1
	12	日	3,180	1,731	1,669	1,616	51	2	0	62	61	1	1,449	1,449	629	675	39	65	41	0	0	0	0
	13	月	2,267	1,208	1,145	1,104	41	0	0	63	59	4	1,058	1,058	443	492	35	42	46	0	0	1	1
	14	火	3,195	1,760	1,681	1,597	81	3	0	79	75	4	1,432	1,432	719	585	30	33	65	0	0	3	3
	15	水	2,916	1,549	1,471	1,380	87	4	0	78	77	1	1,364	1,364	615	598	48	43	60	0	0	3	3
	16	木	2,437	1,295	1,248	1,177	70	1	0	47	47	0	1,139	1,139	489	514	41	48	49	0	0	3	3
	17	金	1,720	847	798	763	34	1	0	49	49	0	873	873	347	415	32	44	35	0	0	0	0
	18	土	1,726	903	851	809	41	1	0	52	52	0	820	820	353	353	25	29	60	0	0	3	3
	19	日	2,096	1,109	1,036	989	38	9	0	73	70	3	986	986	453	399	46	34	54	0	0	1	1
	20	月	734	315	286	276	9	1	0	29	28	1	419	414	99	156	65	75	19	5	5	0	0
	21	火	978	409	366	336	29	1	0	43	40	3	569	569	145	324	27	43	30	0	0	0	0
	22	水	1,081	419	389	358	31	0	0	30	27	3	659	659	201	342	27	70	19	0	0	3	3
	23	木	814	370	289	262	27	0	0	81	23	58	444	424	197	101	43	58	25	20	20	0	0
	24	金	1,122	370	358	334	22	2	0	12	12	0	751	557	158	222	46	107	24	194	194	1	1
	25	土	1,474	706	679	650	25	4	0	27	27	0	766	766	352	269	21	25	99	0	0	2	2
	26	日	2,018	998	944	911	27	6	0	54	54	0	1,018	1,018	420	416	25	31	126	0	0	2	2
	27	月	550	199	177	168	9	0	0	22	22	0	351	218	83	87	5	21	22	133	133	0	0
	28	火	705	326	295	265	30	0	0	31	30	1	377	312	105	126	23	25	33	65	65	2	2
	29	水	508	246	231	206	25	0	0	15	15	0	261	261	136	76	11	21	17	0	0	1	1
	30	木	558	197	182	161	20	1	0	15	15	0	359	236	78	106	8	20	24	123	123	2	2
	31	金	376	191	174	154	17	3	0	17	16	1	184	184	66	71	6	25	16	0	0	1	1
			43,359	21,238	19,947	18,897	995	55	0	1,291	1,104	187	22,079	21,421	8,647	9,192	889	1,497	1,196	658	658	42	42

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平日	23	27,250	12,946	12,053	11,326	705	22	0	893	717	176	14,276	13,618	5,300	5,803	651	1,228	636	658	658	28	28
土日祝	8	16,109	8,292	7,894	7,571	290	33	0	398	387	11	7,803	7,803	3,347	3,389	238	269	560	0	0	14	14
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	31	43,359	21,238	19,947	18,897	995	55	0	1,291	1,104	187	22,079	21,421	8,647	9,192	889	1,497	1,196	658	658	42	42
<b>年間TOTAL(平成30年度)</b>																						
平日	84	51,272	18,954	17,110	16,190	880	40	0	1,844	1,449	395	32,254	21,169	8,343	7,524	1,006	3,397	899	11,085	11,085	64	64
土日祝	45	67,840	34,649	33,602	32,307	1,180	115	0	1,047	896	151	33,094	31,319	13,909	12,977	1,014	1,754	1,665	1,775	1,775	97	97
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	129	119,112	53,603	50,712	48,497	2,060	155	0	2,891	2,345	546	65,348	52,488	22,252	20,501	2,020	5,151	2,564	12,860	12,860	161	161

開館以来の累計(開館日数 6434日)

観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	3,821,136	1,583,131	1,441,372	141,757	2,234,799	1,654,932	6,199
平均	594	246	224	22	347	257	90

観覧者数一覧(9月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
9/1	土	1,664	740	700	663	31	6	0	40	39	1	919	919	369	305	68	56	122	0	0	5	5
2	日	2,447	1,149	1,111	1,069	35	7	0	38	35	3	1,291	1,291	577	451	23	26	214	0	0	7	7
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	566	81	81	67	14	0	0	0	0	0	484	70	17	5	2	46	0	414	414	1	1
5	水	380	65	65	51	13	1	0	0	0	0	315	107	45	1	4	53	4	208	208	0	0
6	木	124	61	61	46	15	0	0	0	0	0	63	63	30	0	16	17	0	0	0	0	0
7	金	391	60	60	53	7	0	0	0	0	0	331	94	37	5	3	48	0	237	237	0	0
8	土	872	475	475	458	13	4	0	0	0	0	396	396	227	134	16	19	0	0	0	1	1
9	日	1,264	655	655	629	24	2	0	0	0	0	605	572	276	258	14	21	3	33	33	4	4
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	248	82	82	70	12	0	0	0	0	0	164	101	82	1	2	16	0	63	63	2	2
12	水	293	113	70	61	9	0	0	43	0	43	178	50	26	2	2	19	1	128	128	2	2
13	木	333	92	61	56	5	0	0	31	31	0	241	36	13	0	1	22	0	205	205	0	0
14	金	283	84	84	80	4	0	0	0	0	0	199	74	46	3	3	20	2	125	125	0	0
15	土	1,552	704	683	661	20	2	0	21	4	17	845	587	295	215	24	51	2	258	258	3	3
16	日	1,731	997	997	966	28	3	0	0	0	0	734	734	369	306	27	27	5	0	0	0	0
祝17	月	1,245	663	663	644	17	2	0	0	0	0	582	582	286	267	11	14	4	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	水	117	54	54	52	1	1	0	0	0	0	63	48	29	0	2	16	1	15	15	0	0
20	木	112	59	59	54	5	0	0	0	0	0	52	52	10	1	26	15	0	0	0	1	1
21	金	456	104	104	95	9	0	0	0	0	0	352	135	45	13	29	46	2	217	217	0	0
22	土	812	446	446	434	9	3	0	0	0	0	365	365	187	135	14	20	9	0	0	1	1
祝23	日	1,479	853	853	813	35	5	0	0	0	0	626	626	349	248	15	12	2	0	0	0	0
振24	月	1,162	618	618	604	11	3	0	0	0	0	544	540	285	228	12	15	0	4	4	0	0
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	水	296	100	96	80	14	2	0	4	4	0	196	56	15	1	14	25	1	140	140	0	0
27	木	460	93	93	83	10	0	0	0	0	0	364	149	49	2	29	69	0	215	215	3	3
28	金	260	58	58	54	3	1	0	0	0	0	202	107	15	70	1	21	0	95	95	0	0
29	土	918	485	485	468	15	2	0	0	0	0	430	407	213	144	19	31	0	23	23	3	3
30	日	884	479	479	474	5	0	0	0	0	0	403	382	204	155	10	13	0	21	21	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		20,349	9,370	9,193	8,785	364	44	0	177	113	64	10,944	8,543	4,096	2,950	387	738	372	2,401	2,401	35	35

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<u>月TOTAL</u>																						
平日	14	4,319	1,106	1,028	902	121	5	0	78	35	43	3,204	1,142	459	104	134	434	11	2,062	2,062	9	9
土日祝	12	16,030	8,264	8,165	7,883	243	39	0	99	78	21	7,740	7,401	3,637	2,846	253	304	361	339	339	26	26
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	26	20,349	9,370	9,193	8,785	364	44	0	177	113	64	10,944	8,543	4,096	2,950	387	738	372	2,401	2,401	35	35

年間TOTAL(平成30年度)	平日	98	55,591	20,060	18,138	17,092	1,001	45	0	1,922	1,484	438	35,458	22,311	8,802	7,628	1,140	3,831	910	13,147	13,147	73	73
	土日祝	57	83,870	42,913	41,767	40,190	1,423	154	0	1,146	974	172	40,834	38,720	17,546	15,823	1,267	2,058	2,026	2,114	2,114	123	123
	無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	155	139,461	62,973	59,905	57,282	2,424	199	0	3,068	2,458	610	76,292	61,031	26,348	23,451	2,407	5,889	2,936	15,261	15,261	196	196

開館以来の累計(開館日数 6460日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	3,841,485	1,592,501	1,450,565	141,934	2,245,743	1,663,475	582,268	6,234
平均	595	247	225	22	348	258	90	

観覧者数一覧(10月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
10/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 火		492	35	35	34	1	0	0	0	0	0	457	135	13	1	52	67	2	322	322	0	0
3 水		538	61	61	60	1	0	0	0	0	0	477	73	15	0	2	56	0	404	404	0	0
4 木		448	75	54	54	0	0	0	21	21	0	372	38	10	0	1	27	0	334	334	1	1
5 金		872	156	65	65	0	0	0	91	91	0	716	222	144	9	4	65	0	494	494	0	0
6 土		653	314	314	296	18	0	0	0	0	0	337	337	125	96	18	84	14	0	0	2	2
7 日		1,516	827	827	793	25	9	0	0	0	0	688	688	301	294	28	31	34	0	0	1	1
祝		1,439	742	715	690	16	9	0	27	27	0	691	691	310	287	26	26	42	0	0	6	6
8 火		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9 水		621	60	60	60	0	0	0	0	0	0	560	108	21	7	11	85	4	452	452	1	1
10 木		654	76	75	68	7	0	0	1	1	0	577	240	142	4	21	69	4	337	337	1	1
11 金		1,652	138	53	52	1	0	0	85	1	84	1,513	308	127	3	38	138	2	1,205	1,205	1	1
13 土		819	355	355	324	26	5	0	0	0	0	463	353	151	118	21	46	17	110	110	1	1
14 日		1,068	522	522	504	17	1	0	0	0	0	544	544	222	230	29	27	36	0	0	2	2
15 月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16 火		469	67	67	66	1	0	0	0	0	0	401	74	10	4	8	50	2	327	327	1	1
17 水		738	140	78	76	2	0	0	62	62	0	598	150	100	0	2	48	0	448	448	0	0
18 木		922	88	64	63	0	1	0	24	24	0	834	146	55	12	1	75	3	688	688	0	0
19 金		1,174	124	78	74	4	0	0	46	46	0	1,049	447	318	3	23	97	6	602	602	1	1
20 土		956	369	369	353	12	4	0	0	0	0	585	355	196	89	11	43	16	230	230	2	2
21 日		882	472	472	452	14	6	0	0	0	0	409	409	196	164	12	15	22	0	0	1	1
22 月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23 火		453	84	44	44	0	0	0	40	40	0	369	44	13	1	2	24	4	325	325	0	0
24 水		698	65	65	60	4	1	0	0	0	0	633	244	164	3	14	59	4	389	389	0	0
25 木		563	31	31	31	0	0	0	0	0	0	532	66	8	3	3	49	3	466	466	0	0
26 金		707	78	75	73	2	0	0	3	3	0	628	88	31	0	3	53	1	540	540	1	1
27 土		1,057	521	466	458	6	2	0	55	55	0	536	474	230	149	35	42	18	62	62	0	0
28 日		3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	3,790	0	0	0	0	0
29 月		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30 火		98	54	54	52	2	0	0	0	0	0	44	24	9	0	4	10	1	20	20	0	0
31 水		368	51	51	50	1	0	0	0	0	0	317	121	87	1	3	28	2	196	196	0	0
		23,647	5,505	5,050	4,852	160	38	0	455	371	84	18,120	10,169	2,998	1,478	372	5,084	237	7,951	7,951	22	22

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平 日	17	11,467	1,383	1,010	982	26	2	0	373	289	84	10,077	2,528	1,267	51	192	980	38	7,549	7,549	7	7
土日祝	8	8,390	4,122	4,040	3,870	134	36	0	82	82	0	4,253	3,851	1,731	1,427	180	314	199	402	402	15	15
無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	0	0	0	0	
合 計	26	23,647	5,505	5,050	4,852	160	38	0	455	371	84	14,330	6,379	2,998	1,478	372	5,084	237	7,951	7,951	22	22
<b>年間TOTAL(平成30年度)</b>																						
平 日	115	67,058	21,443	19,148	18,074	1,027	47	0	2,295	1,773	522	45,535	24,839	10,069	7,679	1,332	4,811	948	20,696	20,696	80	80
土日祝	65	92,260	47,035	45,807	44,060	1,557	190	0	1,228	1,056	172	45,087	42,571	19,277	17,250	1,447	2,372	2,225	2,516	2,516	138	138
無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	3,790	0	0	0	0	
合 計	181	163,108	68,478	64,955	62,134	2,584	237	0	3,523	2,829	694	94,412	71,200	29,346	24,929	2,779	10,973	3,173	23,212	23,212	218	218

開館以来の累計(開館日数 6486日)

観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累 計	3,865,132	1,598,006	1,455,615	142,389	2,263,863	1,673,644	590,219
平均	596	246	224	22	349	258	91

観覧者数一覧(11月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
11/1	木	356	109	53	51	2	0	0	56	0	56	247	51	11	6	7	24	3	196	196	0	0
2	金	483	90	85	79	6	0	0	5	5	0	392	137	53	11	22	41	10	255	255	1	1
祝3	土	1,047	543	497	472	18	7	0	46	46	0	503	503	220	193	20	26	44	0	0	1	1
4	日	1,073	587	509	484	20	5	0	78	78	0	484	484	196	189	20	22	57	0	0	2	2
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	224	150	78	73	2	3	0	72	72	0	74	69	46	4	2	13	4	5	5	0	0
7	水	204	98	49	43	0	1	0	49	49	0	104	39	15	0	0	22	2	65	65	2	2
8	木	178	122	59	59	0	0	0	63	63	0	56	56	34	2	6	12	2	0	0	0	0
9	金	607	132	96	73	20	0	0	36	36	0	474	126	76	5	3	40	2	348	348	1	1
10	土	731	400	371	360	9	2	0	29	29	0	330	330	149	128	14	11	28	0	0	1	1
11	日	1,093	624	499	473	18	3	0	125	125	0	466	466	225	164	17	20	40	0	0	3	3
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	257	120	83	79	3	1	0	37	37	0	137	88	25	10	2	45	6	49	49	0	0
14	水	569	240	240	233	7	0	0	0	0	0	327	176	70	77	5	13	11	151	151	2	2
15	木	308	173	96	94	2	0	0	77	21	56	135	111	53	8	5	34	11	24	24	0	0
16	金	312	95	93	89	3	1	0	2	2	0	217	217	61	4	54	93	5	0	0	0	0
17	土	802	454	374	353	17	4	0	80	80	0	347	338	135	139	21	22	21	9	9	1	1
18	日	1,008	503	483	467	14	2	0	20	20	0	501	501	213	200	13	24	51	0	0	4	4
19	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	火	158	67	67	65	2	0	0	0	0	0	88	28	11	0	3	8	6	60	60	3	3
21	水	155	101	74	71	2	1	0	27	3	24	54	54	18	2	1	28	5	0	0	0	0
22	木	192	138	94	92	2	0	0	44	0	44	53	53	25	6	4	4	14	0	0	1	1
祝23	金	1,275	624	624	599	22	3	0	0	0	0	647	647	284	262	15	14	72	0	0	4	4
24	土	1,293	669	669	646	17	6	0	0	0	0	624	624	278	260	21	25	40	0	0	0	0
25	日	1,790	719	667	647	17	3	0	52	27	25	1,069	1,069	628	339	26	24	52	0	0	2	2
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14,992	7,251	6,073	5,825	206	42	0	1,178	912	266	7,712	6,376	2,919	2,015	290	604	548	1,336	1,336	29	29

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<u>月TOTAL</u>																						
平日	17	4,880	2,128	1,380	1,319	54	7	0	748	507	241	2,741	1,414	591	141	123	416	143	1,327	1,327	11	11
土日祝	9	10,112	5,123	4,693	4,506	152	35	0	430	405	25	4,971	4,962	2,328	1,874	167	188	405	9	9	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	14,992	7,251	6,073	5,825	206	42	0	1,178	912	266	7,712	6,376	2,919	2,015	290	604	548	1,336	1,336	29	29

年間TOTAL(平成30年度)	平日	132	71,938	23,571	20,528	19,393	1,081	54	0	3,043	2,280	763	48,276	26,253	10,660	7,820	1,455	5,227	1,091	22,023	22,023	91	91
	土日祝	74	102,372	52,158	50,500	48,566	1,709	225	0	1,658	1,461	197	50,058	47,533	21,605	19,124	1,614	2,560	2,630	2,525	2,525	156	156
	無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	3,790	0	0	0	0	0
	合計	207	178,100	75,729	71,028	67,959	2,790	279	0	4,701	3,741	960	102,124	77,576	32,265	26,944	3,069	11,577	3,721	24,548	24,548	247	247

開館以来の累計(開館日数 6512日)

観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	3,880,124	1,605,257	1,461,688			143,567	
平均	596	247	224		22	349	258

観覧者数一覧(12月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
12/1	土	729	342	342	335	6	1	0	0	0	0	383	383	135	127	35	19	67	0	0	4	4
2	日	1,190	497	497	482	11	4	0	0	0	0	692	692	229	284	8	13	158	0	0	1	1
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	火	140	74	39	38	1	0	0	35	35	0	66	66	51	0	2	11	2	0	0	0	
5	水	118	56	56	54	1	1	0	0	0	0	62	25	17	1	0	7	0	37	37	0	
6	木	79	49	49	47	2	0	0	0	0	0	30	14	9	1	1	3	0	16	16	0	
7	金	67	28	28	24	4	0	0	0	0	0	39	39	31	1	2	4	1	0	0	0	
8	土	393	213	213	207	2	4	0	0	0	0	180	180	99	61	10	10	0	0	0	0	
9	日	692	385	365	351	13	1	0	20	20	0	305	305	178	105	12	7	3	0	0	2	2
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	火	121	46	45	39	6	0	0	1	1	0	75	75	58	1	0	18	0	0	0	0	
12	水	45	29	29	27	2	0	0	0	0	0	15	15	14	1	0	0	0	0	1	1	
13	木	53	31	29	28	1	0	0	2	2	0	22	22	17	1	1	3	0	0	0	0	
14	金	156	39	39	39	0	0	0	0	0	0	117	117	3	18	61	35	0	0	0	0	
15	土	557	225	225	215	8	2	0	0	0	0	329	329	132	145	20	31	1	0	0	3	3
16	日	652	376	376	346	28	2	0	0	0	0	276	276	152	109	6	8	1	0	0	0	
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		4,992	2,390	2,332	2,232	85	15	0	58	58	0	2,591	2,538	1,125	855	158	187	233	53	53	11	11

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
<b>月TOTAL</b>																					
平 日	8	779	352	314	296	17	1	0	38	38	0	426	373	200	24	67	79	3	53	53	1
土日祝	6	4,213	2,038	2,018	1,936	68	14	0	20	20	0	2,165	2,165	925	831	91	88	230	0	0	10
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14	4,992	2,390	2,332	2,232	85	15	0	58	58	0	2,591	2,538	1,125	855	158	187	233	53	53	11

年間TOTAL(平成30年度)	平 日	140	72,717	23,923	20,842	19,689	1,098	55	0	3,081	2,318	763	48,702	26,626	10,860	7,844	1,522	5,306	1,094	22,076	22,076	92
	土日祝	80	106,585	54,196	52,518	50,502	1,777	239	0	1,678	1,481	197	52,223	49,698	22,530	19,955	1,705	2,648	2,860	2,525	2,525	166
	無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	221	183,092	78,119	73,360	70,191	2,875	294	0	4,759	3,799	960	104,715	80,114	33,390	27,799	3,227	11,744	3,954	24,601	24,601	258

開館以来の累計(開館日数 6526日)	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計	
	累 計	3,885,116	1,607,647	1,464,020		143,625		2,274,166	1,682,558
	平均	595	246	224		22		348	258

観覧者数一覧(1月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
1/1	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	水	974	582	582	557	24	1	0	0	0	0	385	385	209	157	9	10	0	0	0	7	7
3	木	965	558	554	533	21	0	0	4	4	0	405	405	229	135	21	18	2	0	0	2	2
4	金	1,034	548	548	530	16	2	0	0	0	0	485	485	260	150	39	35	1	0	0	1	1
5	土	794	449	449	424	19	6	0	0	0	0	344	344	184	141	8	9	2	0	0	1	1
6	日	723	409	409	394	12	3	0	0	0	0	313	313	169	118	10	16	0	0	0	1	1
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	土	510	301	301	282	16	3	0	0	0	0	207	207	116	84	3	1	0	0	2	2	
13	日	1,189	663	620	609	4	7	0	43	41	2	523	523	317	170	17	17	2	0	0	3	3
祝	14月	884	464	464	437	15	12	0	0	0	0	420	420	228	155	13	15	9	0	0	0	0
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	水	84	56	56	54	0	2	0	0	0	0	28	28	21	5	1	1	0	0	0	0	0
17	木	58	40	40	38	2	0	0	0	0	0	18	18	9	0	1	2	6	0	0	0	0
18	金	99	50	50	41	9	0	0	0	0	0	49	49	42	2	0	5	0	0	0	0	0
19	土	556	238	238	229	6	3	0	0	0	0	317	317	116	71	5	121	4	0	0	1	1
20	日	805	412	412	388	15	9	0	0	0	0	392	392	205	115	14	20	38	0	0	1	1
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22	火	121	68	64	61	3	0	0	4	4	0	52	52	30	3	9	10	0	0	0	1	1
23	水	61	37	34	33	1	0	0	3	3	0	24	24	10	2	1	2	9	0	0	0	0
24	木	91	60	60	57	3	0	0	0	0	0	30	30	14	1	7	2	6	0	0	1	1
25	金	119	79	78	73	1	4	0	1	1	0	40	40	30	6	1	0	3	0	0	0	0
26	土	579	304	304	290	9	5	0	0	0	0	271	271	139	73	23	28	10	0	0	4	4
27	日	646	333	333	323	4	6	0	0	0	0	309	309	108	150	8	27	16	0	0	4	4
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29	火	89	45	45	41	4	0	0	0	0	0	44	44	34	2	1	4	3	0	0	0	0
30	水	93	44	44	44	0	0	0	0	0	0	49	40	19	0	9	10	2	9	9	0	0
31	木	55	28	28	25	3	0	0	0	0	0	27	27	6	2	9	8	2	0	0	0	0
		10,529	5,768	5,713	5,463	187	63	0	55	53	2	4,732	4,723	2,495	1,542	209	361	116	9	9	29	29

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平日	13	3,843	2,195	2,183	2,087	87	9	0	12	12	0	1,636	1,627	913	465	108	107	34	9	9	12	12
土日祝	9	6,686	3,573	3,530	3,376	100	54	0	43	41	2	3,096	3,096	1,582	1,077	101	254	82	0	0	17	17
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	22	10,529	5,768	5,713	5,463	187	63	0	55	53	2	4,732	4,723	2,495	1,542	209	361	116	9	9	29	29

年間TOTAL(平成30年度)	平日	153	76,560	26,118	23,025	21,776	1,185	64	0	3,093	2,330	763	50,338	28,253	11,773	8,309	1,630	5,413	1,128	22,085	22,085	104
	土日祝	89	113,271	57,769	56,048	53,878	1,877	293	0	1,721	1,522	199	55,319	52,794	24,112	21,032	1,806	2,902	2,942	2,525	2,525	183
	無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	243	193,621	83,887	79,073	75,654	3,062	357	0	4,814	3,852	962	109,447	84,837	35,885	29,341	3,436	12,105	4,070	24,610	24,610	287

開館以来の累計(開館日数 6548日)

観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	学校	特別券計
累計	3,895,645	1,613,415	1,469,733			143,680		2,278,898 1,687,281
平均	595	246	224			22		348 258

観覧者数一覧(2月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
2/1	金	48	23	23	23	0	0	0	0	0	0	24	24	10	1	4	8	3	0	0	1	1
2	土	624	318	318	302	11	5	0	0	0	0	301	301	141	119	5	18	18	0	0	5	5
3	日	858	456	456	433	14	4	0	0	0	0	398	398	190	146	8	39	15	0	0	4	4
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	火	80	45	45	39	6	0	0	0	0	0	35	35	20	0	2	10	3	0	0	0	0
6	水	82	52	52	40	11	1	0	0	0	0	30	30	13	2	2	7	6	0	0	0	0
7	木	80	55	55	54	1	0	0	0	0	0	25	25	18	0	0	7	0	0	0	0	0
8	金	68	44	44	33	5	1	0	0	0	0	24	24	15	3	1	2	3	0	0	0	0
9	土	556	281	281	269	6	6	0	0	0	0	274	274	125	88	16	23	22	0	0	1	1
10	日	1,459	775	775	749	18	7	1	0	0	0	681	681	367	233	7	21	53	0	0	3	3
祝	11月	1,185	579	579	553	16	7	0	0	0	0	604	604	292	220	21	30	41	0	0	2	2
12	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	水	144	81	81	65	13	3	0	0	0	0	63	63	46	0	3	11	3	0	0	0	0
14	木	169	54	54	43	6	0	0	0	0	0	115	104	87	0	1	16	0	11	11	0	0
15	金	235	36	36	33	3	0	0	0	0	0	198	132	114	0	1	17	0	66	66	1	1
16	土	642	358	358	332	20	6	0	0	0	0	284	284	128	114	12	13	17	0	0	0	0
17	日	1,116	567	567	541	16	10	0	0	0	0	546	546	262	223	8	15	38	0	0	3	3
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	火	111	71	71	57	12	2	0	0	0	0	40	40	26	2	0	5	7	0	0	0	0
20	水	187	64	64	55	8	1	0	0	0	0	123	99	65	1	4	17	12	24	24	0	0
21	木	71	43	43	29	14	0	0	0	0	0	28	28	15	1	2	1	9	0	0	0	0
22	金	126	62	62	47	14	1	0	0	0	0	64	64	34	6	1	8	15	0	0	0	0
23	土	1,196	541	541	530	7	4	0	0	0	0	655	655	241	233	39	68	74	0	0	0	0
24	日	1,720	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,720	1,720	0	0	0	1,720	0	0	0	0	0
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		10,757	4,505	4,505	4,245	201	58	1	0	0	0	6,232	6,131	2,209	1,392	137	2,054	339	101	101	20	20

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
<b>月TOTAL</b>																					
平日	12	1,401	630	630	528	93	9	0	0	0	0	769	668	463	16	21	107	61	101	101	2
土日祝	9	9,356	3,875	3,875	3,717	108	49	1	0	0	0	5,463	5,463	1,746	1,376	116	1,947	278	0	0	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	10,757	4,505	4,505	4,245	201	58	1	0	0	0	6,232	6,131	2,209	1,392	137	2,054	339	101	101	20

年間TOTAL(平成30年度)	平日	165	77,961	26,748	23,655	22,304	1,278	73	0	3,093	2,330	763	51,107	28,921	12,236	8,325	1,651	5,520	1,189	22,186	22,186	106	106
	土日祝	98	122,627	61,644	59,923	57,595	1,985	342	1	1,721	1,522	199	60,782	58,257	25,858	22,408	1,922	4,849	3,220	2,525	2,525	201	201
	無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	264	204,378	88,392	83,578	79,899	3,263	415	1	4,814	3,852	962	115,679	90,968	38,094	30,733	3,573	14,159	4,409	24,711	24,711	307	307

開館以来の累計(開館日数 6569日)	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	学校	特別券計
	累計	3,906,402	1,617,920	1,474,238		143,680		2,285,130	1,693,412
	平均	595	246	224		22		348	258

観覧者数一覧(3月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
3/1	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	土	577	328	328	311	12	5	0	0	0	0	245	245	187	42	6	10	0	0	0	4	4
3	日	1,028	564	543	524	18	1	0	21	21	0	461	461	216	223	10	12	0	0	0	3	3
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	火	224	87	87	69	18	0	0	0	0	0	137	137	113	2	1	21	0	0	0	0	0
6	水	189	88	88	71	17	0	0	0	0	0	101	101	84	3	2	12	0	0	0	0	0
7	木	379	77	77	59	18	0	0	0	0	0	302	302	245	2	1	53	1	0	0	0	0
8	金	258	79	58	53	5	0	0	21	0	21	179	169	139	0	2	26	2	10	10	0	0
9	土	590	320	320	296	21	3	0	0	0	0	269	269	141	87	22	19	0	0	0	1	1
10	日	964	522	522	494	24	4	0	0	0	0	442	442	215	199	8	16	4	0	0	0	0
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	火	96	61	61	55	6	0	0	0	0	0	35	35	12	6	9	8	0	0	0	0	0
13	水	118	59	59	51	6	2	0	0	0	0	58	58	23	3	15	17	0	0	0	1	1
14	木	102	78	74	60	13	1	0	4	4	0	24	24	21	0	2	1	0	0	0	0	0
15	金	188	61	61	56	5	0	0	0	0	0	127	127	106	5	0	11	5	0	0	0	0
16	土	686	375	345	333	8	4	0	30	30	0	309	309	165	105	18	21	0	0	0	2	2
17	日	1,093	555	521	497	18	6	0	34	34	0	537	537	248	179	73	33	4	0	0	1	1
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	火	270	127	101	88	13	0	0	26	0	26	143	143	112	11	1	17	2	0	0	0	0
20	水	196	118	116	94	22	0	0	2	2	0	78	78	31	17	21	9	0	0	0	0	0
祝21	木	1,041	552	552	510	36	6	0	0	0	0	486	486	247	206	12	15	6	0	0	3	3
22	金	269	150	150	128	21	1	0	0	0	0	119	119	69	43	0	8	1	0	0	0	0
23	土	1,020	558	530	489	29	12	0	28	28	0	461	461	205	154	12	70	20	0	0	1	1
24	日	1,259	661	661	642	10	9	0	0	0	0	596	596	268	218	44	36	30	0	0	2	2
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	火	366	194	189	178	9	2	0	5	5	0	172	172	75	78	1	7	11	0	0	0	0
27	水	587	284	283	262	20	1	0	1	1	0	302	302	105	161	13	18	5	0	0	1	1
28	木	641	296	290	264	23	3	0	6	6	0	345	345	118	175	21	23	8	0	0	0	0
29	金	850	387	260	241	18	1	0	127	6	121	463	463	120	274	11	49	9	0	0	0	0
30	土	1,359	682	682	648	28	6	0	0	0	0	673	673	258	317	27	38	35	0	0	4	4
31	日	1,311	692	692	656	30	6	0	0	0	0	617	617	282	265	16	18	38	0	0	2	2
		15,661	7,955	7,650	7,129	448	73	0	305	137	168	7,681	7,671	3,805	2,775	348	562	181	10	10	25	25

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
<b>月TOTAL</b>																						
平 日	15	4,733	2,146	1,954	1,729	214	11	0	192	24	168	2,585	2,575	1,373	780	100	278	44	10	10	2	
土日祝	11	10,928	5,809	5,696	5,400	234	62	0	113	113	0	5,096	5,096	2,432	1,995	248	284	137	0	0	23	23
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	26	15,661	7,955	7,650	7,129	448	73	0	305	137	168	7,681	7,671	3,805	2,775	348	562	181	10	10	25	25

年間TOTAL(平成30年度)	180	82,694	28,894	25,609	24,033	1,492	84	0	3,285	2,354	931	53,692	31,496	13,609	9,105	1,751	5,798	1,233	22,196	22,196	108	108
土日祝	109	133,555	67,453	65,619	62,995	2,219	404	1	1,834	1,635	199	65,878	63,353	28,290	24,403	2,170	5,133	3,357	2,525	2,525	224	224
無料日	1	3,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	0	0	0	3,790	0	0	0	0	0
合 計	290	220,039	96,347	91,228	87,028	3,711	488	1	5,119	3,989	1,130	123,360	98,639	41,899	33,508	3,921	14,721	4,590	24,721	24,721	332	332

開館以来の累計(開館日数 6595日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	学校	特別券計
累 計	3,922,063	1,625,875	1,481,888	143,985	2,292,811	1,701,083		591,728	6,370
平均	595	247	225	22	348	258		90	

## 11 職員名簿

職名		氏名	当館における履歴	
名 誉 館 長 (嘱託)		長谷川 善和	7.4~ 8.3 建設準備室参与 8.4~ 22.3 館長 22.4~ 名誉館長	
館 長		宮川 豊	30.4~	
次 長 (総務係長)		田中 享	30.4~	
次 長 (学芸係長)		岩井 利信	22.4~25.3 教育普及係主幹 27.4~	
総務係	主 幹	秋山 和広	30.4~	
	主 任	畠 祐栄	13.4.~19.3 28.4~	
	主 任	茂木 正貴	29.4~	
教育普及係	補 佐 (教育普及係長)	武井 郁也	18.4~25.3 教育普及係主幹 29.4~	
	主 幹	静野 聰	6.4~7.3 建設準備室 (嘱託) 27.4~	
	主 幹	月田 典寿	11.4~12.3 資料整理員 (嘱託) 27.4~	
	主 任	石川 直紀	30.4~	
学芸係	主 幹	高橋 克之	12.4~	
	主 幹	大森 威宏	10.4~	
	主幹 (学芸員)	高衆 祐司	5.4~8.3 建設準備室 8.4~	
	主幹 (学芸員)	木村 敏之	14.4~	
	主 幹	茂木 誠	6.4~7.3 建設準備室 (嘱託) 26.4~	
	主幹 (学芸員)	姉崎 智子	17.4~	
	主任 (学芸員)	菅原 久誠	25.4~	
	主 任	伊藤 智史	29.4~	
展示解説員 (嘱託)	高橋 弘美 近藤 愛子	外所 宏美 松本恵利那	菊地 如子 林 夏希	佐々木尚子 齋藤 唯

